HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズHDDナビコンポ

VXH-128VF

オーディオ編

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買いあげいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- **当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。**
- **Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。**
- **商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。**

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・ハードディスクおよびメモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容にしたがって初期化(データの消去)するようにしてください。

保証書やアフターサービスの詳細、その他のご不明な点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

機能 FM／AM CD／DVD Music Rack USB iPod SD Digital TV VTR
DSP／SRS CS Auto・イコライザ・フェードバランス・MP3／WMA・ハンズフリー

※上記表の■はAV SOURCE画面に表示される各モードボタンを表します。
※iPodを接続するには別売のUSB接続ジャックと別売のiPod接続コードが必要になります。G-17
※USBを接続するには別売のUSB接続ジャックとUSBメモリーデバイスコードが必要になります。F-16
※VTR機器を接続するには別売のVTRコードが必要になります。K-3

●Bluetooth対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

T A11-0141005
R 005WWCA0568

● 本製品には、以下のMozilla Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれています。
・以下のオリジナルコードからの派生コード
js-1.5.tar.gz
・上記オリジナルコードの初期開発者
Netscape Communications Corporation
お客様は、以下のホームページに掲載されるMozilla Public License の条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、以下のホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/car/cus/info/license/Mozilla/
なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ホームページに掲載されるファイル情報	
・修正内容(2011年6月20日公開)	diff.pdf
・修正されたソースコード(2011年6月20日公開)	JS.zip
・Mozilla Public License(2011年6月20日公開)	Mozilla Public License.pdf

● 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

目　次

基本操作／共通　A-1

各部の名称とはたらき……A-2
パネル部CLOSE状態……A-2
パネル部OPEN状態……A-2
基本操作……A-4
映像の表示について……A-6
ディスクを入れる／取り出す……A-6
SDカードを入れる／取り出す……A-7
miniB-CASカードを入れる／取り出す……A-8
オーディオをOFFする……A-9
設定の保持について……A-9
ページのスクロールについて……A-9
AV MENU画面について……A-10
AV SOURCE画面のモードボタンについて…A-11
時計を表示する……A-12
パネル部のボタンで選曲する……A-13
早戻し／早送りをする……A-14
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生…A-15
音量を調整する……A-19
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する…A-20
音声はそのままで、画面を消す……A-21
動作モード(音楽／画像)を切り替える……A-22
画像ファイルを表示させる……A-23
スライドショーを表示する……A-23
画像を回転させる……A-24
リストより画像を選択する……A-24
画質調整のしかた……A-25
画質調整を初期値に戻す……A-27
音場の設定をする……A-28
イコライザー(音質)の設定をする……A-31
イコライザーの値を初期値に戻す……A-33
スピーカーの設定をする……A-34
フェード・バランスの調整をする……A-36
車速連動音量を設定する……A-38

録音設定／データ管理　B-1

録音設定／データ管理について……B-2
再生可能メディアについて……B-3
CDの録音方法(自動／手動)を選択する……B-4
CDを録音する……B-6
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する…B-6
Music Rackの機能／構成について……B-8
Music Rackへ録音時の注意点について……B-9
Music Rackの使用容量を確認する……B-10
音楽データを修復する……B-11
音楽データを初期化する……B-12
ローカル／カスタムアップデートについて…B-13
タイトル情報更新の流れについて……B-13
ローカルアップデート／カスタムアップデートをする…B-15
Gracenoteデータベースのデータを初期化する…B-20

FM／AMを聞く　C-1

各部の名称とはたらき……C-2
タッチパネル部について……C-2
表示部について……C-3
FM／AM放送を切り替える……C-4
選局する……C-4
プリセット(メモリー)する……C-8
交通情報を受信する……C-10
道路交通情報を聞く……C-10
道路交通情報の受信を止める……C-11

CD／MP3／WMAを聞く　D-1

各部の名称とはたらき……D-2
タッチパネル部について……D-2
表示部(再生画面)について……D-3
未録音CDを挿入すると・・・……D-4
好きなフォルダを選ぶ……D-4
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……D-5
MP3／WMAファイルについて……D-6

Music Rackを使う　E-1

各部の名称とはたらき……E-2
タッチパネル部について……E-2
表示部(再生画面)について……E-3
リスト表示より好きなトラックまたは
アルバムを選ぶ……E-4
選曲モードより選ぶ……E-6
アルバムリストの編集(曲管理)……E-14
アルバム編集をする……E-14
再生選択をする……E-19
お気に入り登録をする……E-20
ジャケット写真を登録する……E-21
削除する……E-22
トラックリストの編集(曲管理)……E-23
トラック編集をする……E-23
再生選択をする……E-26
お気に入り登録をする……E-27
削除する……E-27
お気に入りを管理する……E-28
再生中の曲をお気に入り登録する……E-30
再生中の曲のジャンルと
ミュージックエスコートを設定する……E-32

USB機器を使う(USBフラッシュメモリ/ウォークマン®) F-1

各部の名称とはたらき……F-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の
タッチパネル部について……F-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の
表示部(再生画面)について……F-3
画像再生(画像ファイルモード)の
タッチパネル部について……F-4
画像再生(画像ファイルモード)の
表示部について……F-4
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ……F-5
選曲モードより選ぶ……F-9
USB機器について……F-13
ウォークマン®について……F-14
対応可能なウォークマン®……F-15
USB機器を接続する……F-16
USB機器を本機に接続する……F-16
USB機器の接続をやめる……F-16

iPodを使う G-1

各部の名称とはたらき……G-2
タッチパネル部について……G-2
表示部(再生画面)について……G-3
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……G-4
選曲モードより選ぶ……G-5
再生を一時停止する……G-10
映像データを再生させる……G-11
iPodについて……G-15
iPodとは……G-15
使用上のご注意……G-15
対応可能なiPod……G-16
iPodを本機に接続する……G-17

SD(SDカード) H-1

各部の名称とはたらき……H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の
タッチパネル部について……H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の
表示部(再生画面)について……H-3
画像再生(画像ファイルモード)の
タッチパネル部について……H-4
画像再生(画像ファイルモード)の
表示部について……H-4
**リスト表示より好きなトラックまたは
フォルダを選ぶ……H-5**
選曲モードより選ぶ……H-7
SDカードについて……H-9
再生可能なデータについて……H-11
音楽ファイルのデータについて……H-11
画像ファイルのデータについて……H-12

DVDを見る I-1

各部の名称とはたらき……I-2
タッチパネル部について……I-2
DVDプレーヤーを使う……I-4
再生を停止する……I-5
再生を一時停止(静止)する……I-6
再生中にチャプターを戻す/進める……I-7
コマ戻し/コマ送りをする……I-8
スロー戻し/スロー送りをする……I-9
DVDメニューを使う……I-10
タイトルメニューを使う……I-12
好きな所から再生する(サーチ選択)……I-14
音声言語/字幕言語を切り替える……I-16
時間の表示を替える……I-17
リピート(繰り返し)再生する……I-18
アングル(角度)を切り替える……I-19
VRモードディスク内の映像をリストより選択し
再生させる……I-20
DVDの初期設定について……I-22
初期設定を変更する……I-22
DVDビデオについて……I-30
ディスクに表示されているマークについて……I-30
VRモードで作成したディスクについて……I-31
ディスクの構成について……I-31

Digital TV(12セグ/ワンセグ)を見る J-1

各部の名称とはたらき……J-2
バナー表示について……J-2
タッチパネル部について……J-4
DTVメニューについて……J-8
Digital TV〔12セグ/ワンセグ〕を見る……J-9
Digital TVモードにすると……J-9
番組表を見る……J-10
視聴エリアの変更(地方/県域の設定)をする‥J-12
中継局を探す……J-13
スキャンする……J-14
初期スキャン/再スキャンをする……J-14
選局する……J-16
手動選局で放送局を選ぶ……J-16
自動選局で放送局を選ぶ……J-16
プリセットで放送局を選ぶ……J-17
リストで放送局を選ぶ……J-18

目 次

プリセットボタンにメモリーする……J-20
エリア呼出／プリセット呼出について……J-21
チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする……J-22
設定をする……J-24
映像を切り替える……J-24
音声を切り替える……J-25
郵便番号設定……J-26
自動切替（12セグ・ワンセグ）の設定をする……J-27
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする……J-28
サービスの設定をする……J-29
チャンネル設定……J-30
時計表示設定……J-32
文字スーパーを切り替える……J-34
字幕表示を切り替える……J-36
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……J-38
miniB-CASカードのテストをする……J-40
放送局からの情報を見る……J-41
設定を初期化する……J-42
データ放送を利用する……J-43
リレーサービスの番組を見る……J-46
臨時サービスの番組を見る……J-47
緊急放送を見る……J-48
受信中に緊急放送が始まると……J-48
エラーコードについて……J-49
テレビについて……J-50
地上デジタルテレビ放送について……J-50
地上デジタルテレビ放送の番組受信について……J-50
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更（リパック）について……J-51
miniB-CASカードについて……J-52
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について……J-53

VTRを使う K-1

各部の名称とはたらき……K-2
タッチパネル部について……K-2
接続する……K-3

ハンズフリーを使う L-1

初期登録設定……L-2
携帯電話を登録する……L-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する……L-5
携帯電話の割り当てを切り替える……L-7
登録携帯電話の自動接続の設定をする……L-8
登録携帯電話の優先接続の設定をする……L-9
ハンズフリーの通話設定をする……L-10
車載機（本機）のBluetooth情報を見る……L-11
デバイス名／パスキーを変更する……L-12
携帯電話のメモリを本機に登録する……L-14
電話を受ける……L-16
着信音量を調整する……L-16
電話に出る……L-16
保留にする……L-17
通話を拒否（終了）する……L-18
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする（ミュート）……L-18
通話を携帯電話に切り替える……L-19
トーン入力する……L-20
電話をかける……L-21
電話番号から……L-21
リダイヤルから……L-23
履歴から……L-23
アドレス帳から……L-26
発着履歴を削除する……L-28
通話中に地図画面を表示する……L-29
ハンズフリーについて……L-30
Bluetoothとは……L-30
ハンズフリーとは……L-30
音声について……L-30
安全上のご注意……L-30
使用上のご注意……L-31
QQコールを利用する……L-32
QQコールとは……L-32
QQコールを利用するまでの流れ……L-32
QQコールを表示する……L-33

その他 M-1

カスタマイズ（Quick）機能について……M-2
画像ファイル（JPEG）について……M-3
本機で再生できるディスクについて……M-4
データベースについて……M-6
オーディオ リモコン スイッチ……M-8
リア席モニターについて……M-10
個人情報の取り扱いについて……M-11
工場出荷状態に戻す……M-11
放送局一覧……M-12
初期設定一覧……M-14
故障かな？と思ったら……M-15
メッセージ表示について……M-31
用語説明……M-34
索 引……M-40

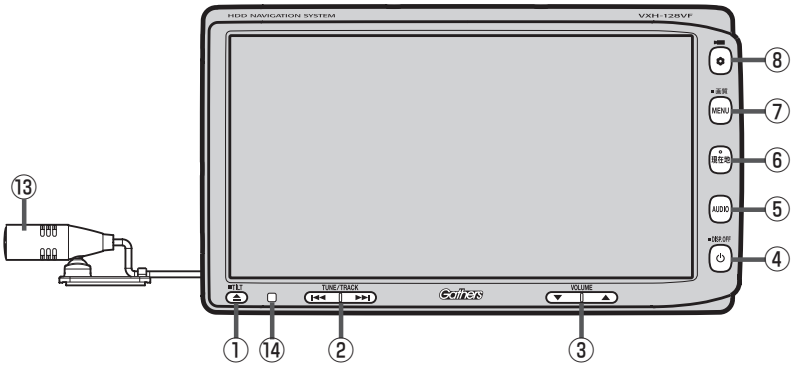
※本説明書の画像やイラストは操作を円滑にするためのイメージであり、撮影・印刷条件等により実物（実機）と印象が相違する場合がありますのでご了承ください。

基本操作／共通

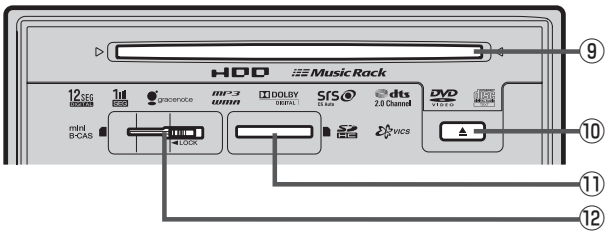
各部の名称とはたらき……A-2
パネル部CLOSE状態……A-2
パネル部OPEN状態……A-2
基本操作……A-4
映像の表示について……A-6
ディスクを入れる／取り出す……A-6
SDカードを入れる／取り出す……A-7
miniB-CASカードを入れる／取り出す……A-8
オーディオをOFFする……A-9
設定の保持について……A-9
ページのスクロールについて……A-9
AV MENU画面について……A-10
AV SOURCE画面のモードボタンについて……A-11
時計を表示する……A-12
パネル部のボタンで選曲する……A-13
早戻し／早送りをする……A-14
リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生……A-15
音量を調整する……A-19
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する……A-20
音声はそのままで、画面を消す……A-21
動作モード(音楽／画像)を切り替える……A-22
画像ファイルを表示させる……A-23
スライドショーを表示する……A-23
画像を回転させる……A-24
リストより画像を選択する……A-24
画質調整のしかた……A-25
画質調整を初期値に戻す……A-27
音場の設定をする……A-28
イコライザー(音質)の設定をする……A-31
イコライザーの値を初期値に戻す……A-33
スピーカーの設定をする……A-34
フェード・バランスの調整をする……A-36
車速連動音量を設定する……A-38

各部の名称とはたらき

パネル部CLOSE状態



パネル部OPEN状態



① ▲ ボタン(TILT)
- パネルをオープンさせて、ディスクやSDカード／miniB-CASカードを出し入れするときに使用します。
  - ディスク A-6
  - SDカード A-7
  - miniB-CASカード A-8
- 長押しで画面の角度を調整することができます。

② ⏮ ⏭ ボタン
- 好きな曲／ファイル／チャプター／放送局を選びます。
  - CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SD A-13
  - FM／AM C-4
  - Digital TV J-16
  - DVD I-7
- 長押しすると早戻し／早送り／自動選局を行ないます。
  - CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SD A-14
  - FM／AM C-4
  - Digital TV J-16
- 一時停止中にコマ戻し／コマ送り／スロー戻し／スロー送りを行ないます。
  - DVD I-8

③ ▼ ▲ ボタン(VOLUME)
オーディオの音量を調整します。A-19

④ ⏻ ボタン
- AV電源をON／OFFするときに使用します。A-9
- 2秒以上長押しで画面を消します。A-21

⑤ AUDIO ボタン
AV SOURCE画面を表示します。A-11
※ナビゲーション画面／オーディオ画面から他のオーディオ画面を表示させる(モードの切り替えをする)ときに使用します。

⑥ 現在地 ボタン
ナビゲーション画面を表示します。
A-20、L-29

⑦ MENU ボタン
- AV MENU画面を表示します。
  A-10、28、31、34、36、38
  B-4、10、11、12、15、20
- 長押しすると画面調整画面または画質調整画面を表示します。A-25
- DVDモードの場合、押すたびに
  操作ボタン有 → AV MENU画面 → 操作ボタン無 →
  を繰り返します。

⑧ ✿ ボタン(オプション)
- 別売のフロントカメラ／コーナーカメラ映像画面を表示します。
- オプションボタン設定画面で選択した機能の操作をします。
  別冊　取扱説明書(ナビゲーション編)G-3

⑨ディスク挿入口 A-6

⑩ ▲ ボタン(イジェクト)

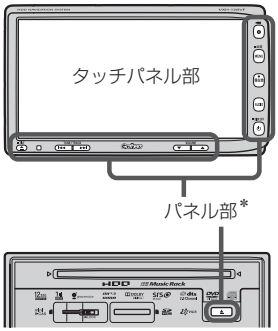
⑪SDカード挿入口 A-7

⑫miniB-CASカード挿入口
12セグを視聴する場合はminiB-CASカードを挿入します。A-8

⑬マイク
ハンズフリー通話時に使用します。
L-30

⑭リモコン受光部
別売のリモコンを使用してDVDの操作などをすることができます。
別冊　取扱説明書(ナビゲーション編)H-14～H-21、H-51

アドバイス
- 画面に表示されるタッチパネル部のボタンにつきましてはそれぞれを参照ください。
  - FM/AM C-2
  - CD/MP3/WMA D-2
  - Music Rack E-2
  - USB F-2
  - iPod G-2
  - SD H-2
  - DVD I-2
  - Digital TV J-2
  - VTR K-2
- 車両にオーディオ リモコン スイッチが装着されている場合は、オーディオ リモコン スイッチで本機のAV機能を操作することができます。「オーディオ リモコン スイッチ」M-8



本書では、
タッチパネル部のボタンは画面の“○○ボタンをタッチする”
パネル部*のボタンはパネルの“○○ボタンを押す”と記載しています。
（＊印…使用するボタンは白色表示しています。）

※本書のマークについて

アドバイス ……本機を使ううえで知っておいていただきたいこと、知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1 …… アルファベットは章、数字は章のページを表します。
お願い …お車のために守っていただきたいことを表しています。
…… 画面上でタッチパネル操作を表します。
■／□ ……操作手順が次のステップで分かれるときの案内をします。
： ……操作を行なった結果を説明します。
MENU ……パネル部のボタンを表します。
FM／AM ……タッチパネル部のボタンを表します。

- ナビゲーション画面とはナビゲーションモード時を示します。
- オーディオ画面（オーディオモード画面）とはFM/AM/CD/MP3/WMA/DVD/MusicRack/USB/iPod/SD/Digital TV/VTRモード時を示します。

※iPodビデオと記載している場合は映像データを表します。

すでに液晶ディスプレイが表示状態になっている場合は、手順 2 （A-5）へ進んでください。

1 車のエンジンスイッチをⅠ（アクセサリー）またはⅡ（ON）に入れる。

：起動初期画面を表示した後、前回電源を切る前に表示していたモードの画面になります。

※ディスプレイの角度を変える場合は別冊の取扱説明書　ナビゲーション編B-4を参照してください。

起動初期画面

モード表示画面（USBモード画面（例））

アイコン表示（USBモード選択中）

⚠注意 車のエンジンスイッチをⅠ（アクセサリー）の状態（エンジンを停止したまま）で長時間使用しないでください。
車のバッテリーがあがる恐れがあります。

2 AUDIOを押す。

：AV SOURCE画面またはラストモード*画面が表示されます。ラストモード画面から他のモードに変えたい場合はもう一度AUDIOを押してAV SOURCE画面を表示させてください。

＊印…前回最後に選択していたモード画面（OFF含む）

ディスク／SDカード未挿入または外部接続機器未接続の場合は挿入または接続してください。

☞ A-6、K-3

3 操作したいモード（FM／AM／CD／DVD／Music Rack／USB／iPod／SD／Digital TV／VTR）をタッチする。

：選択したそれぞれのモード画面が表示されます。

AV SOURCE画面

■ 操作したいモード画面が表示された場合

①☞それぞれの項目をご覧いただき、ご希望の操作を行なってください。

- FM／AM ☞ C-1
- CD／MP3／WMA ☞ D-1
- MusicRack ☞ E-1
- USB ☞ F-1
- iPod ☞ G-1
- SD ☞ H-1
- DVD ☞ I-1
- Digital TV ☞ J-1
- VTR ☞ K-1

※音楽再生をしていた場合は前回のつづきから再生を始めます。

映像の表示について

⚠ 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※映像を表示するモードはDVD／iPodビデオ／Digital TV／VTRとなります。
※別売のリア席モニターを接続している場合、走行中でも映像をご覧いただけます。

DVDモード画面(走行中)(例)

ディスクを入れる／取り出す

1 ▲(TILT)を押す。

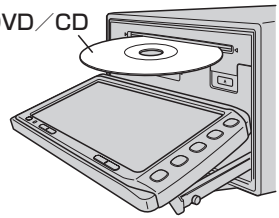
：ディスプレイが開きます。

2 ディスクを入れる／取り出す。

■ ディスクを入れる場合

① ディスク挿入口にディスクを挿入する。

：自動でディスプレイが閉じ、再生を始めます。
※未録音の音楽CDを挿入した場合は録音を開始します。☞ B-5



■ ディスクを取り出す場合

① ▲(イジェクト)を押す。

※ディスプレイを閉じる場合は、▲(TILT)を押してください。

アドバイス
- CDを取り出して再度再生を始めると、ディスクの最初の曲の頭から再生が始まります。
- DVDディスクを取り出して再度再生を始めるとリジューム再生(つづきから再生)を行ないます。
- 再生中に車のエンジンスイッチを変更した場合は、次にエンジンスイッチをⅡ(ON)にすると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のエンジンスイッチを0(ロック)にした場合は、▲(TILT)を押すとディスプレイ部を閉じることができます。
- ディスクを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間ご使用になった後ディスクが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

お願い
- ディスクを挿入するときは、他のディスクが挿入されていないことを確認してから挿入してください。すでにディスクが入っていて2枚目を挿入しようとすると、ディスクにキズがつき故障の原因になります。
- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- ディスク挿入途中に▲(TILT)を押さないでください。ディスクがディスプレイ部にはさまれ、ディスクの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

SDカードを入れる／取り出す

1 ▲(TILT)を押す。

：ディスプレイが開きます。

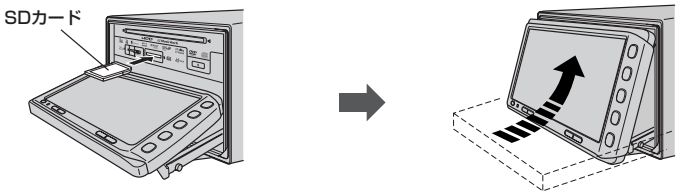
2 SDカードを入れる／取り出す。

■ SDカードを入れる場合

① SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じます。

※SDモードを選択している場合は再生を始めます。



■ SDカードを取り出す場合

① SDカードを1回押して取り出す。

※ディスプレイを閉じる場合は、▲(TILT)を押してください。

アドバイス

- SDカードを取り出して再度同じSDカードを挿入し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- ディスプレイが開いた状態のとき、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合は、▲(TILT)を長押しするとディスプレイ部を閉じることができます。
- SDカードを取り出したときは、自動でディスプレイ部は閉じません。
- 長時間SDカードを挿入していると、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。

ディスプレイ部を開閉するときは手などをはさまないように注意してください。けがや、ディスプレイ部の故障の原因になります。

お願い

- ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時に開いたディスプレイ部に体が当たったり、思わぬけがをするおそれがあります。
- 再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(AV電源をOFF)して取り出してください。☞ A-9
- SDカード挿入途中に▲(TILT)を押さないでください。SDカードがディスプレイ部にはさまれ、SDカードの破損またはディスプレイの故障の原因になります。

miniB-CASカードを入れる／取り出す

お願い

- 地上デジタルテレビ放送の受信機には、1台に1枚ずつ、ID(識別)番号の異なるminiB-CAS(ビーキャス)カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部に触れたり、汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりすると使用できなくなることがありますので、大切に取り扱ってください。
「miniB-CASカードについて」J-52

1 A-7手順 **1** にしたがって操作する。

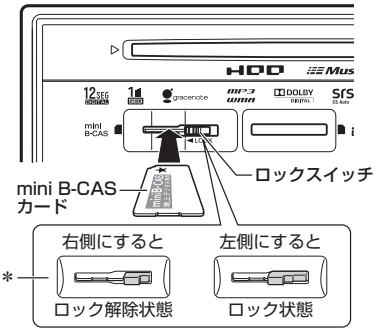
2 カードを入れる／取り出す。

※miniB-CASカードを出し入れするときは付属の「落下防止シート」を使用してください。使用方法につきましては、シートに記載の手順およびイラストを参照ください。

■ miniB-CASカードを入れる場合

① miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入する。

※ロックスイッチが解除状態になっていることを確認し、★の付いた面を上にして、⬆(矢印イラスト)の方向に奥まで挿入してください。



② ロックスイッチを左側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。

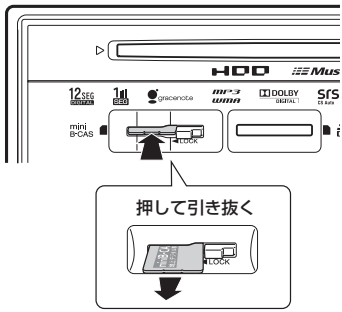
：miniB-CASカードがロックされます。

■ miniB-CASカードを取り出す場合

① ロックスイッチを右側へ“カチッ”と音がするまでスライドさせる。(上記＊印ふき出し参照)

※ロック解除されます。

② miniB-CASカードを1回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。



3 ▲(TILT)を押す。

：ディスプレイが閉じます。

お願い

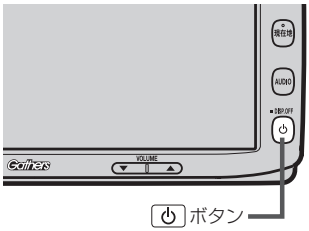
- miniB-CASカード挿入口(☞ A-8)にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ロック状態(ロックスイッチ左側状態)でminiB-CASカードを入れる／取り出そうとすると、ロックスイッチがこわれる原因となります。必ずロックスイッチは右側(ロック解除)状態でminiB-CASカードを入れる／取り出してください。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASテストを行なってください。
  ☞「miniB-CASカードのテストをする」J-40

オーディオをOFFする

1 ⏻を押す。

：画面に“OFF”と表示されオーディオの各モードを終了します。
もう一度押すと、AV電源をONします。

※前回、音楽またはDVDを再生していた場合はつづきから再生を始めます。



アドバイス 録音中の場合、CDモードを終了しても(再生を止めても)録音は継続されます。

設定の保持について

決定のある画面では、決定をタッチすると設定が保持されます。
決定をタッチしないで戻るをタッチまたはMENU／現在地を押すと設定は保持されません。
※ 決定のない画面では各設定のボタンを選択した時点で設定確定(設定保持)となります。
(例：映像／オーディオ調整など)

ページのスクロールについて

次ページがある場合、▲／▼タッチでページのスクロール(戻し／送り)表示することができます。
※走行中はスクロールできません。

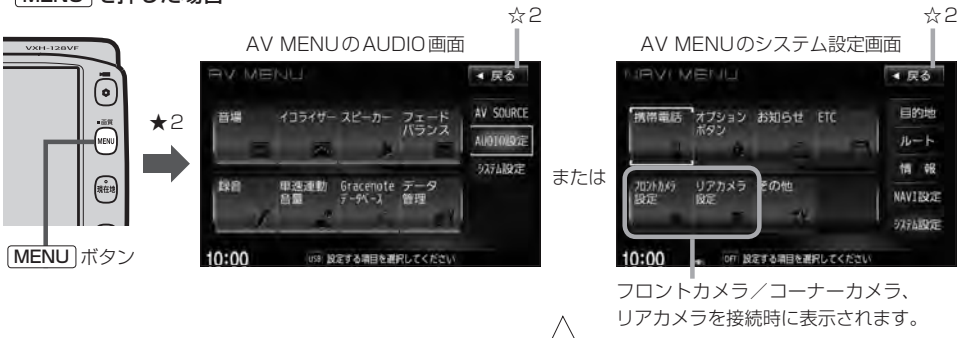
AV MENU画面について

AV MENU画面は AUDIO または MENU を押して表示させます。そのとき、選択するボタン（AV SOURCE ／ AUDIO設定 ／ システム設定）によってAV SOURCE、AUDIO設定またはシステム設定に関するそれぞれのボタン表示となります。

● AUDIO を押した場合

★1印･･･ナビゲーション画面のときはAV MENUまたはラストモードを、オーディオ画面のときはAV MENUを表示します。
※ラストモードのときは、もう一度 AUDIO を押すとAV MENUを表示します。

● MENU を押した場合



※AUDIO設定画面／システム設定画面は最終選択時の状態を保持するため、状態によっては AUDIO設定 または システム設定 選択の操作は省略することができます。
※ システム設定 選択時に表示されるAV MENUの各機能につきましては 別冊の取扱説明書（ナビゲーション編）「各種設定をする」G-2を参照ください。

★2印･･･ナビゲーション画面のときに MENU を押すとNAVI MENUが表示されるので AUDIO を押して*AV MENUを表示させてください。（*印･･･ラストモードのときは、もう一度 AUDIO を押します。）

アドバイス

AV MENU画面（例）

- 表示させたAV MENU画面は、 MENU ／ AUDIO のどちらを押して表示させたかにかかわらず、 AV SOURCE ／ AUDIO設定 ／ システム設定 を選択できます。
- ☆1印･･･ 交通情報 をタッチすると交通情報画面を表示します。 C-10
- ☆2印･･･ 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

AV SOURCE画面のモードボタンについて

AV SOURCE画面

選択可能モードはイラストおよび文字を表示

選択不可能モードはイラストおよび文字が灰色表示

※USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)未接続／SDカード未挿入の場合、それぞれのモードでメッセージが表示されます。

アドバイス

- Music Rackモードを使用するにはあらかじめCDを本機に録音しておく必要があります。☞ B-5
- iPodモードを使用するにはiPod本体と別売のiPod接続コードを別売のUSB接続ジャックに接続しておく必要があります。☞ G-17
  ※USB機器接続時はiPod使用不可となります。
- USBモードを使用するには、USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)を別売のUSBメモリーデバイスコードに接続しておく必要があります。☞ F-16
  ※iPod接続時はUSB機器使用不可となります。
- SDモードを使用するにはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

A-12 時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1 **各モードのTOP画面で、 切替 をタッチする。**

：画面中央に時計が大きく表示されます。

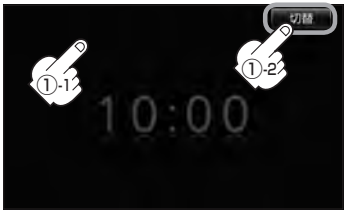
※画像・映像を表示するモードの場合、本設定はできません。

オーディオモード画面
（USBモード画面(例)）

■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチし、 切替 をタッチする。

：手順 **1** で表示させていたモードの再生画面が表示されます。



アドバイス

音声はそのままで全画面を消すこともできます。（時計表示もなし）

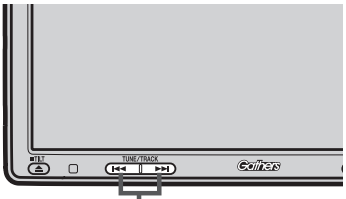
「音声はそのままで、画面を消す」A-21

パネル部のボタンで選曲する

操作パネル上のボタンを押して１曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

1 ⏮ ⏭（トラック*1）を押す。

：前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 ⏮ ⏭ ボタン（トラック）

■ 前のトラックに戻る場合

⏮を２回押す。

※１回押した場合は再生中の曲（トラック）の頭に戻ります。*2

■ 次のトラックに進む場合

⏭を押す。

アドバイス

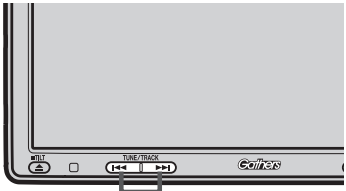
- 画面をタッチして各モードのトラックリストより選択することもできます。
  - CD／MP3／WMA ☞ D-5
  - Music Rack ☞ E-4
  - USB ☞ USB･･･F-5
    ☞ ウォークマン®･･･F-7
  - iPod ☞ G-4
  - SD ☞ H-5
- 音楽CD録音（REC）中トラックを戻す／進めることはできません。
- ＊1印…FM／AM／Digtal TVモードでは選局、DVDモードではスキップと呼び名を変えています。
  - FM／AM ☞ C-4
  - Digital TV ☞ J-16
  - DVD ☞ I-7
- ＊2印…CD／MP3／WMA／iPodモードのとき、トラック再生開始２秒以内に押した場合は、前のトラックの頭に戻ります。

早戻し／早送りをする

1 **⏮ ⏭(トラック／スキップ)を押し続ける。**

：早戻し／早送りをします。

※DVDモードの場合、通常の6倍の速さでの早戻し／早送りをします。



1 ⏮ ⏭ ボタン(トラック)

■ 早戻しで戻る場合

⏮を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

⏭を押し続ける。

再生状態表示
▶ ：通常再生
▶▶ ：早送り
◀◀ ：早戻し

音楽再生の場合(例)

アドバイス

- それぞれのボタンから手を離したところで通常再生を始めます。
- 音楽CD録音(REC)中の早戻し／早送りはできません。
- FM／AM／Digtal TVモードのときに押し続けると自動選局を開始します。
  - ・FM／AM ☞C-4
  - ・Digital TV ☞J-16

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選択することができます。

1 **再生モード** をタッチする。

：画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

SDモード TOP画面(例)

＊印…手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

2 再生したいモード(**リピート** ／ **ランダム** ／ **スキャン** ／ **シャッフル**)を選択する。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** をタッチする。

：表示灯点灯し、リピート再生されます。

※ **リピート** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

再生モード選択画面

選択中の再生モード　選択時点灯の状態を表示

CD／Music Rack／USB／iPod／SDモードの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)
↓
通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

今聞いているトラックのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT TRACK マーク表示有)
↓
今聞いているフォルダのリピート再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
REPEAT FOLDER マーク表示有)
↓
通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** をタッチする。

：表示灯点灯し、ランダム再生されます。

※ **ランダム** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

CDモードの場合

ディスク内の曲をランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)
↓
通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

MP3／WMAモードの場合

選曲中フォルダ内の曲をランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)
↓
通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

Music Rack／USB／SDモードの場合

今聞いているリストの中からランダム再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
RANDOM マーク表示有)
↓
通常再生(ランダム解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** をタッチする。

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

CD／MP3／WMAモードの場合

ディスク内の曲をスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
SCAN マーク表示有)
↓
通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

Music Rack／USB／SDモードの場合

今聞いているリストの中からスキャン再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
SCAN マーク表示有)
↓
通常再生(スキャン解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

アドバイス スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生する場合 ※iPodモードのみ

① **シャッフル** をタッチする。

：表示灯点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの中からシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
SHUFFLE TRACK マーク表示有)
↓
今聞いているリストをアルバムごとにシャッフル再生
(表示灯点灯／TOP画面のとき
SHUFFLE ALBUM マーク表示有)
↓
通常再生(シャッフル解除)
(表示灯消灯／マーク表示無)

3 **設定を終えるには、 閉じる をタッチする。**

：選択中モードのTOP画面に戻ります。

アドバイス

- 録音(REC)中はCDモードの再生モード操作はできません。
- マーク表示中はそれぞれのモード再生を繰り返します。
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと設定は解除されます。
- Music Rackモードの選曲モード(☞ E-7)がミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。

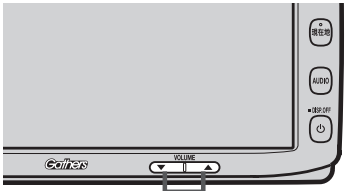
Music Rackモード

音量を調整する

1 ▼ ▲ (VOLUME) を押す。

：画面に現在の音の大きさ(0～40)を示す音量表示が表示されます。
音量表示は約2秒間表示されます。

※押しつづけて調整することもできます。



▼ ▲ (VOLUME)ボタン
▲側を押すと音量を上げます。(大きくなります。)
▼側を押すと音量を下げます。(小さくなります。)

SDモード(例)

音量表示

アドバイス

- ナビゲーションの音声案内の音量調整は上記操作では調節できません。(画面をタッチして調整します。)
  別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)「音声案内の音量調整／案内設定をする」F-30
- DVD/VTRモードの場合、音量は各モードで個別に設定できます。
- ⚙(オプション)にミュート機能を設定している場合は、このボタンを押して音を消すことができます。
  別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)「オプションボタンの設定をする」G-3

A-20 音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

今のモードの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

1 各モードの画面で、[現在地]を押す。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているモードの画面に戻す場合

① [AUDIO]を押す。

：今聞いているモードの画面に戻り、操作が可能になります。
再度、ナビゲーション画面を表示する場合は、[現在地]を押してください。

アドバイス

音量調整や[⏮ ⏭]を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのままで、画面を消す

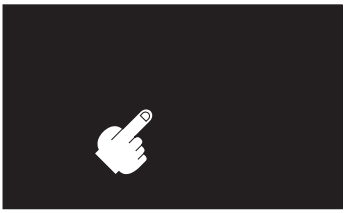
画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 ⏻ を２秒以上押す。

：画面のバックライトが消えて、黒くなります。

■ 再度、画面を表示する場合

① 画面をタッチする。



：画面のバックライトが点灯し、画面が表示されます。

※ ⏻ を押しても画面を表示させることができます。

A-22 動作モード(音楽／画像)を切り替える

SD／USBモードのとき、再生させたいファイル(音楽／画像)に切り替えます。

1 モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

※映像データを再生中の場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させてください。

SDモード画面(例)

アドバイス

☆印･･･手順 2 で選択したファイルの種類(動作モード)が表示されます。

・音楽ファイル･･･

・画像ファイル･･･

2 再生させたいファイルの種類(音楽ファイル ／ 画像ファイル)をタッチする。

■ 音楽ファイル をタッチした場合

：MP3／WMA／AACなどの音楽ファイルを再生します。

☞USB･･･F-2
☞SD･･･H-2

■ 画像ファイル をタッチした場合

：JPEG画像を表示します。

☞USB･･･F-4
☞SD･･･H-4

モード切替画面

画像ファイルを表示させる

SD／USBモードのとき、画像を本機に表示させることができます。画像は回転させたり、スライドショーをすることができます。

※SD／USBモードの場合、JPEG画像の入ったSD／USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)を本機に挿入／接続しておく必要があります。
☞SD挿入･･･A-7／☞USB機器を接続･･･F-16

1 **☞A-22手順 1 にしたがって操作し、手順 2 のとき 画像ファイル をタッチする。**

：操作ボタンと共に画像が表示されます。

※すでに画像が表示されている場合は上記操作の必要はありません。

2 **操作したい項目(スライドショー ／ 回転 ／ リスト)をタッチする。**

- スライドショー･･･ ☞「スライドショーを表示する」下記
- 回転･･･ ☞「画像を回転させる」A-24
- リスト･･･ ☞「リストより画像を選択する」A-24

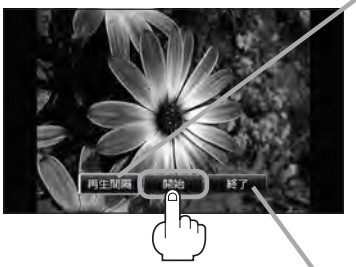
SDモード(画像ファイル)の場合
☞「各部の名称とはたらき」H-4

フォルダ内に複数のファイルがある場合、前へ ／ 次へ タッチで1つ前／後ろのファイルを表示させることができます。

スライドショーを表示する

① **画面をタッチし、操作ボタンを表示させる。**

② **開始 をタッチする。**



：選択しているフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

スライドショーの再生間隔を変更することができます。

1. 再生間隔 をタッチする。
2. お好みの間隔(3秒 ／ 10秒 ／ 30秒 ／ 1分)をタッチする。

：画像が表示され、選択した間隔でスライドショーを行ないます。

■ スライドショーを止める場合

①画面をタッチし操作ボタンを表示させ、終了 をタッチする。

画像ファイルを表示させる

画像を回転させる

① 回転 をタッチする。

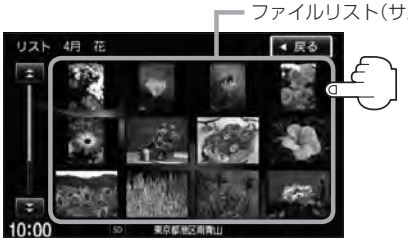
：タッチするたびに表示中の画像が
90度ずつ右回転(時計まわり)します。

リストより画像を選択する

① リストより表示させたいフォルダをタッチする。

：ファイルがサムネイル表示されます。

② 表示させたいファイルをタッチする。



：選択したファイル(画像)が表示されます。

アドバイス 画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。

アドバイス
- 画像表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 画像ファイルの制限につきましては「画像ファイル(JPEG)について」M-3を参照ください。

画質調整のしかた

FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／USB／iPod／SDモード画面のとき、明るさ／コントラスト調整ができます。iPodビデオ／Digital TV／DVD／VTRモード画面のときは、明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択*ができます。（ただし走行中は明るさ／コントラストの調整となります。）

アドバイス

＊印…ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選択できます。ただし、Digital TVモードの場合はフル固定となります。

- VTRモード画面で音声入力しか接続していない場合、それぞれのボタンは表示されても調整が反映されるのは、明るさ／コントラスト調整となります。
- 画質は、音楽再生のモード（音楽ファイル*）／画像ファイル*の場合、映像を表示するモードの場合で別々に調整することができます。

＊印･･･SD／USBモードのとき動作モード（ファイル）を選択することができます。

1 MENUを２秒以上押す。

：画面右側に画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※映像を表示するモードの場合は下記手順 2 へ、音楽再生の場合は下記手順 3 へ進んでください。（Digital TVモードの場合は手順 3 へ進んでください。）

2 画質調整をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面（例）

DVD／iPodビデオ／VTRモード画面の場合に表示されます。

「■ディスプレイ選択の場合」A-27

3 調整したい項目（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）をタッチする。

アドバイス

音楽再生の場合、明るさ／コントラストの調整となります。

画質調整画面（例）
映像を表示するモードの場合

4 ◀／▶をタッチして値を調整する。

画質調整画面(例)

アドバイス 調整はタッチパネルの◀または▶をタッチしつづけると素早く調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。
お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

■ 明るさ(1～31)調整の場合

◀をタッチすると暗くなり、▶をタッチすると明るくなる。

アドバイス 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

■ コントラスト(1～31)調整の場合

◀をタッチすると黒さが増し、▶をタッチすると白さが増す。

■ 色の濃さ(1～31)調整の場合

◀をタッチすると淡くなり、▶をタッチすると濃くなる。

■ 色合い(1～31)調整の場合

◀をタッチすると赤が強くなり、▶をタッチすると緑が強くなる。

アドバイス 人間の肌色が自然な感じになるように調整してください。

■ ディスプレイ選択の場合 （DVD／iPodビデオ／VTRモード画面の場合）

手順 1 （☞ A-25）で画面調整画面を表示する。
ノーマル／フル／ワイド／シネマの４つのタイプの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。

画面調整画面（例）

ノーマル ：４：３の映像の画面
フ　ル ：４：３の映像を左右に引き伸ばし、１６：９にした画面
ワイド ：“フル”の違和感を少なくした画面
シネマ ：４：３の映像をそのまま拡大した画面

アドバイス
- シネマを選択した場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなることがあります。
- VTRモードで音声のみ入力している場合、ディスプレイ選択しても表示は確認できません。
- Digital TVモードの場合はフル固定となります。

5 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス
- 画面右側の調整画面は約20秒間表示されます。
- 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。すでに値を変更した場合はその設定で確定（決定）されます。

画質調整を初期値に戻す

手順 3 、 4 （☞ A-25、A-26）で調整した画質（明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い）を設定する前の値（初期値）に戻すことができます。

1 画質調整画面で 初期値 をタッチする。
：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

画質調整画面（例）

音場の設定をする

※AV電源OFFの場合、音場の設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

※音場はLIVE／HALL／STADIUM／CHURCH／SRS CS Autoの5種類です。

2 AUDIO設定 ➡ 音場 をタッチする。

：音場設定画面が表示されます。

アドバイス
- 交通情報画面(☞C-10)の場合、音場(臨場感)は得られません。(ボタンは選択できません。)
- AV MENU画面につきましては☞A-10を参照ください。

AV MENU画面

3 お好みの音場(DSP／SRS CS Auto)を選択します。

■ DSPを使用する場合

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。

LIVE(ライブ)：音場をライブハウスに設定します。
HALL(ホール)：音場をコンサートホールに設定します。
STADIUM(スタジアム)：音場をスタジアムに設定します。
CHURCH(チャーチ)：音場を残響音の多い教会に設定します。

音場設定画面(例)

① DSP *をタッチし、お好みの音場(LIVE／HALL／STADIUM／CHURCH)をタッチする。

：選択した音場効果で再生されます。

アドバイス
DSPとSRS CS Autoの同時設定はできません。
*印… DSP を選択した時点で HALL が設定されています。(初期状態)

■ SRS CS Autoを使用する場合

SRS CS Auto

センタースピーカーやサブウーファーがなくても
4スピーカーのままで迫力の臨場感を再現することができます。

音場設定画面(例)

① **SRS CS Auto** をタッチする。
：SRSの音場効果で再生されます。

② 各項目(**FOCUS** ／ **TruBass** ／ **MixToRear**)と **−** ／ **+** をタッチして音の高さ／低音の強さ／音の位置をお好みの値に調整する。

SRS FOCUS(フォーカス) ：耳の高さから音が聞こえるように調整できます。
SRS TruBass(トゥルーバス) ：低音の強さをフロント・リアで個別に調整できます。
(サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)
SRS MixToRear(ミックストゥリヤ) ：フロントの音をリアにふり分けることができます。
(後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

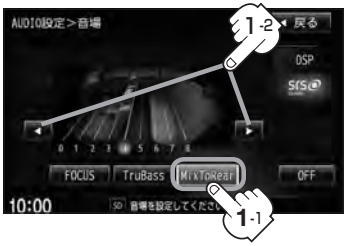
□ **FOCUS** を選択したとき

フロントまたはリアの音の高さを
+ ／ **−** タッチで調整します。
(0〜8)

□ **TruBass** を選択したとき

フロントまたはリアの低音のレベルを
+ ／ **−** タッチで調整します。
(0〜8)

□ **MixToRear** を選択したとき



リアスピーカーへのフロントスピーカーの
出力成分割合を ◀ ／ ▶ タッチで調整します。(0〜8)

音場の設定をする

アドバイス

- 2スピーカーでは音場効果は得られません。
- FOCUSを選択しても車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストは音場を表すためのイメージ図です。

音場設定画面(例)

- 音場効果(臨場感)をやめたい場合は **OFF** をタッチしてください。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

SDモードTOP画面(例)

オーディオ画面では手順 **3** で選択した音場が表示されます。

- 手順 **3** (A-29)でSRS CS Autoを選択するとイコライザーの設定(A-31)は自動的に **OFF** 選択となります。
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選択したり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※AV電源OFFの場合、イコライザーの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ イコライザー をタッチする。

：イコライザー画面が表示されます。

AV MENU画面

3 お好みの音質の選択または値を設定する。

■ お好みの音質を選択する場合

① 設定したい音質(POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER1 ／ USER2)をタッチする。

：音質が確定され、選択した音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。 A-32

イコライザー画面

アドバイス

POP ／ ROCK ／ JAZZ の値は本機に既存の値が設定されています。 USER1 ／ USER2 のイコライザーの値はOFF状態(±0)に設定されています。

※お好きな値に調整することもできます。 A-32

→次ページへ続く

□ お好きな値に調整するとき

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と ▲ / ▼ をタッチして調整する方法の２種類があります。

▲ ：レベルアップ
▼ ：レベルダウン

イコライザー
※イコライザーの ▬ の部分が値(レベル)を表します。

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス

- イコライザー画面で OFF をタッチすると音質効果なし(±０のフラット状態)となります。
- 登録 をタッチする前に音質を変更(POP / ROCK / JAZZ / USER1 / USER2 を選択)すると、設定した値は保存されずAV MENU画面に戻ります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

オーディオ画面(SDモード画面(例))

各オーディオの音楽再生画面で Sound をタッチするとイコライザー画面を表示させることができます。

イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値を設定する前の値(初期値)に戻すことができます。

1 イコライザー画面で初期化したい音質
(POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER1 ／ USER2)をタッチする。

2 初期化 をタッチする。
：設定した値が工場出荷時の値に戻ります。

スピーカーの設定をする

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時(☞A-28)の音のゆがみを抑制することができます。

スピーカーの大きさについて

位置／大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17cm以上	16cm以下
リア	17cm以上	16cm以下

※オーディオモード終了(OFF状態)の場合は、スピーカーの設定をすることはできません。

1 オーディオモード画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ スピーカー をタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。

アドバイス AV MENU画面につきましては☞A-10を参照してください。

AV MENUのAUDIO設定画面(例)

3 上記表を参照して LARGE ／ NORMAL をタッチする。

スピーカー設定画面

選択した結果が反映される

アドバイス
17cm以上の場合はLARGE、16cm以下の場合はNORMALの設定をおすすめします。
※スピーカーの大きさは目安ですので設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で、低音を確認していただき、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選択してください。

4 設定を終えるには、戻るをタッチして表示させたい画面まで戻ってください。

アドバイス
戻るをタッチすると1つ前の画面に戻ります。すでに設定を変更した場合はその変更した設定で確定(決定)されます。

フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスや低音、高音の調整をすることができます。

FADE（フェード）：前または後ろスピーカー音量調整　／　BALANCE（バランス）：左または右スピーカーの音量調整

※AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

---

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

---

2 AUDIO設定 ➡ フェードバランス をタッチする。

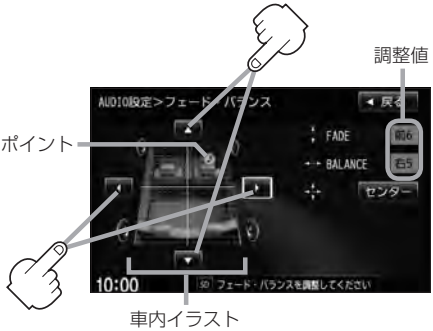
：フェード・バランス設定画面が表示されます。

アドバイス AV MENU画面につきましては A-10を参照ください。

---

3 調整したい項目（FADE／BALANCE）の◀／▶／▼／▲をタッチする。

※車内イラストを直接タッチし、ポイント（値）を移動させて調整することもできます。



■ FADE（前9～後9）調整の場合

▼をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
▲をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

■ BALANCE（左9～右9）調整の場合

◀をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
▶をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

---

4 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

フェード・バランス設定画面(例)

- センター をタッチするとFADE／BALANCEの値が0になり、ポイントが中心線上に戻ります。

- 調整時に ◀／▶／▼／▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。
☞「イコライザー(音質)の設定をする」A-31

車速連動音量を設定する

車の走行速度によって、オーディオの音量を自動で調整します。

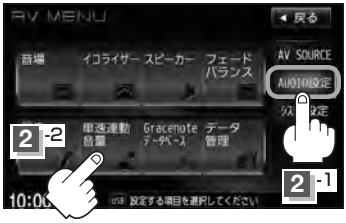
1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

：車速連動音量設定画面が表示されます。



アドバイス AV MENU画面につきましては☞A-10を参照ください。

3 設定したい連動音量(HIGH ／ MIDDLE ／ LOW)をタッチする。

：車速(走行速度)に応じて音量変化は

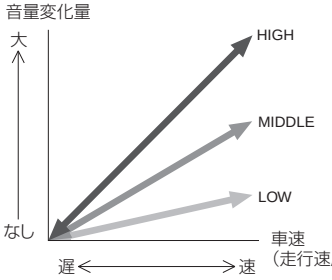
- HIGH…大きい
- MIDDLE…HIGHとLOWの中間
- LOW…小さい

となります。

連動音量を設定しない場合は OFF をタッチしてください。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げ(小さくし)ます。
  ※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。

- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
  すでに設定を変更した場合はその設定で確定(決定)されます。

B

録音設定／データ管理

Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートと
カスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)に
つきましては弊社ホームページから提供しております。(注)
(注)操作方法につきましては、
http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-128vf/
をご参照してください。
また、ご使用の際はユーザー登録をお願い致します。
※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音設定／データ管理について……B-2
再生可能メディアについて……B-3
CDの録音方法(自動／手動)を選択する……B-4
CDを録音する……B-6
　録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する…B-6
Music Rackの機能／構成について……B-8
Music Rackへ録音時の注意点について……B-9
Music Rackの使用容量を確認する……B-10
音楽データを修復する……B-11
音楽データを初期化する……B-12
ローカル／カスタムアップデートについて…B-13
　タイトル情報更新の流れについて……B-13
ローカルアップデート／
カスタムアップデートをする……B-15
Gracenoteデータベースのデータを
初期化する……B-20

B-2 録音設定／データ管理について

B章では、録音、データベースのアップデートなどデータ管理に関わる内容を説明しています。

- **音楽CDを本機(のMusic Rack)へ手動録音するための設定**
  ☞ B-4
- **Music Rackの機能について**
  ☞ B-8
  ※Music Rackの構成や音楽CDを本機(のMusic Rack)に録音(保存)するときの注意事項を記載しています。
  ※音楽CDのデータベースを内蔵しており、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などが自動的に付加され、整理をすることができます。
  ※GracenoteデータベースとMCDBデータベースを使用しています。
- **Gracenoteデータベースのアップデート方法**
  ☞ B-15

- Music Rackの機能の特徴は下記のようになります。

できること	音楽CDの録音・再生
本機以外に必要なもの (別にご購入頂くなどご準備頂くもの)	音楽CD
その他機能	アルバム名、アーティスト名などを自動的に付加するので、入力の手間を省けます。 新曲が出ても、アルバム名、アーティスト名などのデータベースを更新できます。
データ保存場所	Music Rack (HDD)

再生可能メディアについて

本機で再生可能なファイル形式とメディアにつきましては以下を参照ください。

	ファイル形式	拡張子	CD-R／RW	DVD-R／RW DVD+R／RW	USBフラッシュメモリ*	SDカード
音楽	MP3	.mp3	○	○	○	○
	WMA	.wma	○	○	○	○
	AAC	.m4a	×	×	○	○
画像	JPEG	.jpg	×	×	○	○

※ファイル形式や拡張子が対応の場合でも、ファイルの作成方法などによっては再生できない場合もあります。
※MP3／WMAファイルにつきましては「● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について」D-7を参照ください。
※AACファイルにつきましては「●AACの規格について」H-11／「● 音楽ファイルの再生について」H-12を参照ください。
※JPEGファイルにつきましては「画像ファイル(JPEG)について」M-3を参照ください。

＊印･･･ウォークマン®につきましては「対応可能なウォークマン®」F-15を参照ください。

B-4 CDの録音方法(自動／手動)を選択する

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲を本機(Music Rack)へ録音することができます。録音には自動録音と手動録音があります。
※本機の初期の録音方法は“自動録音”に設定されています。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。
※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ 録音 をタッチする。

：録音設定画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス AV MENU画面につきましては☞A-10を参照ください。

3 録音方法(自動録音 ／ 手動録音)を選択する。

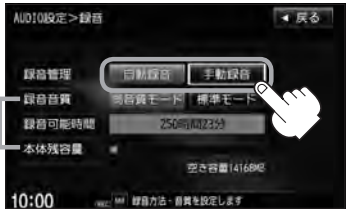
■ 自動録音 をタッチした場合

：音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。
☞「(未録音CDについて)」B-5

■ 手動録音 をタッチした場合

：CDモード画面で録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選択して 録音開始 をタッチすると録音を開始します。
☞「(録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する)」B-6

録音設定画面



設定画面では音質の選択や録音可能時間、本機の残容量を確認できます。
☞録音音質選択B-7

アドバイス
- すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は、 ●録音 をタッチして録音を開始させてください。☞B-6
- 録音を開始する前に☞「Music Rackへ録音時の注意点について」B-9を必ずお読みください。

未録音CDについて

録音方法が自動録音に設定されている場合、未録音の音楽CDを挿入すると、同時に録音を開始します。

録音中画面(例)

録音中のトラック名

進行中の数／録音総数

再生中トラックの再生時間と再生中のトラック名／録音中のアーティスト名／アルバム名

録音を止めたい、選択曲録音をしたい場合は **録音中止** をタッチしてください。

録音中トラックの進行度の目安を100%をMAXとした値とバーの長さで表示

録音中 表示される

全てのトラックの全体的な進行度の目安をバーの長さと100%をMAXとした値で表示(録音終了の目安表示)

※自動録音と手動録音の設定のしかたは「CDの録音方法(自動／手動)を選択する」B-4を参照してください。手動録音の場合、録音音質の選択や録音したい曲をお好みに選択することができます。「CDを録音する」B-6

アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。「アルバムリストの編集(曲管理)」E-14
  - ※Music Rackにつきましては「Music Rackの機能／構成について」B-8／「各部の名称とはたらき」E-2を参照ください。
  - ※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。
- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF➡ONにした場合は再度録音が開始されます。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。B-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。「CDを録音する」B-6

4 設定を終えるには、 戻る をタッチする。

：設定が確定(決定)されます。

※ 戻る をタッチすると1つ前の画面に、 AUDIO を押すと選択中モード画面に戻ります。

CDを録音する

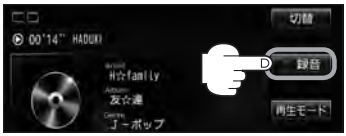
録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する

全曲録音するか、お好みの曲を録音するかの設定と、音質の設定することができます。
※未録音CDを挿入した場合は録音が開始されます。(自動録音設定時) ☞ D-4

1 CDモード時、●録音 をタッチする。

：録音開始画面が表示されます。

CDモード画面(手動録音設定時)



2 録音方法を選択する。

■ 全曲録音する場合

① 全曲録音 をタッチする。

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただし本機の容量が足りない場合 全曲録音 は選択できません。すでに1曲でも録音済みのディスクの場合は、未録音の曲を全て録音します。

※録音順はアルバムに収録されている通りとなります。

録音開始画面

■ 選択曲録音をする場合

① 選択曲録音 をタッチする。

：録音曲選択画面が表示されます。

② 録音したいトラックをタッチする。

録音曲選択画面

トラックをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
☑：このトラックを録音します。
☐：このトラックは録音しません。
※すでに録音済のトラックは選択できません。
(✔表示有／トラックは灰色表示)

③ 決定 をタッチする。

録音曲選択画面

：録音したいトラックが確定(決定)され、録音開始画面に戻ります。

※ 戻る をタッチした場合は選択は解除(無効)となり録音開始画面に戻ります。

アドバイス

- 本機に録音される順番はアルバム(CD)に収録されている通りとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“トラックxx”と表示されます。
  ※xxにはトラック番号の数字が入ります。

3 録音音質を選択する。

■ 高音質で録音する場合

① **高音質モード** をタッチする。

：音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
※標準モードに比べて録音できる曲数が少なくなります。

■ 標準で録音する場合

① **標準モード** をタッチする。

：音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。
※高音質モードに比べて録音できる曲数が多くなります。

4 録音開始 をタッチする。

：アーティスト名／トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(☞B-6)で選択した曲の1曲目から順に再生しながら録音します。

総演奏時間が確認できます。

本機への録音可能時間が確認できます。

アドバイス

- 録音中に **録音中止** をタッチすると録音を中止できます。
  ※録音を中止してもすでに本機に録音したトラックは本機に保存されます。
- 全曲の録音が完了すると、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音(REC)をしながら他のモードにすることができます。
  現在地 を押す。：ナビゲーション画面を表示します。
  AUDIO を押す。：**FM** ／ **AM** ／ **Music Rack** ／ **USB** ／ **iPod** ／ **SD** ／ **Digital TV** ／ **VTR** をタッチしてそれぞれのモードにすることができます。
  ※録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 本機への録音可能時間の情報を知ることができます。
  ☞「Music Rackの使用容量を確認する」B-10
- CDモードでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音(REC)を行なうと、設定は解除されます。

録画中画面(例)

録音を止めたい場合は **録音中止** をタッチしてください。

Music Rackの機能／構成について

本機には主に下記に示すようなMusic Rack機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加（Gracenoteデータベース約30万タイトル収録済）
- アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコートなどの選曲モード（☞E-7）の各ボタンに自動でふり分け
  ※ミュージックエスコートはMCDBデータベースを使い、曲調を自動的に判別してふりわける機能です。
  ※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めた“お気に入りリスト”作成可能
- 設定により自動録音／手動録音の選択が可能

アドバイス

- 選曲モードの各モードへのふり分けは収録しているデータベースに合致した場合に行なわれ、自動ふり分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下のとおりとなります。

録音可能曲数*	約3,500曲
最大容量	14GB

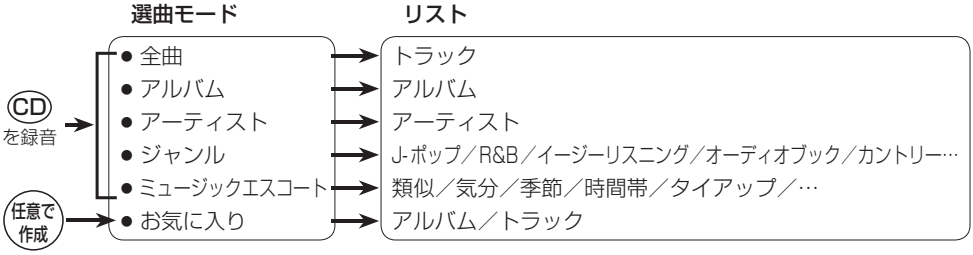
※＊印･･･録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
（録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4000曲となります。）
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

- Music Rack（HDD）には4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。
- Gracenoteデータベースにつきましては☞「データベースについて」M-6、「ローカルアップデート／カスタムアップデートをする」B-15を参照ください。

Music Rackの構成について

本機に録音された音楽CDは自動で4種類（アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート）の選曲モードの各ボタンにふり分けられます。さらにお気に入りボタンにはお好みの音楽だけを集めたアルバムリストやトラックリストを作成することができます。各選曲モードの再生リストから絞り込んで検索することができるため便利です。

※収録された音楽CDがGracenoteデータベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。



Music Rackへ録音時の注意点について

● 本機の故障、誤動作または不具合により本機に記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
● 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となる恐れがあります。

- 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、ラジオ、テレビ、SDカード、USB機器などから録音することはできません。
- 録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)または、オーディオをOFF状態にしても前回設定した自動／手動の選択(☞ B-4)、録音音質(☞ B-7)は保持されます。
- 車のエンジンスイッチを「Ⅰ(アクセサリー)」の状態で録音しているときに、「Ⅱ(ON)」にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失する恐れがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障する恐れがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承下さい。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止することがあります。
  ・録音が終了すると終了を知らせるメッセージが約3秒間表示されます。
- 録音中、モードを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済または1曲でも録音済のディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選択して録音を開始させてください。
  ☞「録音方法／録音音質を選択し、録音を開始する」B-6
- 録音途中に録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
  ※音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- Music Rack(HDD)の録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- Music Rack(HDD)の使用状況を確認するには☞「Music Rackの使用容量を確認する」B-10を参照ください。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDにつきましては正常に録音、再生できない場合があります。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音が終了したとき、最後に再生していたトラックの再生が終わるまで早送り／早戻し／再生モードの変更はできません。
- 録音を行なうと、録音前に設定されていた再生モードは解除されます。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
  ・録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合　　・録音中にCDを取り出した場合

Music Rackの使用容量を確認する

本機のMusic Rack内の使用状況を確認することができます。

1 **オーディオ画面で MENU を押す。**

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 **AUDIO設定 ➡ データ管理 をタッチする。**

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス AV MENU画面につきましては☞A-10を参照ください。

3 **Music Rack情報 をタッチする。**

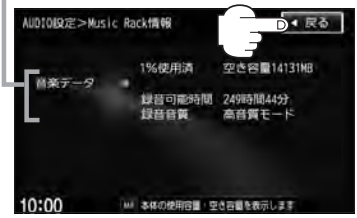
：本機のMusic Rackの使用状況が表示されます。

データ管理画面

4 **使用状況を確認したら、**
戻る をタッチまたは AUDIO を押す。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、AUDIO を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

音楽データの使用情報 (例)



音楽データを修復する

本機に録音(REC)した音楽データが見当たらないなどのときに操作するとデータを修復できる場合があります。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ データ管理 をタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス AV MENU画面につきましては☞A-10を参照ください。

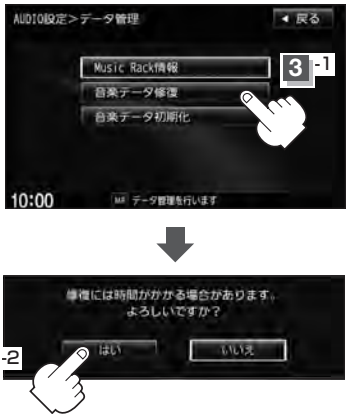
3 音楽データ修復 をタッチする。

：画面に表示されるメッセージを確認し、
はい をタッチすると修復作業が開始されます。

※修復作業は曲数が増加するにしたがって長くなります。

※Music Rack／USB／SD機器再生中の場合、修復作業中再生は停止されます。

データ管理画面



4 設定を終えるには、 戻る をタッチまたは AUDIO を押す。

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 AUDIO を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

B-12 音楽データを初期化する

本機のMusic Rack(HDD)に録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ データ管理 をタッチする。

：データ管理画面が表示されます。

AV MENU画面(例)

アドバイス AV MENU画面につきましては☞A-10を参照ください。

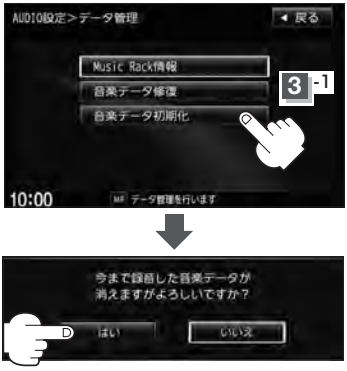
3 音楽データ初期化 をタッチする。

：今まで録音した音楽データが消えてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい を画面にしたがって選択します。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行なってください。

※Music Rack／USB／SD機器再生中の場合、初期化中再生は停止されます。

データ管理画面



4 設定を終えるには、戻る をタッチまたは AUDIO を押す。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 AUDIO を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

お願い

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で“はい”を選択すると、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。**

ローカル／カスタムアップデートについて

本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができるので、入力の手間をはぶくことができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。
　データベースにタイトル情報がない場合は誤ったタイトルを表示する場合があります。

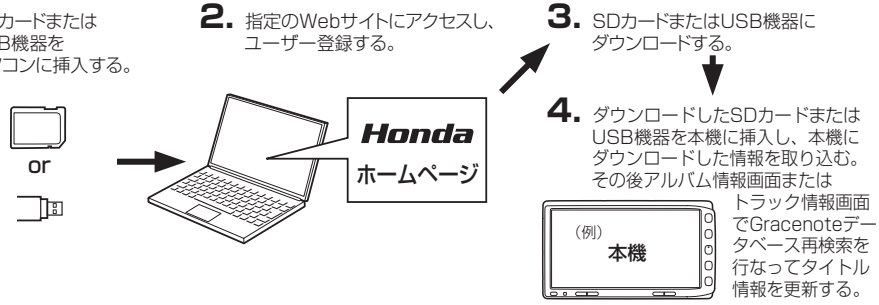
※収録されているGracenoteデータベースは、2011年12月時点のデータです。
　また、MCDBデータベースを利用することによりCD録音した曲のミュージックエスコート(曲調にあわせた再生リストへのふり分け)が可能となりました。

タイトル情報更新の流れについて

本機に収録されているGracenoteデータベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)があります。

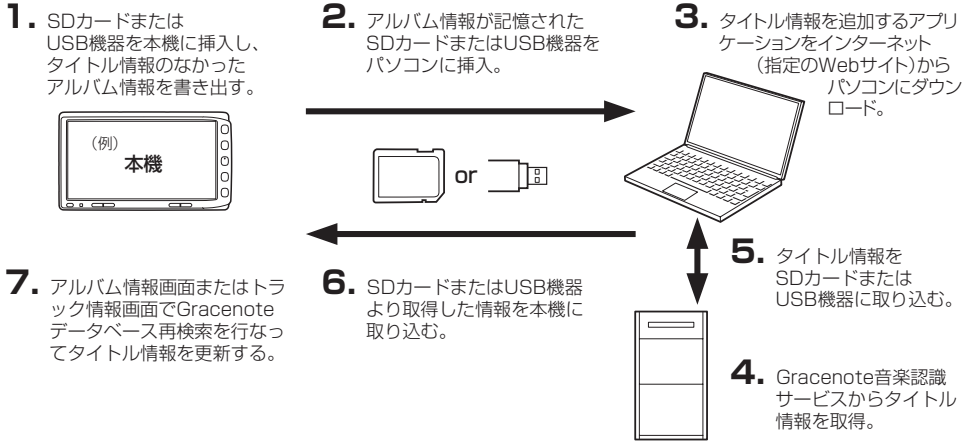
■ ローカルアップデート(定期更新)の場合

HondaのWebサイトに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。



■ カスタムアップデート(個別更新)の場合

本機のGracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報をGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。



ローカル／カスタムアップデートについて

アドバイス

- ローカルアップデート(定期更新)のデータ更新により本機のデータベースを最新の状態にすることができます。
- ローカルアップデート(定期更新)はローカルアップデート専用アプリケーションを使用してダウンロードしたデータをSDカード／USB機器に書き込むことができます。
- カスタムアップデート(個別更新)は間違ったタイトル情報が表示されたときに正しいタイトル情報を取得する際にも使用できます。
- カスタムアップデート(個別更新)はカスタムアップデート専用アプリケーションを使用して、本機から書き出したデータの検索ができます。
- Gracenoteデータベースよりタイトル情報を入手するにはSDカード8MB以上の空き容量、パソコン100MB以上の空容量、インターネット接続環境(64kbps以上推奨)、カードリーダライターなどインストールするにあたり動作環境を整えていただく必要があります。
- Gracenoteデータベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(操作方法)につきましては指定Webサイトにアクセスし、ユーザー登録をお願い致します。(注)
  ローカルアップデート(定期更新)専用アプリケーション、カスタムアップデート(個別更新)専用アプリケーションは指定のWebサイトから入手できます。
  (注)：指定のWebサイトhttp://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxh-128vf/
  ※ユーザー登録やアップデートの操作方法などは上記Webサイトよりご確認ください。

MCDBについて

MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDBデータベースはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
MCDBは、メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者･作詞者等により作成･保証されたデータベースではありません。

- MCDBサービスは、ユーザーの趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBサービスは、個人の使用のみに使うことを許可します。
- MCDBサービスを、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- 本製品に格納されたMCDBデータベースは、第三者に譲渡･コピー･転送することを禁止します。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、弊社は、MCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法、関連諸法規、関連国際条約などで保護されています。

※収録されているMCDBは、2011年12月時点のデータです。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

Gracenoteデータベース検索を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース *をタッチする。

：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

＊印…走行中／録音中は選択できません。

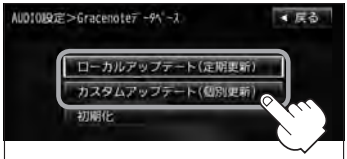
AV MENU画面(例)

アドバイス AV MENU画面につきましては☞ A-10を参照ください。

3 アップデートの方法 (ローカルアップデート(定期更新) ／ カスタムアップデート(個別更新))を選択する。

※Music Rack／SD／USB機器再生中はメッセージが表示されるので はい をタッチして再生を停止させる必要があります。

Gracenoteデータベース画面



■ ローカルアップデート(定期更新) をタッチした場合

アドバイス

ローカルアップデート(定期更新)する前に…

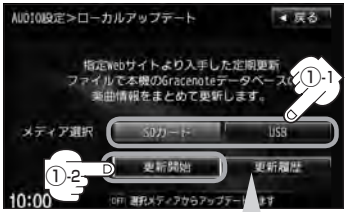
1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする
2. データベースファイルをパソコンにダウンロードする
3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATAフォルダを作成する
4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをNVDATAフォルダに移動させ、SDカードまたはUSB機器に取り込む
5. SD カードまたはUSB機器を本機に挿入／接続する

※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行ないます。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

① メディア(SDカード／USB)を選択し、更新開始をタッチする。

：更新してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると、選択した方法で本機に情報を取り込みます。

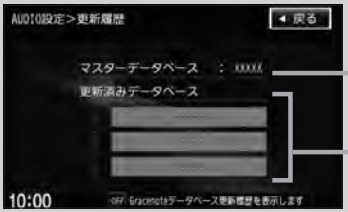


⚠注意

更新中は他の操作(モード切替／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSB機器からアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



工場出荷時のバージョンを表示

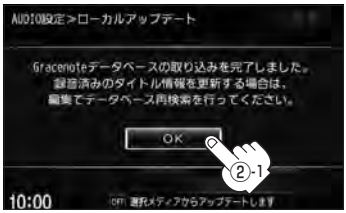
お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

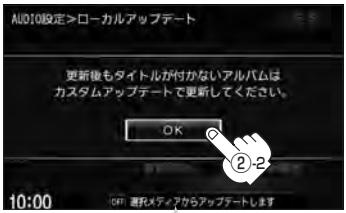
Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。

アドバイス

最新のアップデートファイルを更新しても、すべてのデータベースが更新されるわけではありません。アップデートを行なった期間のアップデートファイルをすべてダウンロードし、アップデートを行なってください。

② 取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、OK を画面にしたがってタッチする。





本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で データベース再検索 をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。
☞E-14手順 1 ～ 3 で アルバム編集 をタッチ、またはE-23手順 1 、 2 で トラック編集 をタッチし、E-18、E-25「■データベースから再検索する場合」参照

■ カスタムアップデート(個別更新) をタッチした場合

※SDカード／USB機器を本機に挿入／接続(準備)しておく必要があります。
☞「SDカードを入れる／取り出す」A-7
☞「USB機器を本機に接続する」F-16

データの書き出しをする

新規アルバム表示または、間違ったタイトル表示のときにデータの書き出しを行ないます。

□ 新規アルバム(No title表示)のとき

※新規タイトルxxと表示されるアルバムは、自動でアルバム情報の保存を行ないます。

1. B-18の手順①へ進んでください。

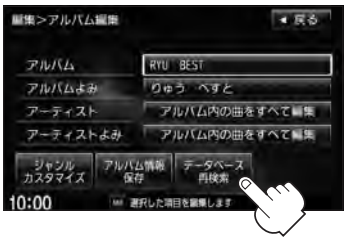
□ 間違ったタイトルを表示(ミスヒット)しているとき

■ データベースに複数のタイトル情報がある場合

1. Music Rackモードでデータベース再検索をする。

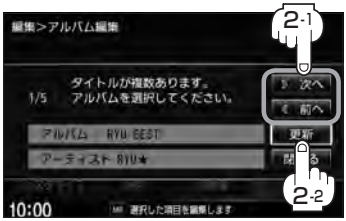
☞ E-14手順 1 ～ 3 で アルバム編集 をタッチ
または、E-23手順 1 、 2 で
トラック編集 をタッチし、
「■ データベースから再検索する場合 」E-18、E-25を
参照し データベース再検索 をタッチする。

アルバム編集画面の場合



2. 表示させたいアルバム名を
次へ ／ 前へ をタッチして検索し、
希望のアルバム名が見つかった場合は
更新 をタッチする。

：タイトル情報が更新されます。



3. B-19の手順 4 へ進んでください。

※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は
☞「■データベースにタイトル情報がない場合」B-18へ進んでください。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

■ データベースにタイトル情報がない場合

※Music Rack再生中は、
再生を停止する必要があります。

1.Music Rackモードで 編集 ➡ 曲管理 をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

2.間違った情報のアルバムをタッチし、
アルバム編集 をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

曲管理画面

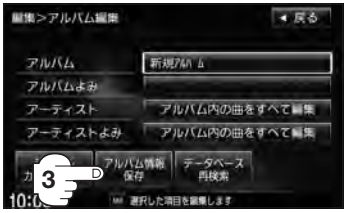
3. アルバム情報保存 をタッチする。

：間違ったアルバム情報を一旦本機に保存します。

4.B-15の手順 1 、 2 にしたがって操作し、
手順 3 のとき カスタムアップデート(個別更新)
をタッチする。

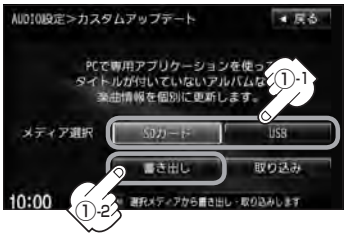
5. 下記手順①へ進んでください。

アルバム編集画面



① SDカード ／ USB ➡ 書き出し をタッチする。

：書き出しをしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとSDカード／USB機器にタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。



②書き出し完了を知らせるメッセージが表示されるので、内容を確認し、 OK をタッチする。

③本機よりSDカード／USB機器を取り、パソコンに挿入／接続する。

④パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤取得した情報をSDカード／USB機器に取り込む。

⑥SDカード／USB機器をパソコンより外し、本機に挿入／接続する。

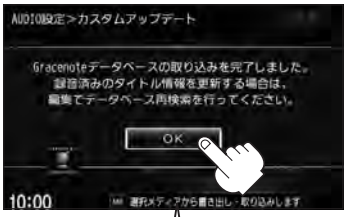
データの取り込みをする

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑦へ進んでください。
表示していない場合はB-15の手順 1 、 2 にしたがって操作し、
手順 3 のとき カスタムアップデート(個別更新) をタッチする。

⑦ SDカード ／ USB ➡ 取り込み をタッチする。

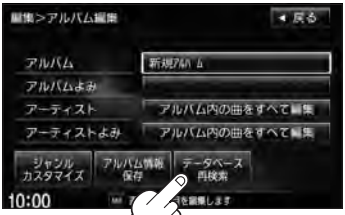
：取り込んでもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとSDカード／USB機器より取得した情報を本機に取り込みます。

⑧取り込み完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、OK をタッチする。



本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で データベース再検索 をタッチしてタイトル情報を更新してください。
※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。
☞ E-14手順 1 ～ 3 で アルバム編集 をタッチまたは、
E-23手順 1 、 2 で トラック編集 をタッチし、
E-18、E-25の「■ データベースから再検索する場合 」参照

アルバム編集画面の場合



アドバイス

☞「タイトル情報更新の流れについて」B-13もご参照ください。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチまたは AUDIO を押す。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 AUDIO を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

Gracenoteデータベースのデータを初期化する

Gracenoteデータベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース *をタッチする。

AV MENU画面(例)

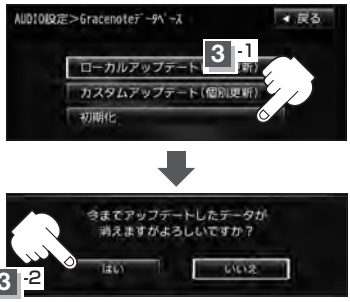
：Gracenoteデータベース画面が表示されます。

*印…走行中／録音中は選択できません。

アドバイス AV MENU画面につきましてはA-10を参照ください。

3 初期化 をタッチする。

Gracenoteデータベース画面



※Music Rack／SD／USB機器再生中はメッセージが表示されるので はい をタッチして再生を停止させる必要があります。

：今までアップデートしたデータを消してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、 はい を画面にしたがってタッチするとデータを消去し、Gracenoteデータベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行なってください。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチまたは AUDIO を押す。

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 AUDIO を押すと現在選択中のモードの再生画面に戻ります。

お願い

- **初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で“はい”を選択すると、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート(定期更新)／カスタムアップデート(個別更新))は消去され、二度と復帰しません。**

C
FM／AMを聞く

各部の名称とはたらき……C-2
タッチパネル部について……C-2
表示部について……C-3
FM／AM放送を切り替える……C-4
選局する……C-4
プリセット(メモリー)する……C-8
交通情報を受信する……C-10
道路交通情報を聞く……C-10
道路交通情報の受信を止める……C-11

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

FMモード TOP画面(例)(P1／P2ボタン選択時)

FMモード TOP画面(例)(エリアボタン選択時)

① **Sound** ボタン
イコライザー画面を表示します。☞ A-31

② **プリセット** ボタン(1～6)
1.5秒以上タッチで好きな放送局をメモリーします。☞ C-8(エリアボタン選択時は除く)
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

③ **P1** ／ **P2** ボタン
ユーザープリセットした放送局を表示します。☞ C-5

④ **エリア** ボタン
現在の車の位置周辺で放送されている放送局を **エリア表示** (1～12)に表示します。☞ C-6

⑤ **切替** ボタン
時計のみ表示させてラジオを聞くことができます。☞ A-12

⑥ **交通情報** ボタン
道路交通情報を受信します。☞ C-10

⑦ **FM／AM** ボタン
FM／AM放送を切り替えます。☞ C-4

⑧ **A.SEL** ボタン
1秒以上タッチでオートセレクトを開始します。(表示灯点灯)☞ C-7
※セレクトされた放送局はボタンに表示されます。短タッチでオートセレクト画面とユーザプリセット／エリア画面の切り替えとなります。☞ C-5

⑨ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。☞ M-2

⑩ **エリア更新** ボタン
エリア タッチで表示させた放送局を最新の情報(放送局)で表示します。☞ C-6

⑪ **エリア表示** ボタン(1～12)
エリア タッチでエリアが **エリア表示** (1～12)に表示されます。☞ C-6
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽く(1.5秒未満)タッチします。

アドバイス
- 放送局名は、現在の車の位置周辺の放送局名を表示しますが、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては☞A-2を参照ください。

表示部について

①FM／AM表示
選択中のバンド(FM放送／AM放送)を表示します。
☞C-4

②周波数表示

③放送局名表示

④音場表示
選択中の音場を表示します。
☞A-28
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞A-31

⑤ステレオ放送表示
ステレオ放送受信時のみ表示されます。
☞C-4

FM／AM放送を切り替える

1 **FM／AM をタッチする。**

：タッチするたびにAM放送⇔FM放送を切り替えます。

FM放送の場合(例)

AM ⇔ FM が切り替わる

選局する

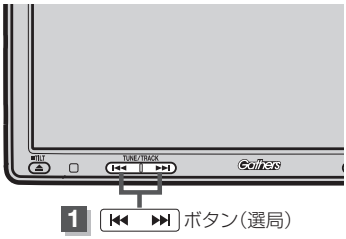
手動選局／自動選局／プリセット選局／エリア／オートセレクト選局があります。

1 **選局する。**

■ 手動選局で放送局を選ぶ場合

① **⏮ ⏭(選局)を押す。**

：ボタンを押すたびに、FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。



1 ⏮ ⏭ ボタン(選局)

■ 自動選局で放送局を選ぶ場合

① **⏮ ⏭(選局)を1秒以上押す。**

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※自動選局中に ⏮ ⏭ (選局)を押すと、自動選局は止まります。

アドバイス

- 自動選局中は表示部に“サーチ中…”と表示されます。
- FMステレオ放送を受信すると STEREO が表示されます。(AMステレオ放送はありません。)
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ P1／P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合

プリセット(1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。
※あらかじめ **プリセット**(1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。
☞「プリセット(メモリー)する」C-8

① **P1** または **P2** をタッチする。

：選択中モード(FM／AM)のプリセット表示となります。

② 呼び出したい **プリセット**(1～6)をタッチする。

：選択したラジオ放送を受信します。

FMモード TOP画面(例)

プリセット ボタン
(1～6)

アドバイス FM／AMモード TOP画面は選択する **P1** ／ **P2**、**A.SEL**、**エリア** によってプリセット表示またはエリア表示となります。

FMモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面(**P1** ／ **P2** 選択時)

エリア タッチすると

P1 ／ **P2** タッチすると

FMモード TOP画面(例)
エリア表示画面(**エリア** 選択時)

A.SEL タッチして表示灯を点灯すると

A.SEL タッチして表示灯を点灯すると

FMモード TOP画面(例)
オートセレクト画面(**A.SEL** 選択時)

A.SEL タッチして表示灯を消灯すると

A.SEL タッチして表示灯を消灯すると

■ エリア選局で放送局を選ぶ場合

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** をタッチする。

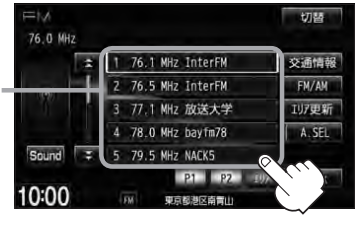
FMモード TOP画面(例)

：現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12)に表示されます。

エリア表示 ボタン(1～12)

※地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。

② **エリア表示** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。



：選択したラジオ放送を受信します。

アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。
- TOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** ／ **P2** ／ **A.SEL**)によってエリア表示またはプリセット表示となります。C-5アドバイス参照

■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合

オートセレクト(自動でFM／AM各12局までメモリー)した放送局を プリセット (1～12)に表示し、呼び出すことができます。

※あらかじめオートセレクトをしておく必要があります。

☞「■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合」C-9

① **A.SEL** をタッチする。

FMモード TOP画面(例)
ユーザープリセット画面表示時(＊)

：オートセレクトでメモリーした放送局を **プリセット** に表示します。

② **プリセット** (1～12)の中で聞きたい放送局をタッチする。

プリセット ボタン
※セレクトできた局の数によってボタンの数も変わります。

：選択したラジオ放送を受信します。

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

□ オートセレクト画面のときユーザープリセット／エリア画面に戻すとき

① **A.SEL** をタッチする。

オートセレクト画面

表示灯

：表示灯が消灯し、ユーザープリセットまたはエリア画面に戻ります。

※ **A.SEL** をタッチするたびにオートセレクト⟷ユーザープリセット／エリア画面と切り替わります。

アドバイス

- **A.SEL** を1秒以上タッチした場合はオートセレクトサーチの開始となります。☞ C-9
- 表示された放送局がかならず受信されるわけではありません。

＊印…FMモードのTOP画面は選択するボタン(**エリア** または **P1** または **P2** 、 **A.SEL**)によって異なります。☞ C-5アドバイス参照

プリセット(メモリー)する

プリセットボタンにメモリーする方法としてユーザープリセット(手動メモリー)とオートセレクトプリセット(自動メモリー)があります。

1 プリセットを選ぶ。

☞「FM／AM放送を切り替える」C-4、
「■ P1／P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」C-5

：ユーザープリセット1またはユーザープリセット2画面が表示されます。

2 プリセットする方法を選択する。(ユーザープリセット／オートセレクトプリセット)

■ ユーザープリセット(手動メモリー)をする場合

メモリーしたい局を選び、 プリセット (1～6)にメモリーします。

① ⏮ ⏭ (選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「■ 手動選局で放送局を選ぶ場合 ／ ■ 自動選局で放送局を選ぶ場合」C-4

② プリセット (1～6)のうち、メモリーしたいボタンを1秒以上(プリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで)タッチする。

ユーザープリセット画面(例)

① ⏮ ⏭ ボタン(選局)

プリセット ボタン(1～6)

アドバイス

- ユーザープリセットには、FM・AMの各モードで6局ずつ、 P1 ／ P2 に計24局メモリーすることができます。
- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、 P1 または P2 をタッチし、呼び出したい プリセット (1～6)を軽く(1秒未満)タッチします。

☞「■ P1／P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ場合」C-5

■ オートセレクトプリセット(自動メモリー)をする場合

現在の車の位置で受信できる放送局を自動で **プリセット** にメモリーします。

① **A.SEL** を1秒以上タッチする。

ユーザープリセット画面(例)

: **A.SEL** の表示灯点灯し、受信した放送局を **プリセット** にメモリー(表示)します。

ユーザープリセット画面(例)

プリセット ボタン

オートセレクト機能が働いているとき表示灯点灯

アドバイス

- オートセレクトには、FM・AMの各モードで12局ずつ、計24局メモリーすることができます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、呼び出したい **プリセット** を軽く(1秒未満)タッチします。
  「■ オートセレクト選局で放送局を選ぶ場合」C-7
- 1局も放送局をメモリーできなかった場合、表示部に“受信できません”と表示し、メモリーする前の放送局に戻ります。
- オートセレクト画面からユーザープリセット画面に戻すには、**A.SEL** をタッチし、表示灯を消灯させてください。

交通情報を受信する

道路交通情報を聞く

AMラジオ局の道路交通情報を受信することができます。

1 **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示され、AMラジオ局の道路交通情報を受信します。

FMモードTOP画面(例)

交通情報画面(例)

※初期状態は1620kHzに設定されています。

アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面からも表示させることができます。

1. **AUDIO** を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

2. **交通情報** をタッチする。

：交通情報画面が表示されます。

■ 周波数の設定を変える場合

① **1629kHz** をタッチする。

：1629kHzの交通情報を受信します。

※1620kHzに戻したい場合は **1620kHz** をタッチしてください。

道路交通情報の受信を止める

■ 戻る をタッチした場合

：最後に選択していたモードが表示され、交通情報の受信を終了します。

■ ⏻ を押した場合

：画面に“OFF”と表示されAV電源が切れます。

アドバイス

次回 交通情報 をタッチすると前回選択した周波数の交通情報を受信します。

D

CD／MP3／WMAを聞く

各部の名称とはたらき……D-2
タッチパネル部について……D-2
表示部（再生画面）について……D-3
未録音CDを挿入すると・・・……D-4
好きなフォルダを選ぶ……D-4
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……D-5
MP3／WMAファイルについて……D-6

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

CDモードTOP画面(詳細表示時(例))

MP3モードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン
イコライザー画面を表示します。A-31

② **♪** ボタン(詳細情報)
トラックの詳細情報を表示します。D-3

③ **☰** ボタン(トラックリスト)
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。D-5

④ **切替** ボタン
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。A-12

⑤ **●録音** ボタン
録音開始画面を表示します。B-6

⑥ **再生モード** ボタン
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。A-15

⑦ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。M-2

⑧ **フォルダ⊖** ／ **フォルダ⊕** ボタン
前または次のフォルダを選択します。D-4

アドバイス
- 録音(REC)中は画面に **録音中止** が表示されます。タッチすると録音(REC)を中止します。
- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。
- パネル部に配置されているボタンにつきましてはA-2を参照ください。

表示部(再生画面)について

CDモードTOP画面
詳細表示時(例)

MP3モードTOP画面
詳細表示時(例)

Bluetooth対応携帯電話が登録／接続されている場合に表示されます。

①再生状態表示
▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

②再生時間表示

③アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示(＊1)
アーティスト名表示／アルバム名表示／フォルダ名表示(＊2)
＊1印…CDモードの場合
＊2印…MP3／WMAモードの場合

④トラック名表示(＊3)

⑤音場表示
選択中の音場を表示します。A-28
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
A-31

⑥リピート／ランダム／スキャン再生時に表示
表示内容につきましてはA-15を参照ください。

⑦再生モード表示
MP3 …MP3モード／ WMA …WMAモード

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(＊1)
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。(＊2)
  ※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- DISC内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下の様になります。
  ・DISCにCD-TEXT情報があれば、アーティスト名／トラック名／アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
  ・CD-TEXTが無い場合でGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのアーティスト名／トラック名／アルバム名／ジャンル名が表示されます。
  ・DISCにCD-TEXTも無くGracenoteデータベースにもヒットしなければ、トラック名／アーティスト名／アルバム名は全て“No Title”と表示されます。
  ・本機へ録音(REC)されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
  ・CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合にトラック名がリスト表示されます。DISCにCD-TEXTがある場合はCD-TEXTが優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合はトラック名に全て“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
  ※市販されている音楽CDの大多数にはCD-TEXT情報は入っていません。
- アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。
  ＊3印…トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。(MP3／WMAの場合)

D-4 未録音CDを挿入すると・・・

※CDモードの場合

本機に1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ全曲の録音を開始します。「(未録音CDについて)」B-5
※録音方法が自動録音に設定されている場合です。

録音を停止したい場合は、
録音中止 をタッチしてください。

アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。
  「アルバムリストの編集(曲管理)」E-14
  ※Music Rackにつきましては「Music Rackの機能／構成について」B-8／「各部の名称とはたらき」E-2を参照ください。
  ※音楽CD以外(MP3／WMAなど)は録音(REC)できません。
- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオモードからCDモードにした場合や、CDモードでOFF➡ONにした場合は再度録音が開始されます。(自動録音設定時)
- 自動録音／手動録音は変更することができます。B-4
- 録音する曲を選択したり、録音音質を変更することができます。「CDを録音する」B-6

好きなフォルダを選ぶ

※MP3／WMAモードの場合

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ⊖ ／ フォルダ⊕ をタッチする。

■ 前のフォルダに戻る場合
フォルダ⊖ をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合
フォルダ⊕ をタッチする。

トラックリストより好きなトラックを選ぶ

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDモード TOP画面(詳細表示(例))

アドバイス

TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDモード TOP画面(例)

詳細表示

☰ タッチ ➡

⬅ ♪ タッチ

CDモード TOP画面(例)

トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDモード TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス

- ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、つづきを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。
- CDモード時のトラックリストについて
  - CD-TEXT情報またはGracenoteデータベースタイトル情報が表示されます。
  - タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
  - TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)

MP3／WMAファイルについて

● **MP3とは？**

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

・MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

● **WMAとは？**

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

● **トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について**

曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ(MP3用)やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

● **CD-R／CD-RWについて**

・CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

・一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

● **MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**

● **マルチセッションについて**

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。MP3／WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

● MP3／WMAの音楽ファイルはMP3／WMA／SD／USBモードで再生することができます。
（下記☆印参照）

● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について

使用可能なメディア☆	CD-R、CD-RW DVD±R、DVD±RW	SDカード、 SDHCカード	USBフラッシュメモリ
再生モード☆	MP3/WMAモード	SDモード	USBモード
再生可能なMP3/WMAファイルの規格	・MP3･･･MPEG Audio Layer 3 ・WMA･･･Windows Media Audio ※m3u ／ MP3i フォーマット／ MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。 ※WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。 ※2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。		
再生可能なMP3/WMAファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma（大文字、小文字どちらでも使用可能）		
使用できるメディアフォーマット	拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2 ※パケットライトには対応していません。	FAT16／FAT32	
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32／半角32文字	全角32／半角64文字	
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	999	10,000	
最大フォルダ数	255	400	
表示可能なID3タグ／WMAタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名	トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名	
ID3タグ表示可能文字数	Ver 1.0/1.1：全角15/半角30文字 Ver 2.2/2.3：全角32/半角64文字		
	※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。		
WMAタグ表示可能文字数	全角32/半角32文字	全角32/半角64文字	
ID3タグ／WMAタグ推奨文字コード	シフトJIS		
ジャケット写真	非対応	対応*	

※著作権保護されたWMAは再生できません。
＊印･･･MP3／WMAファイルのジャケット写真表示につきましては、☞H-11 ＊印を参照してください。

MP3／WMAファイルについて

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	−	○
22.050	−	○
24.000	−	○
32.000	○	−
44.100	○	−
48.000	○	−
ビットレート(kbps)		
8	−	○
16	−	○
24	−	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	−	○
160	○	○
192	○	−
224	○	−
256	○	−
320	○	−
VBR	○	○

※VBR：可変ビットレート

WMA

	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

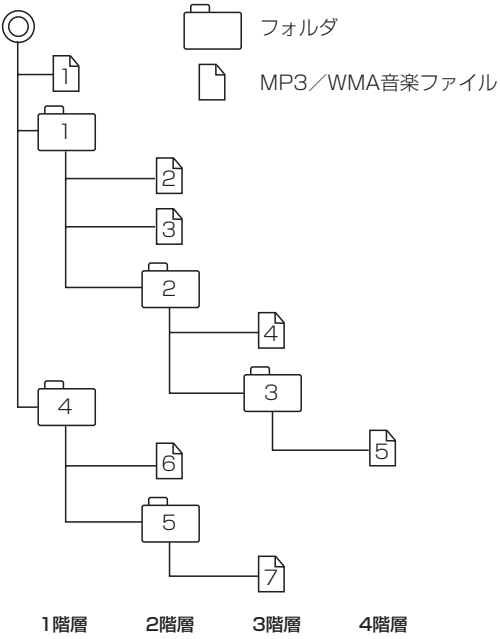
- 32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 64kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

- 一般的にビットレートが高くなるほど音質はよくなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

MP3／WMAファイルについて

● 階層と再生順序について



〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● MP3／WMAファイルの作り方について

MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

・音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフト等の説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

・CD-R／CD-RWに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- MP3／WMAファイルの作成の詳しくはエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

E

Music Rackを使う

各部の名称とはたらき……E-2
タッチパネル部について……E-2
表示部(再生画面)について……E-3
リスト表示より好きなトラックまたは
アルバムを選ぶ……E-4
選曲モードより選ぶ……E-6
アルバムリストの編集(曲管理)……E-14
アルバム編集をする……E-14
再生選択をする……E-19
お気に入り登録をする……E-20
ジャケット写真を登録する……E-21
削除する……E-22
トラックリストの編集(曲管理)……E-23
トラック編集をする……E-23
再生選択をする……E-26
お気に入り登録をする……E-27
削除する……E-27
お気に入りを管理する……E-28
再生中の曲をお気に入り登録する……E-30
再生中の曲のジャンルとミュージック
エスコートを設定する……E-32

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

Music RackモードTOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー設定画面を表示します。A-31

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。E-5

③ **ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。E-4

④ **ボタン(アルバムリスト)**
アルバムリストを表示し、アルバムの選択が可能です。E-4

⑤ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。A-12

⑥ **選曲モード ボタン**＊1
6種類の選曲モード(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。E-7

⑦ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。A-15

⑧ **編集 ボタン**＊2
アルバムやトラックの編集(表示名やよみがなを変えたり)、ジャンルの変更、ジャケット写真の登録、再生選択やお気に入り管理などをすることができます。E-14、E-23

⑨ **登録 ボタン**＊2
再生中のアルバムまたはトラックをお気に入りへ登録したり、再生中トラックをお好きなジャンル／ミュージックエスコートに変更することができます。E-30

⑩ **Quick ボタン**
カスタマイズメニューを使用することができます。M-2

アドバイス
- パネル部に配置されているボタンにつきましてはA-2を参照ください。
- ＊1印…走行中は操作できる機能が制限されます。
- ＊2印…走行中は操作できません。

表示部(再生画面)について

①再生状態表示
▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

②再生時間表示

③トラック名表示

④選択中の選曲モードの内容を表示
※どの選曲モードを選んでもアルバムや曲の削除、再生選択を行なった場合、表示される選曲モードは“全曲”表示となります。
☞選曲モードE-7

⑤アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示

⑥音場表示
選択中の音場を表示します。☞A-28
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞A-31

⑦リピート／ランダム／スキャン再生時に表示
表示内容につきましては☞A-15を参照ください。

⑧ジャケット写真表示
ジャケット写真が登録されている場合に表示されます。
☞E-21

アドバイス
- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。(本機は漢字・ひらがな・カタカナ・英数対応しています。)
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名／トラック名／アルバム名が記録されていないディスクを録音した場合は、それぞれの表示は“新規アーティスト”／“トラック××”／“新規アルバム△△△△　△△△”と表示されます。
  ※××にはトラック番号、△には録音した西暦・月・日の数字が入ります。
- 実際と異なるトラック名／アルバム名表示のまま録音した場合は、異なった情報のまま本機に録音されます。
- ジャンル名表示で該当するジャンルがない場合は“その他”と表示されます。

E-4 リスト表示より好きなトラックまたはアルバムを選ぶ

選曲モード(☞E-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。

---

1 **または をタッチする。**

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ **をタッチした場合**

：トラックリストが表示されます。

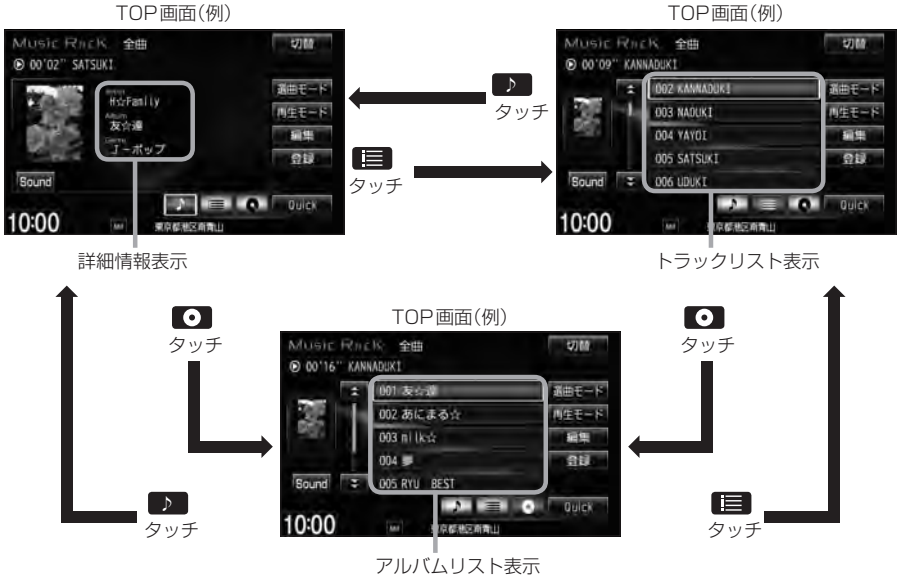
アドバイス 選曲モード(☞E-7)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入り)のトラックリスト表示となります。

■ **をタッチした場合**

：アルバムリストが表示されます。

アドバイス 選曲モード(☞E-7)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。
※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバム表示となります。
※選曲モードでジャンル/ミュージックエスコート/お気に入りを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

アドバイス TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ ／ ● によって詳細情報表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。



- 選曲モード(☞ E-7)で“アーティスト”を選択すると、選んだアーティストのトラックリスト／アルバムリスト表示となります。
- 選曲モード(☞ E-7)で ジャンル ／ ミュージックエスコート ／ お気に入り (お気に入りトラック)を選択した場合は、 ● は選択できません。

2 再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

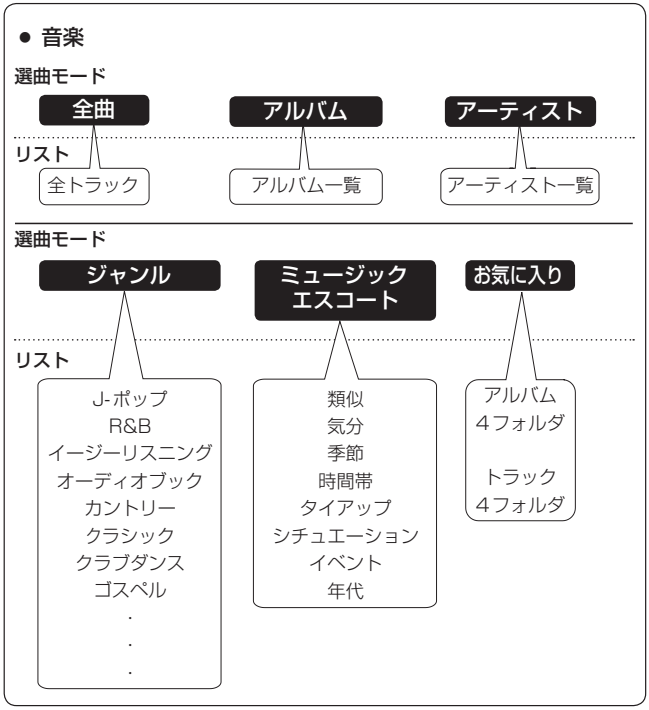
本機はCDの録音と同時にGracenote音楽認識サービスとMCDB(メディアクリックDB)により、該当する選曲モードの各ボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／ミュージックエスコート)に自動でふり分けます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDがGracenote データベースおよびMCDB検索でタイトル情報が取得されている場合に限ります。録音につきましては☞ B-6、Gracenoteデータベースの更新につきましては☞ B-13をお読みください。

本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り”ボタンもあります。

※“お気に入り”ボタンを使用するにはあらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。
☞「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

Music Rack モード　イメージ図



※アルバムや曲の削除／再生選択を行なうと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

1 **選曲モード** をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

Music Rackモード TOP画面
（詳細表示時(例)）

2 **選曲モードより選曲する方法(** **全曲** ／ **アルバム** ／ **アーティスト** ／ **ジャンル** ／ **ミュージックエスコート** ／ **お気に入り** **)を選択する。**

※走行中は、 **全曲** ボタン以外は操作できません。

選曲モード画面

選曲モード

アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点で、アルバムの最初から再生が始まります。

※録音した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ **全曲** をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ **アルバム** をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト
名前順表示の場合(例)

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

アドバイス

アルバムリスト表示(①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

登録順表示の場合(例)

1. **登録順** をタッチする。

：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。アルバム名のよみ("アルバムよみ")が入っていないと正しく名前順に表示されません。アルバム名のよみが入っているものをリストより名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。(アルバムの編集は☞ E-14参照)

※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

■ アーティスト をタッチした場合

：アーティストリストが表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

名前順表示の場合(例)

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アドバイス

- アーティストリスト／アルバムリストには、タイトル名がある(Gracenoteデータベースにヒットした)場合にリストに表示されます。
- アーティストリスト(手順①)／アルバムリスト(手順②)表示のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. **登録順** をタッチする。
   ：本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。
   ※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ(“アーティストよみ”の項目を選択し編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(☞アルバム／アーティストの編集はE-14参照)

登録順表示の場合(例)

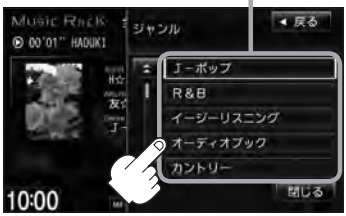
※初期状態は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

■ ジャンル をタッチした場合

：ジャンルリストが表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

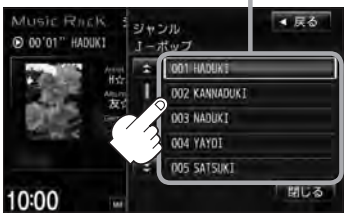
ジャンルリスト



：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。

アドバイス

＊ジャンル一覧

・J-ポップ	・クラブダンス	・パンク	・ポップ	・演歌
・R&B	・ゴスペル	・ヒップホップ	・メタル	・子供向け
・イージーリスニング	・サウンドトラック	・フォーク	・ラテン	・その他
・オーディオブック	・ジャズ	・フュージョン	・レゲエ	
・カントリー	・テクノ	・ブルース	・ロック	
・クラシック	・ニューエイジ	・ホリデー	・ワールドミュージック	

- トラックリストはGracenoteデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」E-32

■ ミュージックエスコート をタッチした場合

：ミュージックエスコートリストが表示されます。

① 再生させたいミュージックエスコートの大分類、小分類を選択していく。

※大分類／小分類につきましては☞（アドバイス内表）E-12を参照ください。

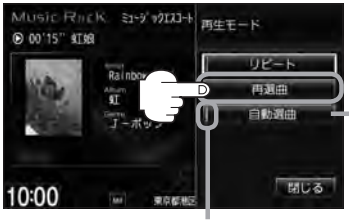
：選択した小分類のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

※トラックは10曲まで表示されます。
他の10曲を表示したい場合は再選曲をしてください。
☞下記参照

□ 再選曲するとき



1. 再生画面で 再生モード をタッチする。

2. 再選曲 をタッチする。

：選択中の小分類の中から本機が再選曲しなおし、曲を再生します。

初期状態は“自動選曲”に設定されています。
自動選曲が選択されていると、選択した小分類のトラックリストを再生し終わると、自動で小分類の中から再選曲を行ないます。

アドバイス

- ミュージックエスコートの各分類は以下のとおりとなります。

大分類	小分類
類似	類似曲／世代／グループ／地域
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝／朝／昼／夜／深夜
タイアップ	CMソング／ドラマ主題歌／ゲームソング／映画主題歌／テレビ主題歌
シチュエーション	海沿い／都市／ハイウェイ／雨／晴れ／雪
イベント	クリスマス／バレンタイン／卒業／誕生日／入学／結婚
年代	1960年代／1970年代／1980年代／1990年代／2000年代／2010年代

- ミュージックエスコートにはMCDB(CD収録属性)を利用した主観的楽曲(テンポ・シチュエーション・季節など)が自動でふり分けられます。多角的な管理の実現により気分にあわせた選曲が可能です。
- 選曲モードがミュージックエスコートのとき、ランダム／スキャン再生はできません。A-18
- トラックリストはGracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックリストに表示されるトラックはミュージックエスコートを選択するごとに再編成され任意に決めるため、同じ並びでリスト表示されるとは限りません。
- 楽曲によってはユーザーの主観とは違う分類にふり分けられることがあります。
- 類似曲を検索してもユーザーの主観とは異なる楽曲が選択されることがあります。
- ミュージックエスコートリストの
  - ・類似曲とは現在の再生曲に類似した曲
  - ・世代とは再生曲のアーティストが活動した年代の曲
  - ・グループとは再生曲のアーティストタイプ(ソロ／デュエット／グループ)の曲
  - ・地域とは再生曲のアーティストが活動した地域の曲
  - ・年代とは再生中のアルバムが発表された年代の曲

  を基準としてトラックリストを作成します。
- トラックのミュージックエスコート属性はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
  「再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する」E-32

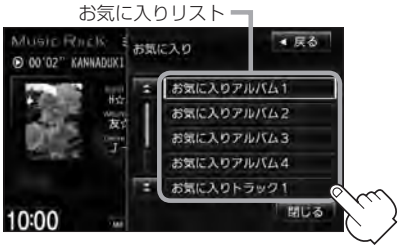
■ お気に入り をタッチした場合

：お気に入りリストが表示されます。

① 再生させたいお気に入りアルバム1～4またはお気に入りトラック1～4をタッチする。

アドバイス

お気に入り登録をしていないと、手順1.(E-13)以降の操作はできません。
「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30



□ お気に入りアルバム１ をタッチしたとき

：お気に入りアルバム１に収録されている
アルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。

お気に入りアルバム１の
アルバムリスト画面

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

2. 再生したいトラックをタッチする。

お気に入りアルバム１の
トラックリスト画面

：選択した曲を再生します。

□ お気に入りトラック１ をタッチしたとき

：お気に入りトラック１に収録されている
トラックリストが表示されます。

1. 再生させたいトラックをタッチする。

お気に入りトラック１の
トラックリスト画面

：選択した曲を再生します。

RMusic

3 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

アドバイス

ジャンルリスト(☞E-10)、ミュージックエスコートリスト(☞E-11)、お気に入りリスト(☞E-12)で再生させたいジャンル、ミュージックエスコート、お気に入り登録曲を選択したとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベース／MCDBデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などをすることができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索などもすることができます。

アルバム編集をする

1 編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

2 編集メニューより 曲管理 をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。

※Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選択できません。メッセージが表示されるので、 はい をタッチして再生を停止してください。

編集メニュー画面

お気に入り管理 ボタン
お気に入りフォルダ名の変更や削除などをすることができます。
E-28

現在のアルバム ボタン
アルバム編集画面を表示します。
E-15

現在の曲 ボタン
トラック編集画面を表示します。
E-23

3 編集したいアルバムを選択し、アルバム編集 をタッチする。

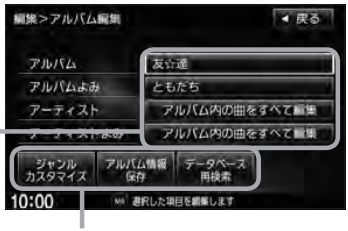
：アルバム編集画面が表示されます。

曲管理画面

※曲管理画面のその他の項目につきましては
トラック表示…E-23
再生選択…E-19
お気に入り登録…E-20
ジャケット写真…E-21
削除…E-22
を参照ください。

アルバム編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルの変更やアルバム情報の保存、データベースの再検索をすることができます。

アルバム編集画面(例)



タイトル名の編集をする場合は
下記参照

お好きなジャンルに変更したりアルバム情報の保存やデータベースの再検索をする場合は
E-17、18参照ください。

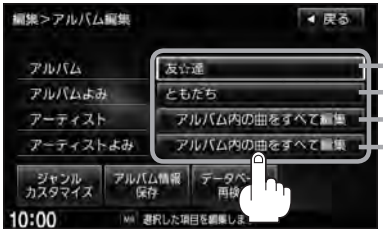
■ タイトルの編集をする場合

※アルバム名／アーティスト名や、アルバム名／アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

アルバム編集画面(例)



アルバム名
アルバム名の読みがな(読みかた)
アーティスト名
アーティスト名の読みがな(読みかた)

アドバイス

- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。
  ※選択しているアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。
- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(E-8)／アーティストリスト画面(E-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- アーティスト名／アーティスト名の読みがなを入力しても編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(E-23)から確認することができます。
  ※再生画面(TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

② 入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

番号順に操作してください。

□ ひらがなとカタカナを入力するとき

例 「わワ」と入力する場合

1 わ をタッチする。
：画面上部に、「わ」があらわれます。

3 ワ を選び、タッチする。
(画面上部に、「ワ」があらわれる。)

1文字分のスペースを空けます。

← → をタッチしてカーソルの位置を変えることができます。

タイトル編集画面

50音パレット

2 カナ をタッチする。
：50音パレットがカタカナに変わります。
※タッチするたびに
カナ → 英数 → かな
と切り替わります。
用途にあわせて切り替えてください。

入力した文字を訂正する場合
① 訂正 をタッチする。
：1文字消去します。
※全ての文字を訂正する場合は、
訂正 を1.5秒以上タッチします。
②正しい文字を入力する。

小文字に変換したい場合
小文字 をタッチする。
：50音パレットが選択可能な文字のみ小文字に変わります。
※タッチするたびに 小文字 ↔ 大文字 と切り替わります。用途にあわせて切り替えてください。

□ 漢字を入力するとき

例 「桜」を入力する場合

1 さ く ら をタッチする。
：画面上部に「さくら」と表示されます。

漢字に変換するひらがなの範囲を変えたい場合に ← → を選択します。

2 変換 をタッチする。
：さくらに該当するリストが表示されます。

3 桜 をタッチする。
：画面上部に「桜」と表示されます。
※リストをタッチする前に 閉じる をタッチすると何も選択しないままリストを閉じます。

※ 無変換 をタッチすると入力したひらがなを漢字に変換せず、確定します。

※ 戻る をタッチすると入力した文字は確定されません。

③ 入力を終えたら 決定 をタッチする。

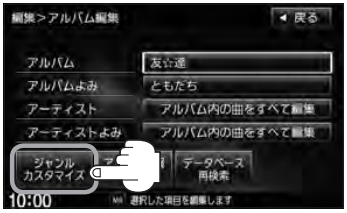
：変更が保存され、アルバム編集画面に戻ります。

■ ジャンルを変更する場合

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。

アルバム編集画面

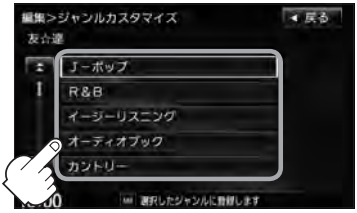


：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② お好きなジャンルボタンをタッチする。

※ジャンルの種類につきましては E-10のアドバイスを参照ください。

ジャンルカスタマイズ画面



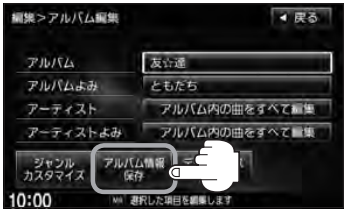
：選択中アルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

■ アルバム情報を保存する場合

※本機に収録されていないタイトル情報を本機のGracenoteデータベースフォルダに保存します。

① **アルバム情報保存** をタッチする。

アルバム編集画面



：アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。

アドバイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

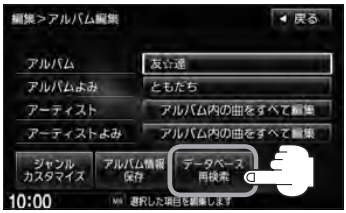
カスタムアップデート(個別更新)

1. Gracenote音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。(B-18①～⑥)
2. データベース再検索を行なって取り込んだタイトル情報を本機で反映する。B-19⑦)

■ データベースから再検索する場合

① **データベース再検索** をタッチする。

アルバム編集画面



※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

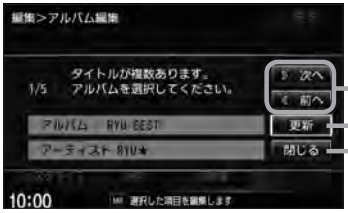
：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。

アドバイス

データベース再検索をしたとき、タイトル情報が複数ある場合はお好きなアルバムを選択することができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。

タイトル複数選択画面(例)



1

次へ ／ **前へ** をタッチして次のアルバムを表示させることができます。

2

上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチします。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

再生選択をする

✔マークのアルバムのみ再生させることができます。

1 E-14の手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

曲管理画面

3 再生させたくないアルバムを選択し、
決定 をタッチする。

再生選択画面(例)

アルバムを一括で選択することができます。
(すべてのアルバムにチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したアルバムを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのアルバムのチェックマーク(✔)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：このアルバムは再生されません。
☑表示：このアルバムは再生されます。

：曲管理画面に戻ります。

アドバイス

- ✔マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ が表示されます。
  ※ 前へ ／ 次へ をタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

アルバムリストの編集(曲管理)

お気に入り登録をする

※アルバムリスト(☞ E-14)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

1 E-14の手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

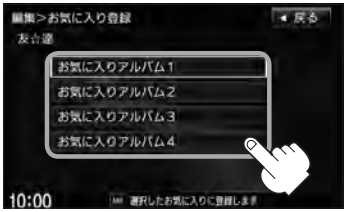
2 お気に入り登録したいアルバムを選択し、**お気に入り登録** をタッチする。

：お気に入り登録画面が表示されます。

3 登録したい場所(お気に入りアルバム 1～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにアルバムが登録され、曲管理画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するにはE-27を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
  ☞「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

ジャケット写真を登録する

※メディアに保存している画像をアルバムのジャケット写真として登録し表示させることができます。

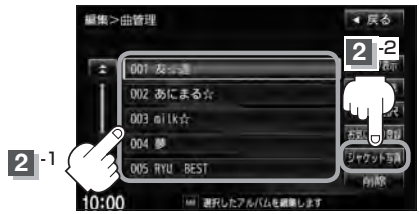
1 E-14の手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 表示させたいアルバムを選択し、
ジャケット写真 をタッチする。

：メディア選択画面が表示されます。

曲管理画面



3 登録したい画像データが入ったメディア
(SDカード ／ USB)を選択し、
ジャケット写真を選択する を
タッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

メディア選択画面

4 登録したい画像データが入ったフォルダを
タッチする。

：画像選択画面が表示されます。
※サムネイル表示されます。

フォルダ選択画面

5 登録したい画像をタッチする。

：ジャケット写真として登録され、メディア選択画面に戻ります。

※選択したアルバムに既に画像が登録されている場合は上書きするかどうかのメッセージが表示されるので はい ／ いいえ を選択してください。

画像選択画面

RMusic

アルバムリストの編集(曲管理)

メディア選択画面

登録された画像

アドバイス

登録された画像は
再生画面で表示されます。

- Music Rackのアルバムへ登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
  ※200×200ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。
  ※16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

削除する

※アルバムを削除することができます。

1 E-14の手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 削除したいアルバムを選択し、
削除 をタッチする。

：選択したアルバムを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。

※削除しない場合は **いいえ** をタッチしてください。

お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名／トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

トラック編集をする

1 E-14の手順 1 、 2 にしたがって操作し、手順 3 のとき編集したいアルバムを選択し、**トラック表示** をタッチする。

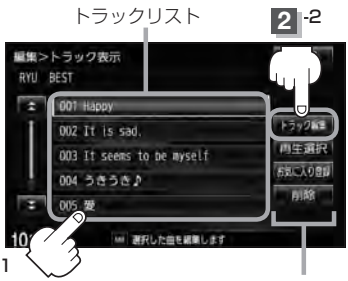
：曲管理のトラック表示画面が表示されます。

曲管理画面

2 編集したいトラックを選択し、**トラック編集** をタッチする。

：トラック編集画面が表示されます。

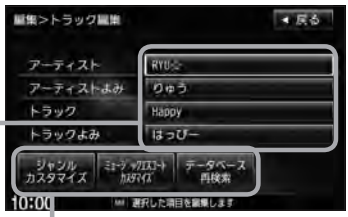
トラック表示画面



※トラック表示画面のその他の項目につきましては
再生選択…E-26
お気に入り登録…E-27
削除…E-27
を参照ください。

トラック編集画面ではタイトル名の編集のほかに、ジャンルやミュージックエスコートの変更、データベースの再検索をすることができます。

トラック編集画面



タイトル名の編集をする場合は
E-24参照

お好きなジャンルやミュージックエスコートに変更したりデータベースの再検索をする場合は
E-24、25参照ください。

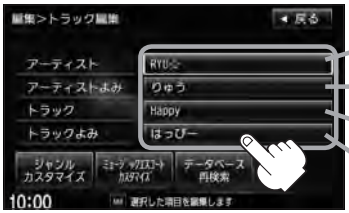
■ タイトルの編集をする場合

※アーティスト名／トラック名や、アーティスト名／トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

：タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アドバイス

- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(☞ E-9)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** をタッチしてください。

② 入力する。

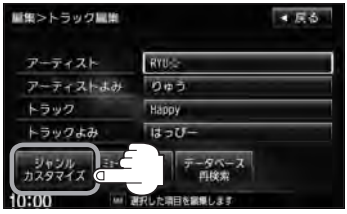
※入力のしかたはE-16を参考にしてください。

■ ジャンルを変更する場合

※本機によってふり分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。

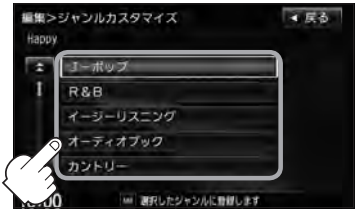
トラック編集画面



：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② お好きなジャンルボタンをタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



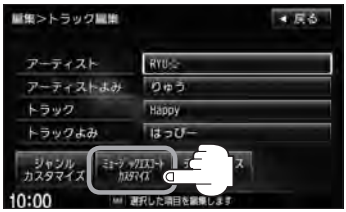
：選択中トラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

■ ミュージックエスコート(分類)を変更する場合

※本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類を変えたい場合に使用します。

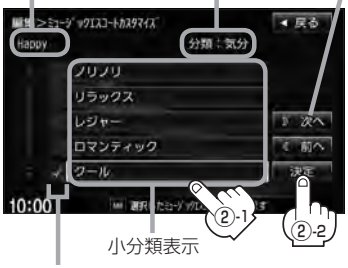
① **ミュージックエスコートカスタマイズ** を**タッチする。**

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。



② **リストより小分類を選択し、決定をタッチする。**

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



選択中のトラック名表示

選択中トラックの大分類を表示

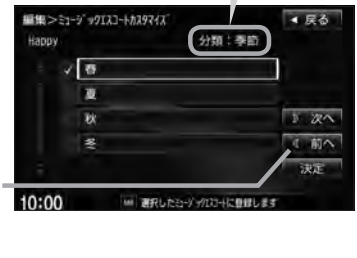
小分類表示

リストをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：設定されていません。
✔表示：設定されています。

次へ をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示

前へ をタッチすると１つ前の大分類の小分類リストを表示

前へ ／ **次へ** タッチで大分類が
気分⟷季節⟷時間帯⟷タイアップ⟷イベント⟷シチュエーション
と切り替わる



：ミュージックエスコート(分類)は変更(登録)され、トラック編集画面に戻ります。

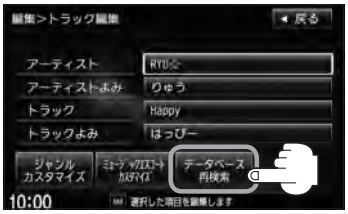
※ミュージックエスコートの大分類／小分類(一覧)につきましては E-12のアドバイスを参照してください。

※ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき１つずつしか属性を設定できません。

■ データベースから再検索する場合

① **データベース再検索** を**タッチする。**

トラック編集画面



※誤ったタイトル(アーティスト名／トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。

トラックリストの編集(曲管理)

再生選択をする

✔マークのトラックのみ再生させることができます。

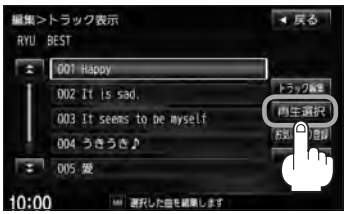
1 E-14の手順 1 、 2 にしたがって操作し、 トラック表示 をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

2 再生選択 をタッチする。

：再生選択画面が表示されます。

トラック表示画面



3 再生させたくないトラックを選択し、
決定 をタッチする。

再生選択画面(例)

トラックを一括で選択することができます。
(すべてのトラックにチェックマーク(✔)が付きます。)

選択したトラックを止める(取り消す)ことができます。
(すべてのトラックのチェックマーク(✔)を消します。)

トラックをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：このトラックは再生されません。
☑表示：このトラックは再生されます。

：曲管理のトラック表示画面に戻ります。

アドバイス

- ✔マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル／ミュージックエスコート／お気に入りのリストには反映されません。
- 本機の選択アルバム内のトラック数が100以上の場合、再生選択画面に 前へ ／ 次へ が表示されます。
  ※ 前へ ／ 次へ をタッチして100トラックごとの再生選択をしてください。

お気に入り登録をする

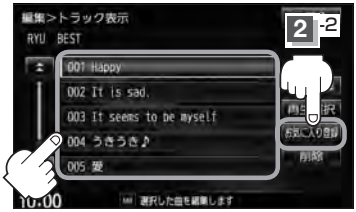
※トラック表示画面より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

1 E-14の手順 1 、 2 にしたがって操作し、 トラック表示 をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

2 お気に入り登録したいトラックを選択し、 お気に入り登録 をタッチする。

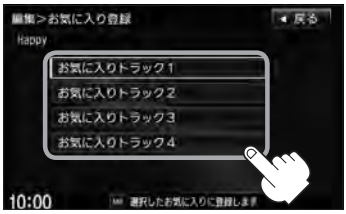
：お気に入り登録画面が表示されます。



3 登録したい場所(お気に入りトラック１～4)をタッチする。

：選択したお気に入りにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アドバイス

- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するにはE-14、E-20を参照してください。
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。「再生中の曲をお気に入り登録する」E-30

削除する

※トラックを削除することができます。

1 E-14の手順 1 、 2 にしたがって操作し、 トラック表示 をタッチする。

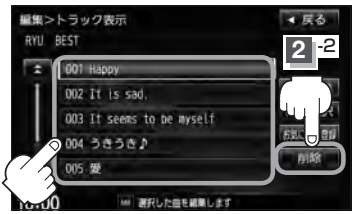
：トラック表示画面が表示されます。

2 削除したいトラックを選択し、 削除 をタッチする。

：選択したトラックを削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチしてください。

※削除しない場合は いいえ をタッチしてください。

トラック表示画面



お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。
※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。

お気に入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内の(アルバム／トラックの)削除をすることができます。

1 編集 をタッチする。

：画面右側に編集メニューが表示されます。

2 編集メニューより お気に入り管理 をタッチする。

編集メニュー画面

曲管理 ボタン
アルバム／トラックの再生選択や編集や削除、お気に入り登録などをすることができます。
E-14

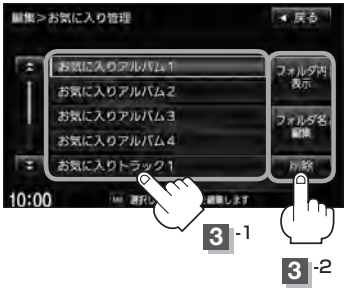
現在のアルバム ボタン
アルバム編集画面を表示します。
E-15

現在の曲 ボタン
トラック編集画面を表示します。
E-23

：お気に入り管理画面が表示されます。

3 編集したいお気に入りフォルダ（お気に入りアルバム1～お気に入りアルバム4 または お気に入りトラック1～お気に入りトラック4）を選択し、操作したい項目（フォルダ内表示／フォルダ名編集／削除）をタッチする。

お気に入り管理画面



アドバイス
お気に入りリストは4つのお気に入りアルバムフォルダと4つのお気に入りトラックフォルダがあり、1フォルダに最大200アルバムおよび200曲の登録が可能です。
E-20、E-27、E-30

■ フォルダ内表示 をタッチした場合

：フォルダ内表示画面が表示されます。

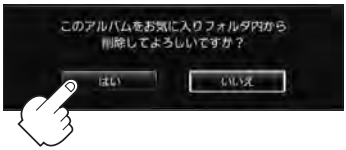
※選択したお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

① 削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選択し、 削除 をタッチする。

フォルダ内表示画面

E-28手順 3 で選択したフォルダ内の情報(内容)を表示

② 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。



：選択したアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 をタッチした場合

：タイトル編集画面が表示されます。

※タイトル(お気に入りアルバム1～4／お気に入りトラック1～4の名前)を変更することができます。

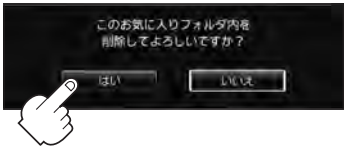
① 50音パレットを使って入力し、 決定 をタッチする。

※入力のしかたはE-16を参考にしてください。

■ 削除 をタッチした場合

※選択したお気に入りフォルダ(アルバム1～4／トラック1～4)内の曲を一括で(1フォルダ(最大200アルバム)ごと)削除することができます。

① 削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチする。



：選択したお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。

お願い

削除中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

登録 をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。

2

お気に入り をタッチする。

※Music Rack再生中はお気に入り登録できません。
メッセージが表示されるので、 **はい** をタッチして再生を停止してください。

登録メニュー画面

ジャンル ボタン
1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用します。
☞ E-32

ミュージックエスコート ボタン
再生中トラックのミュージックエスコートの小分類を変えたいときに使用します。
☞ E-33

：お気に入り登録画面が表示されます。

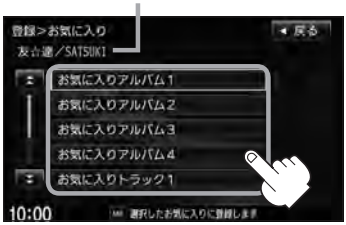
3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合は
お気に入りアルバム1 ～ **お気に入りアルバム4** **の中から、**
再生中トラックを登録したい場合は
お気に入りトラック1 ～ **お気に入りトラック4** **の中から**
登録したい場所をタッチする。

：選択したお気に入りに登録され、手順 **1** の画面に戻ります。

お気に入り登録画面

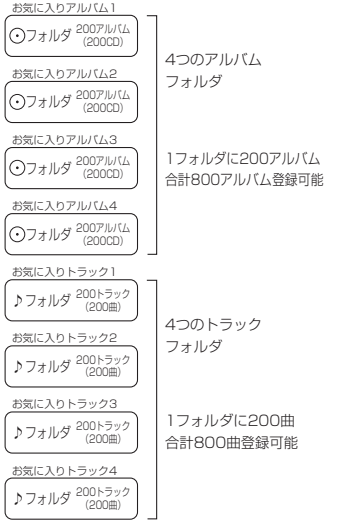
アルバム名／トラック名を表示
(長い場合は途中までの表示となります。)



アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
  ☞「お気に入りを管理する」E-28
- 再生していない曲をリストより選択してお気に入り登録することもできます。
  ・アルバムを登録するときは
  ☞「(お気に入り登録をする)」E-20にしたがって操作する。
  ・トラックを登録するときは
  ☞「(お気に入り登録をする)」E-27にしたがって操作する。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成



再生中の曲のジャンルとミュージックエスコートを設定する

本機によってふり分けられたミュージックエスコートの分類やジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1 登録をタッチする。

：画面右側に登録メニュー画面が表示されます。

2 設定(カスタマイズ)しなおしたい項目(ジャンル／ミュージックエスコート)をタッチする。

※Music Rack再生中は設定できません。
メッセージが表示されるので、はいをタッチして再生を停止してください。

■ ジャンルを変更したい場合

① ジャンルをタッチする。

：ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

登録メニュー画面

② アルバム単位または トラック単位 をタッチする。

選択中アルバムのジャンル変更となります。

選択中トラックのジャンル変更となります。

③ お好きなジャンルをタッチする。

選択中のトラック名またはアルバム名を表示

：ジャンルは変更(登録)されTOP画面に戻ります。

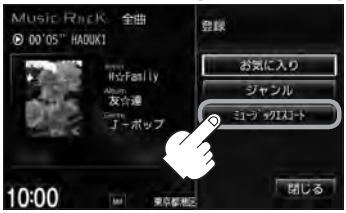
※ジャンルの種類につきましては☞E-10アドバイス内「＊ジャンル一覧」を参照ください。

■ ミュージックエスコートの分類を変更したい場合

① **ミュージックエスコート** をタッチする。

：ミュージックエスコートカスタマイズ画面が表示されます。

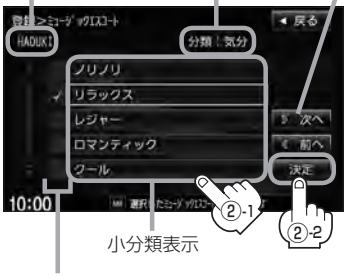
登録メニュー画面



② リストより小分類を選択し、**決定** をタッチする。

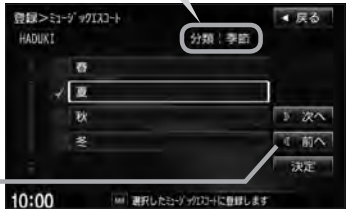
前へ ／ **次へ** タッチで大分類が
気分 ⟷ 季節 ⟷ 時間帯 ⟷ タイアップ ⟷ イベント ⟷ シチュエーション ⟷
と切り替わる

ミュージックエスコートカスタマイズ画面



次へ をタッチすると次の大分類の小分類リストを表示

前へ をタッチすると１つ前の大分類の小分類リストを表示



：ミュージックエスコート（分類）は変更（登録）され、TOP画面に戻ります。

小分類表示

リストをタッチするたびに✔表示の有無が切り替わります。
□表示：設定されていません。
✔表示：設定されています。

分類	
大分類	小分類
気分	ノリノリ／リラックス／レジャー／ロマンティック／クール
季節	春／夏／秋／冬
時間帯	早朝
⋮	⋮

- ミュージックエスコートの大分類／小分類の一覧につきましては E-12アドバイスを参照してください。
- ミュージックエスコートの分類をお客様が変更する場合、各分類につき１つずつしか属性を設定できません。

F

USB機器を使う（USBフラッシュメモリ／ウォークマン®）

本機はUSBフラッシュメモリとウォークマン®を接続し、使用することができます。
本書ではUSBフラッシュメモリとウォークマン®を総称してUSB機器と記載しています。

各部の名称とはたらき……F-2
音楽再生（音楽ファイルモード）の
タッチパネル部について……F-2
音楽再生（音楽ファイルモード）の
表示部（再生画面）について……F-3
画像再生（画像ファイルモード）の
タッチパネル部について……F-4
画像再生（画像ファイルモード）の
表示部について……F-4
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ……F-5
選曲モードより選ぶ……F-9
USB機器について……F-13
ウォークマン®について……F-14
対応可能なウォークマン®……F-15
USB機器を接続する……F-16
USB機器を本機に接続する……F-16
USB機器の接続をやめる……F-16

F-2 各部の名称とはたらき

USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。

・MP3／WMA／AACファイル(USBフラッシュメモリ)……音楽再生 F-2、F-3

・MP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3Plus(ウォークマン®)……音楽再生 F-2、F-3

・JPEGファイル……画像再生 F-4

※動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)の切り替えにつきましてはA-22を参照ください。

●パネル部に配置されているボタンにつきましては A-2を参照ください。

●画像はUSBフラッシュメモリ再生時を記載しています。ウォークマン®再生時も同様の表示(操作)となります。

音楽再生(音楽ファイルモード)のタッチパネル部について

USB(USBフラッシュメモリの音楽ファイル)TOP画面
(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー設定画面を表示します。 A-31

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。 F-6

③ **ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。 F-5

④ **ボタン(フォルダリスト)**
フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。 F-5
※ソニー社製ATRAC AD対応ウォークマン®を接続している場合、 ボタン(フォルダリスト)が ボタン(アルバムリスト)表示に変わります。 F-7

⑤ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。 A-12

⑥ **選曲モード ボタン**
選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。 F-9

⑦ **再生モード ボタン**
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。 A-15

⑧ **モード切替 ボタン**
USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。 A-22

⑨ **Quick ボタン**
カスタマイズメニューを使用することができます。 M-2

音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について

USBフラッシュメモリを接続している場合(詳細表示時(例))

①再生状態表示
▶:通常再生 ▶▶:早送り ◀◀:早戻し

②再生時間表示

③動作モード表示
選択中の動作モードを表示します。☞A-22

④選曲モード
選択中の選曲モードの内容を表示します。
☞F-9

⑤トラック名表示*1

⑥アーティスト名表示/アルバム名表示/ジャンル名表示/フォルダ名表示☆

⑦音場表示
選択中の音場を表示します。☞A-28
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞A-31

⑧リピート/ランダム/スキャン再生時に表示
表示内容につきましては☞A-15を参照ください。

⑨再生ファイル表示
再生中のファイルを表示します。
MP3 / WMA / AAC / OMA☆

⑩ジャケット写真表示
ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。
☞H-11 *印参照

アドバイス
- アーティスト名/トラック名/アルバム名/フォルダ名☆の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名/アルバム名/ジャンル名が記録されていない場合は、"No Title"と表示されます。
  *1印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
  ☆印…ウォークマン®を接続している場合は OMA マークが表示されます。ウォークマン®接続中の再生画面にフォルダ名は表示されません。

画像再生(画像ファイルモード)のタッチパネル部について

USBモード(USBフラッシュメモリの画像ファイル)TOP画面(例)

① **前へ** ／ **次へ** ボタン
好きなファイル(画像)を選びます。A-23

② **切替** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ **切替** をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ **スライドショー** ボタン
一定の間隔で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。A-23

④ **回転** ボタン
表示中の画像を90度ずつ回転します。A-24

⑤ **リスト** ボタン
画像の入っているフォルダを表示します。
A-24

⑥ **モード切替** ボタン
USB機器内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。
A-22

⑦ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。
M-2

画像再生(画像ファイルモード)の表示部について

①動作モード表示
選択中の動作モードを表示します。A-22

②画像名表示

③画像撮影日表示
年、月、日を表示します。

好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

USB フラッシュメモリの場合
音楽ファイル

※ウォークマン®のリスト表示につきましては☞F-8を参照ください。

1 **☰ または 🗀 をタッチする。**

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ **☰ をタッチした場合**

：トラックリストが表示されます。

アドバイス 選曲モード(☞F-9)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

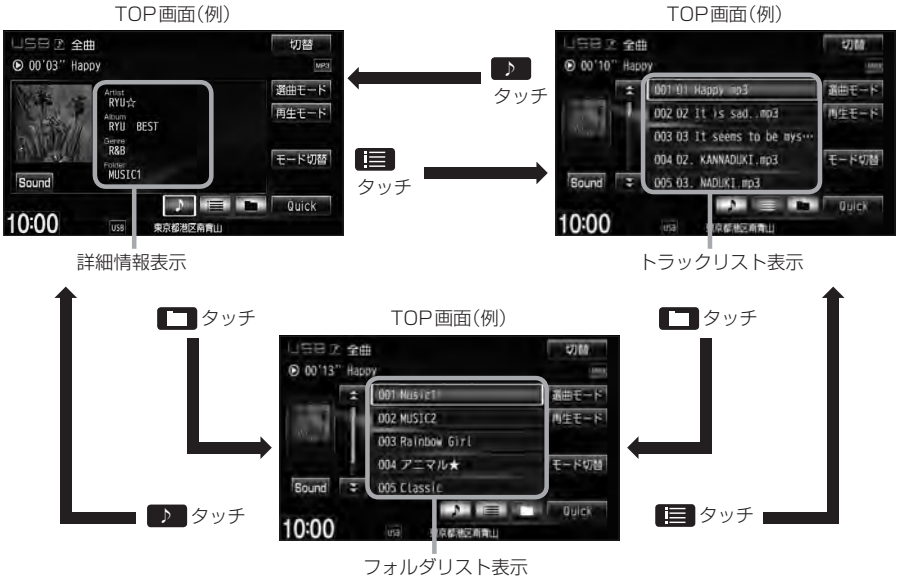
■ **🗀 をタッチした場合**

：フォルダリストが表示されます。

好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

USBフラッシュメモリの場合
音楽ファイル

アドバイス TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ ／ 📁 によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。



2 再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

※フラッシュメモリのリスト表示につきましては☞ F-6を参照ください。

1 **または をタッチする。**

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。

アドバイス 選曲モード(☞ F-9)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリスト)のトラックリスト表示となります。

■ をタッチした場合

：アルバムリストが表示されます。

アドバイス 選曲モード(☞ F-9)で選択したボタンのアルバムリスト表示となります。
※選曲モードでアルバムを選択した場合は全てのアルバムのリスト表示となります。
※選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選択した場合、アルバムリストは表示されません。

好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

アドバイス TOP画面は選択する ♪ / ☰ / ◉ によって詳細表示／トラックリスト表示／アルバムリスト表示となります。

2 再生させたいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

1 **選曲モード** をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

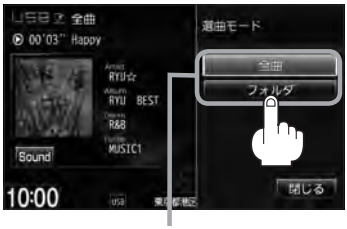
TOP画面(詳細表示時(例))

2 **選曲モードより選曲する方法を選択する。**

※走行中は、 **全曲** ボタン以外は操作できません。

■ USBフラッシュメモリの場合(MP3／WMA／AAC)

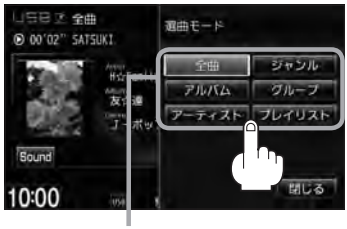
全曲 ／ **フォルダ** より選択する。



選曲モード

■ ウォークマン®の場合(OMA)

全曲 ／ **アルバム** ／ **アーティスト** ／ **ジャンル** ／ **グループ** ／ **プレイリスト** より選択する。



選曲モード

アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

停車中の場合

- USBフラッシュメモリの場合、停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。
- ウォークマン®の場合、停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※USB機器に収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

□ **全曲** をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

□ **フォルダ** をタッチした場合 **（USBフラッシュメモリ再生時）**

：フォルダリストが表示されます。

① 再生させたいフォルダをタッチする。

：選択したフォルダに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

□ **アルバム** をタッチした場合 **（ウォークマン®再生時）**

：アルバムリストが表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が
再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

□ **アーティスト** をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：アーティストリストが表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

アーティストリスト

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

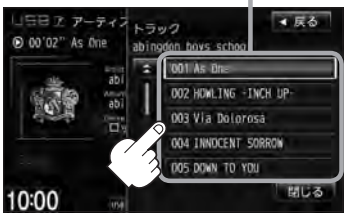
② 再生させたいアルバムをタッチする。

アルバムリスト

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

③ 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。

□ **ジャンル** をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：ジャンルリストが表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

ジャンルリスト

：選択したジャンルのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト

：選択した曲を再生します。

アドバイス ウォークマン®再生時のジャンル(ジャンルリスト)はお客様が入れたものとなります。

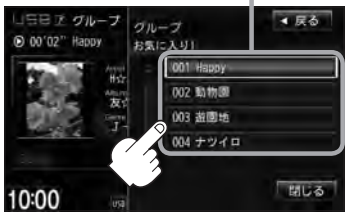
□ **グループ** をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：グループリストが表示されます。

① 再生させたいグループをタッチする。

：選択したグループのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

□ **プレイリスト** をタッチした場合 （ウォークマン®再生時）

：プレイリストが表示されます。

① 再生させたいグループをタッチする。

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

3 設定を終えるには、 **戻る** または **閉じる** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると１つ前の画面に戻り、 **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

USB機器について

USB機器にMP3／WMA／AAC／JPEG形式で作成された音楽／画像データを本機で再生することができます。

- 本機の再生仕様から外れる音楽／画像ファイルは再生できません。
  ☞音楽ファイル…D-7、H-11／画像ファイル…M-3
- MP3／WMA／AAC／ATRAC3／ATRAC3plusは音声圧縮フォーマットです。

  - MP3／WMAの規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては
    ☞「MP3／WMAファイルについて」D-6を参照ください。
  - AACの規格(サンプリング周波数／ビットレート／ファイル名など)につきましては
    ☞「●AACの規格について」H-11／「●音楽ファイルの再生について」「●音楽ファイルのファイル名について」H-12を参照ください。
  - JPEGにつきましては☞「画像ファイル(JPEG)について」M-3を参照ください。

- USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)内のデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“USB機器”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはUSB機器は付属しておりません。
  ※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32GBまでの容量のUSBフラッシュメモリに対応しています。また、256MB以上のUSBフラッシュメモリの使用をおすすめします。
  ※ウォークマン®につきましては☞F-14を参照ください。
- 別売のUSBメモリーデバイスコードにUSB機器を接続してご使用ください。
  ☞「USB機器を接続する」F-16
- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリ、およびATRAC AD対応のウォークマン®に対応しています。
- パーティションが複数あるデバイスには対応していません。
- 電流が500mAを超えるデバイスには対応していません。
- パソコンに接続した際、ドライバを要求されるデバイスには対応していません。
- セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器には対応していません。
- USB機器に記憶されている音楽データを本機で編集することはできません。
- USB機器の音楽再生中にUSB機器(または別売のUSBメモリーデバイスコード)を外さないでください。
  ※USBモードを終了(OFF状態に)させてから外してください。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続には対応していません。
- すべてのUSB機器の動作保証するものではありません。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはUSB機器の保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- USB機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器が接続されているときに、USB機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。

ウォークマン®について

- **本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。**
  ※2011年2月現在に発表されているものに限ります。
  ※Windows Media Video(WMV)には対応していません。
  ※Walkman Phoneには対応していません。
  ※対応可能なウォークマン®につきましては☞「対応可能なウォークマン®」F-15を参照ください。
- ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の取扱説明書を参照ください。
- ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless／WAV(PCM)形式の曲には対応していません。
- 本機の電源ON状態でウォークマン®接続中は、充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- **ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子 “oma” が付いたものだけです。**
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
  ※表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- **ウォークマン®付属のx-アプリ、Sonic Stageから転送した音楽ファイルのみに対応しています。**
- ドラッグ＆ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transferで転送した音楽ファイルには対応していません。
- **ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。**
- **ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。**
- **本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®の対応している階層とは異なります。)**
- **ウォークマン®を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**
- **ウォークマン®が接続されているときに、ウォークマン®の上に乗ったり、物を上に置かないでください。**
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／お出かけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。

※“WALKMAN”“ウォークマン”はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless”は、ソニー株式会社の商標です。
※x-アプリ、Sonic Stage、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
※歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
※moraおよびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。

対応可能なウォークマン®

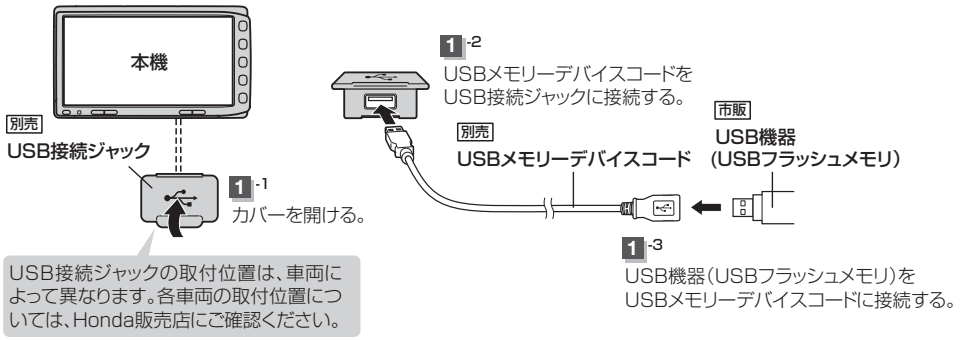
2011年2月現在

モデル名	ミュージック(音楽)	フォト(画像)
NW-E305／E307	○	×
NW-E405／E407	○	×
NW-E505／E507	○	×
NW-E002／E003／E005	○	×
NW-E013／E015／E016	○	×
NW-E023F／E025F／E026F	○	×
NW-E042／E043／E044	○	×
NW-E052／E053	○	×
NW-E052K／E053K	○	×
NW-A605／A607／A608	○	×
NW-A805／A806／A808	○	○
NW-A916／A918／A919	○	○
NW-A828／A829	○	○
NW-A845／A846／A847	○	○
NW-A855／A856／A857	○	○
NW-S203F／S205F	○	×
NW-S603／S605	○	×
NW-S703F／S705F／S706F	○	×
NW-S615F／S616F	○	○
NW-S636F／S638F／S639F	○	○
NW-S715F／S716F／S718F	○	○
NW-S736F／S738F／S739F	○	○
NW-S644／S645	○	○
NW-S744／S745／S746	○	○
NW-S754／S755／S756	○	○
NW-S636FK／S638FK	○	○
NW-S736FK／S738FK	○	○
NW-S644K／S645K	○	○
NW-S744K／S745K	○	○
NW-S754K／S755K	○	○
NW-X1050／X1060	○	○
NW-HD1	×	×
NW-HD2	×	×
NW-HD3	×	×
NW-HD5／HD5H	×	×
NW-A1000／A1200	×	×
NW-A3000	×	×
NW-E103／E105／E107	×	×
NWD-W202	×	×
NWD-W253	×	×

USB機器を接続する

USB機器を本機に接続する

1 別売のUSB接続ジャックと別売のUSBメモリーデバイスコードを使用して
USB機器を接続する。



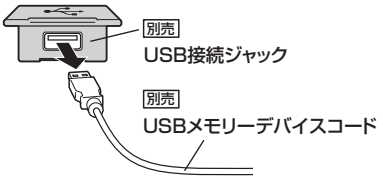
アドバイス
USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外して下さい。☞ G-17
※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB機器の接続をやめる

1 ⏻ を押す。(☞ A-9)

：AV電源をOFFします。

2 USB接続ジャックから
USBメモリーデバイスコードを外す。



3 カバーを閉じる。

※USBメモリーデバイスコードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損する恐れがあります。

アドバイス
- USB機器を外して再度再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器(またはUSBメモリーデバイスコード)を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損する恐れがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

G

iPodを使う

各部の名称とはたらき……G-2
タッチパネル部について……G-2
表示部（再生画面）について……G-3
トラックリストより好きなトラックを選ぶ……G-4
選曲モードより選ぶ……G-5
再生を一時停止する……G-10
映像データを再生させる……G-11
iPodについて……G-15
iPodとは……G-15
使用上のご注意……G-15
対応可能なiPod……G-16
iPodを本機に接続する……G-17

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

iPodモード(ミュージックモード)TOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound ボタン**
イコライザー画面を表示します。
A-31

② **♪ ボタン(詳細情報)**
トラックの詳細情報を表示します。
G-4

③ **ボタン(トラックリスト)**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
G-4

④ **切替 ボタン**
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
A-12

⑤ **選曲モード ボタン**
選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
G-5

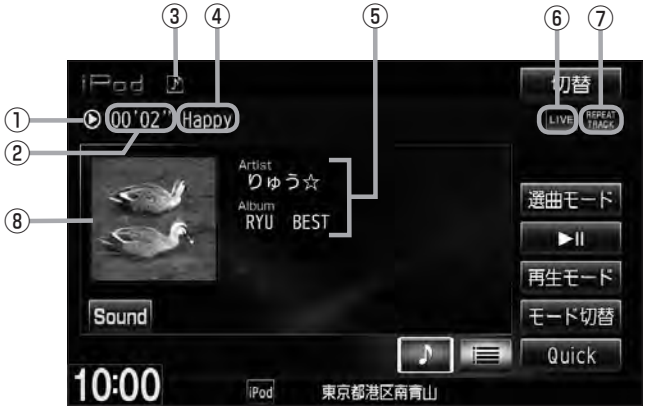
⑥ **▶II ボタン(再生／一時停止)**
再生中にタッチすると音声／映像が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。
G-10

⑦ **再生モード ボタン**
リピート／シャッフル再生の選択をすることができます。
A-15

⑧ **モード切替 ボタン**
iPod内のデータの種類によって、動作モード(ミュージックモード／ビデオモード)を切り替えます。
G-11

⑨ **Quick ボタン**
カスタマイズメニューを使用することができます。
M-2

表示部(再生画面)について



①再生状態表示

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

II：一時停止

②再生時間表示

③動作モード表示

選択中の動作モードを表示します。

G-11

④トラック名表示

⑤アーティスト名表示／アルバム名表示

⑥音場表示

選択中の音場表示します。A-28

※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき

EQ マークが表示されます。

A-31

⑦リピート／シャッフル再生時に表示

表示内容につきましてはA-15を参照ください。

⑧ジャケット写真表示

ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。

アドバイス

- 表示内容はiPod本体で表示されるアーティスト名／トラック名／アルバム名となります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- iPodはiPodモードで再生します。USBモードでは動作しません。

トラックリストより好きなトラックを選ぶ

選曲モード(☞ G-5)で選択したボタン(全曲／アルバム／アーティスト／ポッドキャスト／ジャンル／プレイリスト／作曲者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))

アドバイス

TOP画面は選択する ♪ ／ ☰ によって詳細表示／トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)

詳細表示

☰ タッチ

♪ タッチ

TOP画面(例)

トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

iPodモード TOP画面
(トラックリスト表示時(例))

アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

選曲モードより選ぶ

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1 **選曲モード** をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

iPodモード TOP画面(詳細表示時(例))

2 **選曲モードより選曲する方法(** **全曲** ／ **アルバム** ／ **アーティスト** ／ **ポッドキャスト** ／ **ジャンル** ／ **プレイリスト** ／ **作曲者** **)を選択する。**

※走行中は、 **全曲** ボタン以外は操作できません。

アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は、選曲モードのアルバムリストよりアルバムを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※選曲モードは、iPod本体に収録されている内容となります。
※iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ アルバム をタッチした場合

：アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されている
トラックリスト表示とともに、曲が再
生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラック
リスト表示とともに、曲が再生されます。

トラックリスト画面

■ アーティスト をタッチした場合

：アーティストリスト画面が表示されます。

① 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アルバムリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。──さらに

③ 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面

：選択した曲を再生します。

すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。
手順①で再生させたいアーティストをタッチして手順②で **すべて** をタッチした場合は選択したアーティストの全曲のトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

■ ポッドキャスト をタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

① 再生させたいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャスト画面

：選択したポッドキャストに収録されているリスト表示とともに、ポッドキャストが再生されます。

② 再生させたいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャストリスト画面

：選択したポッドキャストを再生します。

■ ジャンル をタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

① 再生させたいジャンルをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アーティストが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内の全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順④へ

② 再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面

すべて をタッチすると①で選択したジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチすると該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順④へ

③ 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

アルバムリスト画面

すべて をタッチすると②で選択したアーティストのトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。➡手順④へ

④ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

アドバイス ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

■ プレイリスト をタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

① 再生させたいプレイリストをタッチする。

プレイリスト画面

プレイリスト

：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面

トラック

：選択した曲を再生します。

■ 作曲者 をタッチした場合

：作曲者リスト画面が表示されます。

① 再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。

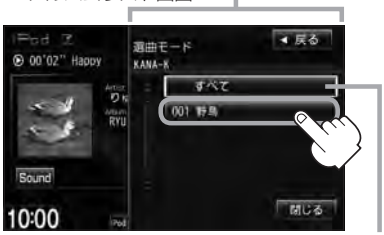
作曲者リスト画面

すべて をタッチするとiPod内の全アルバムが表示されます。さらに すべて をタッチするとiPod内全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。
➡手順③へ

② 再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに、リストの一番上の曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて をタッチすると①で選択した作曲者に該当する全曲のトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。
➡手順③へ

③ 再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

3 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

再生を一時停止する

1 ▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めます。

再生状態を表示します。
▶：通常再生
II：一時停止

■ 再び再生を始める場合

▶II (再生／一時停止)をタッチする。

：再生を止めた続きから再生を始めます。

映像データを再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。

※ビデオデータを再生させるには、別売のVTRコードと別売のiPod接続コードを接続し、USB接続ジャックに接続する必要があります。接続方法につきましては、☞「G-17」を参照してください。

1 モード切替 をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
（詳細表示時(例)）

ミュージックモードを表します。

2 ビデオモード をタッチする。

：iPodビデオモードに切り替わり、映像が表示されます。

モード切替画面

映像(例)

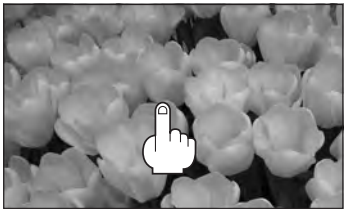
アドバイス

- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 モード切替 をタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。

映像データを再生させる

画面をタッチすると操作ボタンを表示させることができます。



＊印…画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は 切替 をタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。

リスト ボタン…… 動画リストより選択し、再生させることができます。
☞ G-13

▶II ボタン…… 再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

再生モード ボタン…… 再生モード(リピート再生)を選択することができます。
☞ G-13

モード切替 ボタン…… ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。
☞ G-11の手順 1 、 2 およびG-13

Quick ボタン…… カスタマイズメニューを使用することができます。
☞ M-2

■ 動画リストより選択し再生させる場合

① 操作ボタン表示中に **リスト** をタッチする。

② リストより再生させたい動画をタッチする。

：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。

■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

① 操作ボタン表示中に **再生モード** をタッチする。

② **リピート** をタッチする。

：表示灯点灯しリピート機能が働きます。

※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

① 操作ボタン表示中に **モード切替** をタッチする。

② **ミュージックモード** をタッチする。

：TOP画面(音楽再生のみ)に戻ります。

映像データを再生させる

アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(**ビデオモード**をタッチ)にすることにより見たり、聞いたりすることができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度iPodビデオモードにすると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- 車のエンジンスイッチをO(ロック)したりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、再生していた曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- **戻る**をタッチすると1つ前の画面に戻り、**閉じる**をタッチするとTOP画面に戻ります。

iPodについて

Made for iPod iPhone

"Made for iPod" and "Made for iPhone" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are a trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

＊印…インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定がかわってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- iPod touch／iPhoneの本体でアプリケーションを使用していると、本機に接続した際、正しく動作しない場合があります。iPod touch／iPhone本体のアプリケーションを終了させてから本機に接続し、使用してください。
  ※音飛びや誤操作の原因になる場合があります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチのO(ロック)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- iPod本体やiPod接続コードをエアバッグ等の作動を妨げるような場所や運転に支障をきたす場所に設置しないでください。
- 運転中は運転者自身によるiPodの接続や取り外しはやめてください。
- iPodを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- iPodが接続されているときに、iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。

対応可能なiPod

2011年6月現在

対応モデル	対応可否	ソフトウェア
iPod 第3世代	×	−
iPod 第4世代(クリックホイール)	×	−
iPod photo　含　iPod with color display	×	−
iPod 第5世代(with video)	●	1.3
iPod classic(80G/160G)	●	1.1.2
iPod classic(120G)	●	2.0.1
iPod classic(160G)	●	2.0.4
iPod mini(第1世代)	×	−
iPod mini(第2世代)	×	−
iPod nano(第1世代)	○	1.3.1
iPod nano(第2世代)	○	1.1.3
iPod nano(第3世代)	●	1.1.3
iPod nano(第4世代)	●	1.0.4
iPod nano(第5世代)	●	1.0.2
iPod nano(第6世代)	○	1.1
iPod touch(第1世代)(ソフトウェアver1、ver2)	×	−
iPod touch(第1世代)(ソフトウェアver3)	●	3.1.3
iPod touch(第2世代)	●	4.2.1
iPod touch(第3世代)	●	4.3.2
iPod touch(第4世代)	●	4.3.2
iPhone 3G(softbank)	●	4.2.1
iPhone 3GS(softbank)	●	4.3.2
iPhone 4(softbank)	●	4.3.2

●：オーディオ・ビデオ再生可／○：オーディオ再生可(ビデオ再生不可)／×：再生不可

最新の適応情報は下記URL をご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist/

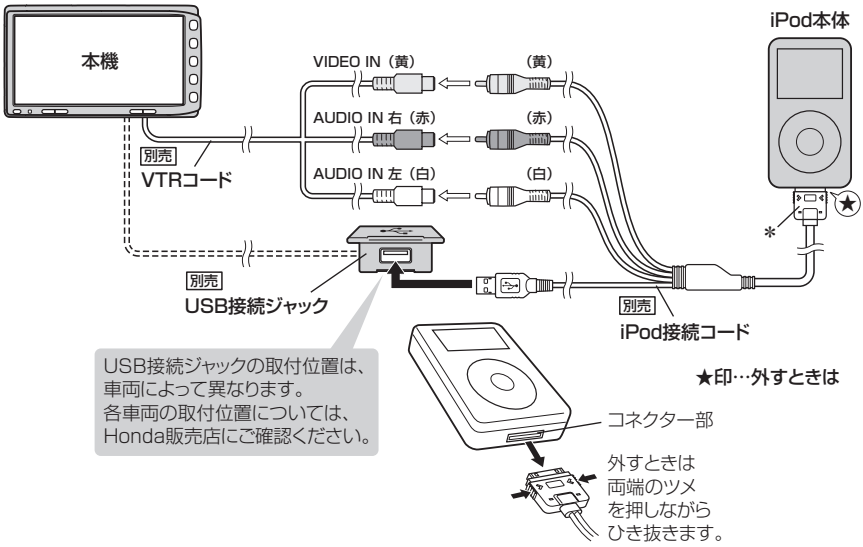
アドバイス

- 表に記載したソフトウェアバージョンは、弊社で確認を行なったバージョンを示しています。
- iPodは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第4世代以前のiPodおよびiPod mini／iPod photoには対応しておりません。
- iPad、iPad2には対応しておりません。
- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- iPod／iPhoneをバージョンアップした際は必ずiPod／iPhoneを一度リセットしてください。
  リセットを行なわないと正しく動作できない場合があります。
- iPodの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

iPodを本機に接続する

1 **別売のUSB接続ジャックに別売のiPod接続コードを接続し、iPod本体と接続する。**

※別売のVTRコードと別売のiPod接続コードを使用すると、映像・音声の再生が可能となります。



アドバイス

- USB接続ジャックにUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合はそちらを外してください。F-16
  ※iPod使用時は、USB機器(USBフラッシュメモリ／ウォークマン®)は使用できません。
- USB接続ジャックからiPod接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損する恐れがあります。
- VTRコードにVTR機器が接続されている場合はそちらを外してください。K-3
  ＊印… コードの先端にはキャップが付いています。接続時以外はキャップをはめてください。
- 未接続の場合、AV SOURCE画面で iPod は選択できません。

iPodを本機に接続すると

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。
  （なにも収録されていない場合は曲を聞くことはできません。）
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は、常にiPodの充電が可能です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチを0(ロック)にすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。（ただし、車のエンジンスイッチを0(ロック)にした場合の動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。）

H

SD(SDカード)

各部の名称とはたらき……H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の
タッチパネル部について……H-2
音楽再生(音楽ファイルモード)の
表示部(再生画面)について……H-3
画像再生(画像ファイルモード)の
タッチパネル部について……H-4
画像再生(画像ファイルモード)の
表示部について……H-4
**リスト表示より好きなトラックまたは
フォルダを選ぶ**……H-5
選曲モードより選ぶ……H-7
SDカードについて……H-9
再生可能なデータについて……H-11
音楽ファイルのデータについて……H-11
画像ファイルのデータについて……H-12

SDカード内のデータによって再生画面(動作モード)が異なります。
・MP3／WMA／AACファイル …… 音楽再生 ☞ H-2
・JPEGファイル …… 画像再生 ☞ H-4
※動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)の切り替えにつきましてはA-22を参照ください。
●パネル部に配置されているボタンにつきましては ☞ A-2 を参照ください。

音楽再生(音楽ファイルモード)のタッチパネル部について

SDモード(音楽ファイル)TOP画面(詳細表示時(例))

① **Sound** ボタン
イコライザー画面を表示します。
☞ A-31

② **♪** ボタン(詳細情報)
トラックの詳細情報を表示します。
☞ H-6

③ ボタン(トラックリスト)
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
☞ H-5

④ ボタン(フォルダリスト)
フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
☞ H-5

⑤ **切替** ボタン
時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
☞ A-12

⑥ **選曲モード** ボタン
選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
☞ H-7

⑦ **再生モード** ボタン
リピート／ランダム／スキャン再生の選択をすることができます。
☞ A-15

⑧ **モード切替** ボタン
SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。☞ A-22

⑨ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。
☞ M-2

音楽再生(音楽ファイルモード)の表示部(再生画面)について

①再生状態表示
▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

②再生時間表示

③動作モード表示
選択中の動作モードを表示します。☞ A-22

④選曲モード
選択中の選曲モードの内容を表示します。
☞ H-7

⑤トラック名表示*

⑥アーティスト名表示／アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示

⑦音場表示
選択中の音場を表示します。☞ A-28
※イコライザー設定中はオーディオ画面のとき
EQ マークが表示されます。
☞ A-31

⑧リピート／ランダム／スキャン再生時に表示
表示内容につきましては☞ A-15を参照ください。

⑨再生ファイル表示
再生中のファイルを表示します。
MP3 ／ WMA ／ AAC

⑩ジャケット写真表示
ジャケット写真が付加されている場合に表示されます。
☞ H-11 *印参照

アドバイス
- アーティスト名／トラック名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
  *印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

画像再生(画像ファイルモード)のタッチパネル部について

SDモード(画像ファイル)TOP画面(例)

① **前へ** ／ **次へ** ボタン
好きなファイル(画像)を選びます。A-23

② **切替** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ **切替** をタッチしなくても約10秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

③ **スライドショー** ボタン
一定の間隔で、選択しているフォルダ内の画像を順次表示します。A-23

④ **回転** ボタン
表示中の画像を90度ずつ回転します。A-24

⑤ **リスト** ボタン
画像の入っているフォルダを表示します。A-24

⑥ **モード切替** ボタン
SDカード内のデータの種類によって、動作モード(音楽ファイル／画像ファイル)を切り替えます。A-22

⑦ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。M-2

画像再生(画像ファイルモード)の表示部について

①動作モード表示
選択中の動作モードを表示します。A-22

②画像名表示

③画像撮影日表示
年、月、日を表示します。

リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選ぶ 音楽ファイル

選曲モード(☞H-7)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1 または をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

詳細表示時(例)

■ をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。

アドバイス 選曲モード(☞H-7)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

アドバイス TOP画面は選択する ♪ / ☰ / 📁 によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダリスト表示となります。

2 再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

：選択したリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時(例))

アドバイス
- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)
- ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ A-13
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

1 **選曲モード** をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細表示時(例))

2 **選曲モードより選曲する方法**
(**全曲** ／ **フォルダ** **)を選択する。**

※走行中は、 **全曲** ボタン以外は操作できません。

選曲モード画面

選曲モード

アドバイス

リストの操作について

走行中の場合

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

停車中の場合

- 停車中は、選曲モードのフォルダリストよりフォルダを選んだ時点でアルバムの最初から再生が始まります。

※SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
※選曲モードを選択する前に **閉じる** をタッチするとTOP画面に戻ります。

SD

■ 全曲 をタッチした場合

：TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ フォルダ をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

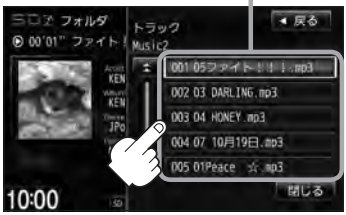
① 再生させたいフォルダを
タッチする。

フォルダリスト

：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに、曲が再生されます。

② 再生させたいトラックを
タッチする。

トラックリスト



：選択した曲を再生します。

3 設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

SDカードについて

※本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しております。

- SDHCロゴは商標です。
- SD、SDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録された“SDカード”は、著作権法の規定による範囲内で使用してください。
- 本機にはSDカードは付属しておりません。
  ※それぞれの規格に準じた市販品をお買い求めください。
- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はCLASS2、CLASS4、CLASS6、CLASS10のSDHCカードに対応しています。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
- 本機はUHS-Ⅰには対応していません。
- 操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機　能		SDカード（2GB以下）	SDHCカード（4GB以上）	miniSDカード（アダプター必要）	microSDカード（アダプター必要）
地点登録* ☞ナビ編 F-41		○	○	○	○
音楽データの再生 ☞ H-2、3、5～8	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
画像データの再生 ☞ H-4、A-23、24	JPEG	○	○	○	○
Gracenoteデータベースアップデート ☞ B-13		○	○	○	○

＊印…指定Webサイトからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

- ノーブランド品や廉価品、バルク品、模造品などのSDカードを使用すると、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。国内メーカーから販売されている正規品のSDカードを使用してください。
- 256MB以上のSDカードの使用を推奨します。容量が少ないSDカードは正しく動作しない場合があります。
- SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。
- フォーマット（初期化）について
  SDカードのフォーマットは本機で行なってください。
  ☞別冊の取扱説明書（ナビゲーション編）「データを初期化（消去）する」G-27
  ※初期化により消失したデータは元に戻せません。十分に確認したうえで行なってください。本機以外の機器で初期化した場合、本機で使用できない場合があります。本機で初期化を行なってから使用してください。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

SDカードについて

- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
  ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
- miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターでご使用の際は正常に動作しない場合があります。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書込中／読み込み中／本機にデータ転送中／音楽・画像再生中にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できません。
  ※音楽・画像再生中の場合はモードを終了(OFF状態)にさせてから抜いてください。
- 静電気や電気的ノイズを受けたり暖房器具の熱が直接あたる恐れのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。
  画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げのHonda販売店にご相談ください。
- SDカード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- 長時間ご使用になったあと、SDカードがあたたかくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードには寿命があります。長期間使用すると書き込みや消去ができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると書き込みまたは初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

再生可能なデータについて

音楽ファイル／画像ファイルデータの再生が可能です。

音楽ファイルのデータについて

- MP3／WMA／AACファイルを再生することができます。
- MP3／WMA／AACは音声圧縮フォーマットです。

> MP3／WMAの規格、サンプリング周波数、ビットレートにつきましては
> ☞「MP3／WMAファイルについて」D-6を参照ください。
> AACにつきましては下記を参照ください。

- AACとは？

  Advanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3／WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

- AACの規格について

サンプリング周波数	16～48kHz
対応ビットレート	8～320kbps
対応プロファイル	Low Complexity
再生可能な拡張子	M4A、m4a(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32文字、半角64文字
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数＋フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	400
表示可能なタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名
AACタグ表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
ジャケット写真	対応*

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

＊印･･･MP3／WMA／AACファイルのジャケット写真について

- パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付加することができます。
  ※Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
- MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できない場合があります。
- 音楽ファイルにつけられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録している場合、正常に表示できない場合があります。

再生可能なデータについて

● **音楽ファイルの再生について**

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
・m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシス／ADIFフォーマットには対応しておりません。
・極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
・2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
・複数のオーディオプログラムが入っているファイルは再生できません。
・同一ファイル内にオーディオ以外の情報が入っているファイルは再生できません。
・選曲モード(☞H-7)のフォルダやトラックリストに表示される順番は☞「**● 階層と再生順序について**」D-10にしたがいます。同じ階層にあるフォルダやファイルはメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてパソコンで期待する順番(名前順など)に並べフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

● **音楽ファイルのファイル名について**

フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

画像ファイルのデータについて

☞「画像ファイル(JPEG)について」M-3

I

DVDを見る

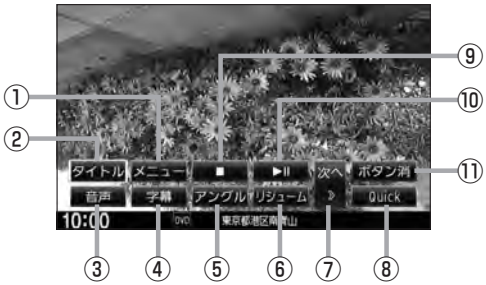
各部の名称とはたらき……I-2
タッチパネル部について……I-2
DVDプレーヤーを使う……I-4
再生を停止する……I-5
再生を一時停止(静止)する……I-6
再生中にチャプターを戻す／進める……I-7
コマ戻し／コマ送りをする……I-8
スロー戻し／スロー送りをする……I-9
DVDメニューを使う……I-10
タイトルメニューを使う……I-12
好きな所から再生する(サーチ選択)……I-14
音声言語／字幕言語を切り替える……I-16
時間の表示を替える……I-17
リピート(繰り返し)再生する……I-18
アングル(角度)を切り替える……I-19
VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる……I-20
DVDの初期設定について……I-22
初期設定を変更する……I-22
DVDビデオについて……I-30
ディスクに表示されているマークについて……I-30
VRモードで作成したディスクについて……I-31
ディスクの構成について……I-31

各部の名称とはたらき

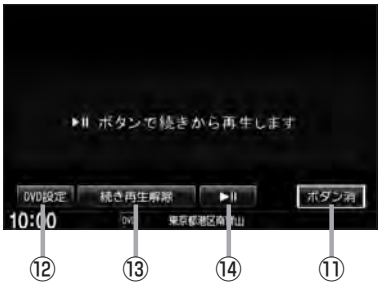
タッチパネル部について

※パネル部に配置されているボタンにつきましては
☞ A-2を参照ください。

操作ボタン1表示画面



停止画面(例)



① **メニュー** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチすると、DVDメニュー画面になります。☞ I-10
※VRモードディスク再生中にタッチすると、プレイリストが表示されます。☞ I-20

② **タイトル** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチすると、タイトルメニュー画面になります。☞ I-12
※VRモードディスク再生中にタッチすると、タイトルリストが表示されます。☞ I-20

③ **音声** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストの中で、音声言語が切り替わります。☞ I-16
※VRモードディスク再生中にタッチすると音声chが切り替わります。

④ **字幕** ボタン
DVDビデオ再生中にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語リストの中で、字幕言語が切り替わります。☞ I-16

⑤ **アングル** ボタン
DVDビデオ再生中に、タッチするごとに、アングルが切り替わります。☞ I-19

⑥ **リジューム** ボタン
DVDビデオ再生中に、メニュー画面を表示させた後、このボタンをタッチすると、メニュー画面を表示させる前のところより再生(リジューム再生)を行ないます。☞ I-11、I-13

⑦ **次へ** ボタン
次ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2表示画面)

⑧ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。☞ M-2

⑨ **■** ボタン(停止)
再生中にタッチすると、再生をやめ、停止画面を表示します。☞ I-5

⑩ **▶II** ボタン(再生／一時停止)
再生中にタッチすると、映像・音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。☞ I-6

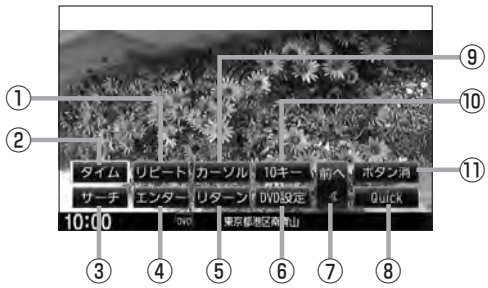
⑪ **ボタン消** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ボタン消をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **DVD設定** ボタン
DVD設定画面を表示します。☞ I-23

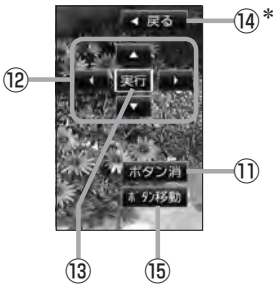
⑬ **続き再生解除** ボタン
続きメモリー機能を解除します。☞ I-5

⑭ **▶II** ボタン(再生)
再生を始めるときに使用します。☞ I-5

操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面*

10キー入力画面*

① **リピート** ボタン
タッチするごとにリピートモードが切り替わります。
☞ I-18

② **タイム** ボタン
再生の時間を表示します。☞ I-17

③ **サーチ** ボタン
チャプター、タイトル、タイムのサーチ選択画面を表示します。☞ I-14

④ **エンター** ボタン
画面で選んだ項目を実行します。

⑤ **リターン** ボタン
DVDメニュー画面操作時に1つ前の画面に戻ります。
※ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

⑥ **DVD設定** ボタン
DVD設定画面を表示します。☞ I-22

⑦ **前へ** ボタン
操作ボタン1の画面を表示します。

⑧ **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。
☞ M-2

⑨ **カーソル** ボタン
カーソルキーを表示させ、画面で項目を選ぶときに使用します。(カーソル表示画面)

⑩ **10キー** ボタン
10キー入力画面を表示させ、数字を入力するときに使用します。

⑪ **ボタン消** ボタン
画面に表示される操作ボタンを消します。
※ボタン消をタッチしなくても約15秒間何も操作しなかった場合、操作ボタンは消えます。

⑫ **▲** / **▼** / **◀** / **▶** ボタン(カーソルキー)
項目を上下左右選択します。

⑬ **実行** ボタン
画面で選んだ項目を実行(決定)します。

⑭ **戻る** ボタン*
操作ボタン2表示画面を表示します。
*印…サーチ選択画面/10キー入力画面にも**戻る**は表示されます。

⑮ **ボタン移動** ボタン
カーソル表示を画面の左側または右側へ移動します。

⑯ **訂正** ボタン
10キーボタンで入力した数字を訂正するときに使用します。

⑰ **0** ～ **9** ボタン(10キー)
数字を入力するときに使用します。

⑱ **切替** ボタン
サーチモードを切り替えます。

DVDプレーヤーを使う

画面にDVDメニューまたはタイトルメニューが表示されたとき

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の２つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチする。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

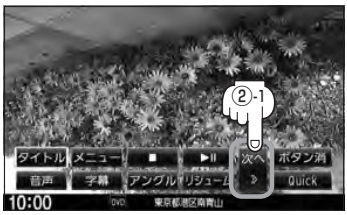
※操作ボタンが表示されている場合は項目を選択できません。 **ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。

■ カーソルを表示させ項目を選択する。

① **MENU** を押す。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面



② **次へ** をタッチし操作ボタン２表示画面を表示させ、 **カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン２表示画面

③ **▲** **▼** **◀** **▶** (カーソルキー)をタッチして項目を選択し、 **実行** をタッチする。

「DVDメニューを使う」I-11の手順 **4** を参考にしてください。

：選択した項目が再生されます。

※操作ボタンの表示を止めるには **ボタン消** をタッチしてください。

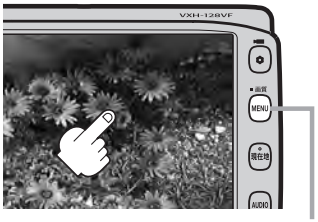
※ディスクによっては操作できない場合があります。

※その他の操作につきましてはそれぞれのページを参照してください。

再生を停止する

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 **■(停止)をタッチする。**

：再生を止め、停止画面が表示されます。
（続きメモリー機能が働きます。）

続きメモリー機能

- 再生中に ■ (停止)をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面に“▶II ボタンで続きから再生します”と表示し、映像／音声を止めます。 ▶II (再生)をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、 続き再生解除 をタッチするかディスクイジェクト(取り出す)操作で解除されます。ただし、同じディスクを再挿入すると続きメモリー機能が働きます。
  ※ DVD設定 をタッチした場合も続きメモリーは解除されます。I-22

3 **再び再生を始めるには、**
▶II (再生)をタッチする。

：続きメモリー機能が働いている場合は、再生を止めた続きから再生します。
続きメモリー機能が働いていない場合は、ディスクの最初から再生します。

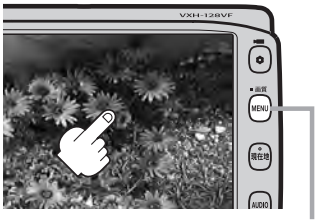
停止画面

アドバイス ディスクの最初から再生したい場合は手順 3 (停止画面)のとき 続き再生解除 をタッチし、 ▶II (再生)をタッチします。

再生を一時停止(静止)する

1 **画面をタッチするか MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 **▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に“ ▮▮ ”を表示し、映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

操作ボタン１表示画面

一時停止アイコン

▶II ボタン(再生／一時停止)

3 **再び再生を始めるには、**
▶II (再生／一時停止)をタッチする。

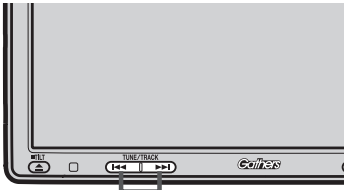
：再生を止めた続きから再生します。

4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには、**
ボタン消 をタッチする。

再生中にチャプターを戻す／進める

1 **⏮ ⏭(スキップ)を押す。**

：前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。



1 ⏮ ⏭ ボタン(スキップ)

■ 前のチャプターに戻る場合

⏮を２回押す。*

※１回押した場合は再生中のチャプターの頭に戻ります。

■ 次のチャプターに進む場合

⏭を押す。

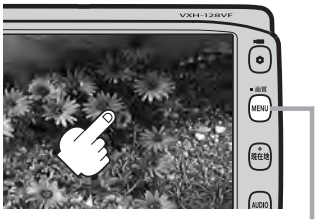
アドバイス

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
  ＊印…チャプター再生開始から３秒以内に押した場合は、前のチャプターの頭に戻ります。
- ボタンを押し続けると早戻し／早送りします。☞ A-14

コマ戻し／コマ送りをする

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 **▶II（再生／一時停止）をタッチする。**

：画面に“ II ”を表示し、映像を停止（静止）します。（音声も止まります。）

3 **⏮ ⏭（スキップ）を押す。**

■ **コマ戻しをする場合**

⏮ を押す。

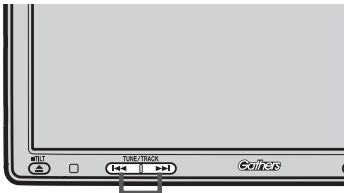
：押すごとに映像を１コマずつ戻します。

■ **コマ送りをする場合**

⏭ を押す。

：押すごとに映像を１コマずつ送ります。

※通常再生をするには ▶II （再生／一時停止）をタッチします。



⏮ ⏭ ボタン（スキップ）

4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチする。**

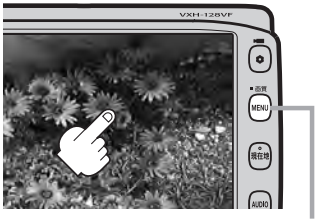
アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

スロー戻し／スロー送りをする

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 **▶II (再生／一時停止)をタッチする。**

：画面に“ II ”を表示し、映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

3 **⏮ ⏭ (スキップ)を押し続ける。**

■ **スロー戻しをする場合**

⏮ ボタンを押し続ける。

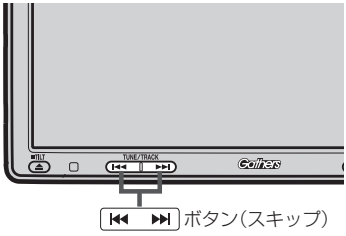
：スロー戻しで戻ります。

■ **スロー送りをする場合**

⏭ ボタンを押し続ける。

：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離したところで通常再生を始めます。



⏮ ⏭ ボタン(スキップ)

4 **画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチする。**

アドバイス

この操作中音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。

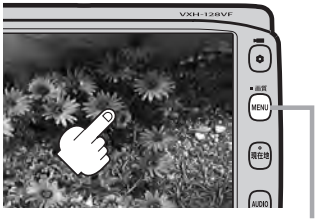
DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。

アドバイス
I-11手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。（その場合は、 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。）
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 画面をタッチするか、 MENU を押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 メニュー をタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

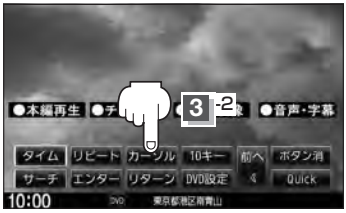
※VRモード（ビデオレコーディングモードディスク）の場合はプレイリストが表示されます。
（☞I-20）

操作ボタン1表示画面

3 次へ をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、 カーソル をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

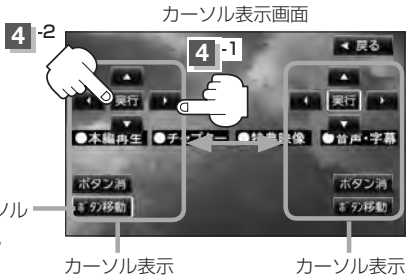


4 ▲▼◀▶(カーソルキー)をタッチして項目を選び、実行をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 4 を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては「DVDメニュー」のことを「メニュー」、「実行」のことを「決定」／「選択」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は 前へ や 戻る をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、MENU を押してください。

② リジューム をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

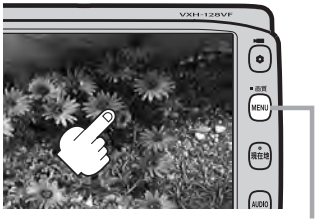
タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューを使って、好きなシーンを選んで再生することができます。
※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

アドバイス
I-13手順 4 のようにカーソルを表示しなくても画面に表示されたメニュー項目をタッチして、ダイレクトに項目を選ぶことができます。（その場合は、 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。）
※ディスクによっては操作できない場合があります。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 **タイトル をタッチする。**

：タイトルメニュー画面が表示されます。

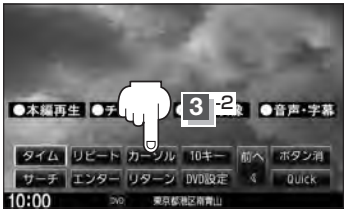
※VRモード（ビデオレコーディングモードディスク）の場合はタイトルリストが表示されます。
（☞ I-20）

操作ボタン１表示画面

3 **次へ をタッチし操作ボタン２表示画面を表示させ、 カーソル をタッチする。**

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン２表示画面

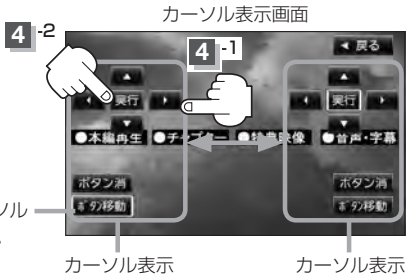


4 ▲▼◀▶(カーソルキー)をタッチして項目を選び、実行をタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順 4 を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消をタッチする。

アドバイス

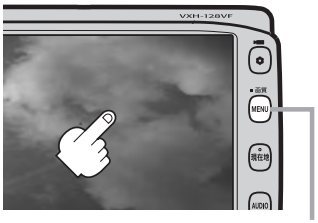
- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選択をしたり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
  ※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」／「タイトル」、「実行」のことを「決定」／「選択」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューの操作を終わる／途中で止める場合(リジューム再生)

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は 前へ や 戻る をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、MENU を押してください。



1 MENU ボタン

② リジューム をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチしてください。

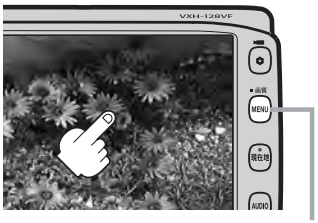
※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。

好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターおよび経過時間を入力すると、そこから再生を始めます。

1 画面をタッチするか、MENUを押す。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



2 次へをタッチする。

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

3 サーチをタッチする。

：サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン２表示画面

4 サーチ選択画面で 0 ～ 9 (10キー)をタッチして、再生したいチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力する。

- タイトル、チャプター、タイム(経過時間)は 切替 をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ ⟶ タイトルサーチ
↑ (サーチ解除) ⟵ タイムサーチ ⟵

サーチ選択画面(例)

モード表示　0 ～ 9 ボタン(10キー)

例 チャプター番号“24”を入力する場合

① 10キーを 2 、 4 とタッチする。

：表示が“24”となります。

例 タイム(経過時間)入力で“15分目”を再生する場合

(例)

① 手順 4 でサーチ選択画面を表示させたとき 切替 をタッチする。

：タイム(経過時間)入力画面になります。

② 10キーを 0 、 0 、 1 、 5 、 0 、 0 とタッチする。

：表示が __:__:__ → 00:15:00 となります。

5 実行 をタッチする。

：入力したチャプター番号／タイトル番号／タイム(経過時間)から再生を始めます。

チャプター番号24を入力した場合(例)

6 画面の操作ボタンの表示をやめるには、 ボタン消 をタッチする。

アドバイス

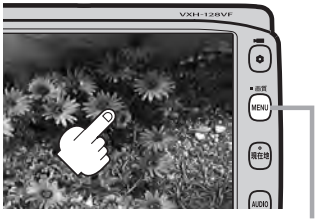
- 約10秒間、何も操作をしなかった場合、モード表示は消えて、この操作を終了してしまいます。その場合は、 切替 をタッチし、もう一度手順 4 (☞I-14)からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、サーチモードが解除されますので、 切替 をタッチし、もう一度手順 4 (☞I-14)からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトル／タイム(経過時間)サーチを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものもあります。この場合は下記にしたがって言語を選ぶことができます。

1 画面をタッチするか、MENUを押す。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENUボタン

2 音声 または 字幕 をタッチする。

：タッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面

音声言語リスト(例)

字幕言語リスト(例)

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニュー(☞I-10)や言語設定(☞I-24)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順1、2)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニュー(☞I-10)または言語設定(☞I-24)で切り替えてください。

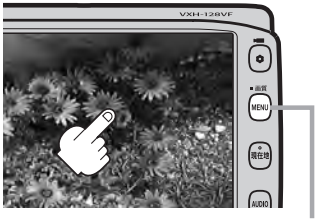
時間の表示を替える

画面に表示する時間の種類を選ぶことができます。

- タイトル／チャプターナンバー表示
- タイトル時間……タイトルの経過時間を表示
- タイトル残り時間……タイトルの残時間を表示
- チャプター時間……チャプターの経過時間を表示
- チャプター残り時間……チャプターの残時間を表示
- DISPLAY OFF……何も表示しない

1 画面をタッチするか、[MENU]を押す。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 [MENU]ボタン

2 次へ をタッチする。

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

3 タイム をタッチする。

：タッチするごとに時間表示が切り替わります。

操作ボタン２表示画面

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消 をタッチする。

■ 時間表示をやめる場合

上記手順 1 ～ 3 にしたがって操作し、“DISPLAY OFF”を選ぶ。

リピート(繰り返し)再生する

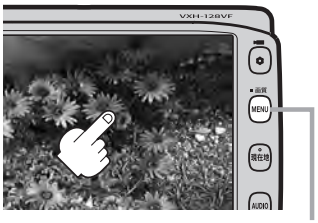
再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- チャプターリピート ……再生中のチャプターを繰り返す
- タイトルリピート ……再生中のタイトルを繰り返す
- リピートOFF ……リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 画面をタッチするか、MENUを押す。

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 MENUボタン

2 次へをタッチする。

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

3 リピートをタッチする。

：タッチするごとにモードが切り替わります。

操作ボタン２表示画面

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、ボタン消をタッチする。

■ 通常の再生に戻す場合

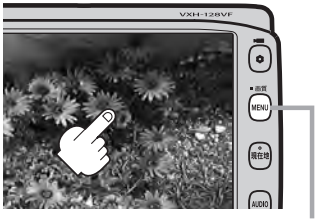
上記手順 1 ～ 3 にしたがって操作し、“リピートOFF”を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあります。
この場合は、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

2 **アングル をタッチする。**

：タッチするごとにアングルが
切り替わります。

操作ボタン1表示画面

3 **画面の操作ボタンの表示をやめるには、**
ボタン消 をタッチする。

アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、“アングル”を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

VRモードディスク内の映像をリストより選択し再生させる

DVD-R/RW、DVR-R DL(DVDビデオレコーディングモード)に登録したタイトル名を各リストより選択し再生させることができます。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

1 MENU ボタン

2 **タイトルリストまたはプレイリストを表示させます。**

■ タイトルリストより選択する場合

タイトル をタッチする。

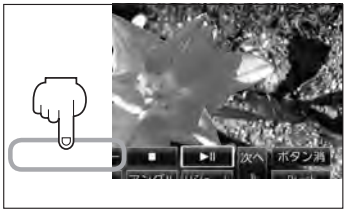
：タイトルリストが表示されます。

■ プレイリストより選択する場合

メニュー をタッチする。

：プレイリストが表示されます。

操作ボタン1表示画面



アドバイス

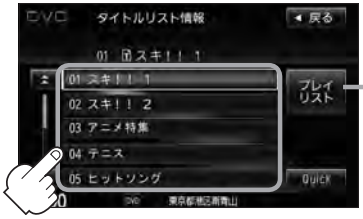
タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。

※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト／プレイリストの詳細につきましてはDVDレコーダーの取扱説明書を参照ください。

3 リストより再生させたいタイトル名をタッチする。

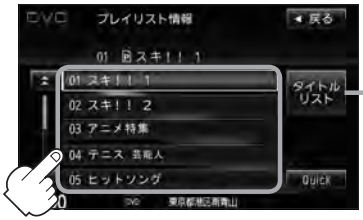
：選択した項目が選択されます。

タイトルリスト表示(例)



タイトルリスト画面のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリスト画面を表示します。

プレイリスト表示(例)



プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示します。

アドバイス

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合)は **戻る** をタッチしてください。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声ch切替をすることができます。

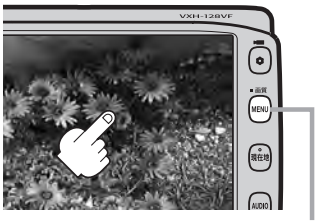
DVDの初期設定について

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 **画面をタッチするか、 MENU を押す。**

：操作ボタン１表示画面が表示されます。



1 MENU ボタン

---

2 **次へ をタッチする。**

：操作ボタン２表示画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面

---

3 **DVD設定 をタッチする。**

：DVD設定画面が表示されます。

操作ボタン２表示画面

アドバイス

■ (停止)をタッチして再生停止中に DVD設定 をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン１表示画面

停止画面

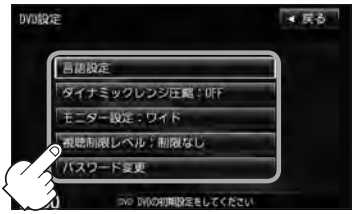
DVD設定 ボタン

※ DVD設定 を選択した場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

4 画面の設定したい項目(言語設定 / ダイナミックレンジ圧縮 / モニター設定 / 視聴制限レベル / パスワード変更)をタッチする。

：選択した項目の設定画面が表示されます。

DVD設定画面



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え	I-24
ダイナミックレンジ圧縮	●DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ)	I-27
モニター設定	●TVアスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え	I-27
視聴制限レベル	● レベル ：視聴制限レベルの設定	I-28
パスワード変更	● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更	I-29

アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニュー(I-10)で切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中で止めるときは 戻る をタッチしてください。
  ※停止画面のとき再び再生させる場合は ▶II (再生)をタッチしてください。(ディスクの先頭から再生します。)

■ 手順 4 (☞ I-23)で“言語設定”を選んだ場合

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。

“音声言語”……DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替えることができます。
“字幕言語”……DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語の切り替えができます。
“メニュー言語”…DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替えることができます。

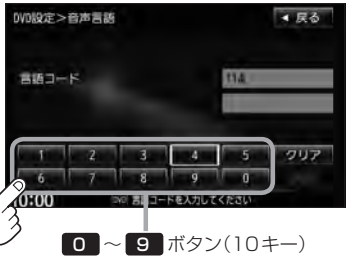
設定されている言語を表示
(ここをタッチすると言語コード入力画面(下記)を表示)
ただし、言語が オリジナル または OFF に設定されている場合は 言語を選択 と表示されます。

□ 言語を変更するには

：選択した言語の言語コード入力画面が表示されます。

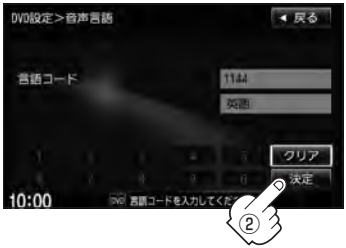
① 言語コード表(☞ I-26)を参照し、言語コードの数字を 0 ～ 9 (10キー)をタッチして入力する。

言語コード入力画面



0 ～ 9 ボタン(10キー)

② 入力が終わったら 決定 をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す場合

言語設定画面で 初期値 をタッチする。

：変更した言語設定が初期値に戻ります。

アドバイス

- DVD設定をすると続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力すると“入力された言語コードが間違っています”と表示されます。再度正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を訂正するときは クリア をタッチして数字を再入力してください。
- 工場出荷時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- オリジナル を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を OFF にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、 戻る をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

言語コード表

コード		言　語	コード		言　語	コード		言　語
1027	AA	アファル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RW	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スンダ語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	（アファン）オロモ語	1587	VO	ボラピュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ＝ロマン語			

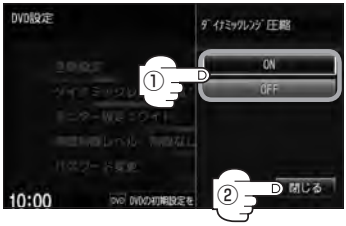
■ 手順 4 (☞ I-23)で “ダイナミックレンジ圧縮” を選んだ場合

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

① ダイナミックレンジの圧縮をする／しない（ ON ／ OFF)の設定をする。

：ONをタッチすると圧縮し、OFFをタッチすると圧縮しません。
ONは小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに、OFFは標準音域で聞くときに選んでください。



② 閉じる をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

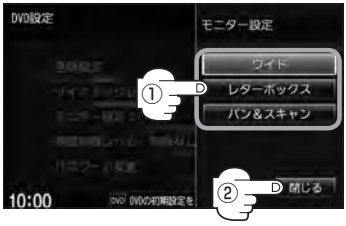
■ 手順 4 (☞ I-23)で “モニター設定” を選んだ場合

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

5

① 設定したいアスペクト比(ワイド ／ レターボックス ／ パン&スキャン)をタッチする。

※16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャンとなります。



② 閉じる をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

アドバイス

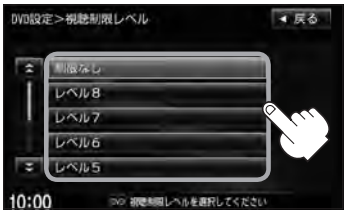
- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、“フル” またはこれに相当するモードにして、本機を“レターボックス”または“パン&スキャン”に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、“レターボックス” や “パン&スキャン” の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば、“Normal mode” 等。)に設定してください。

⚠注意 お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行なうと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

■ 手順 4 (☞ I-23)で“視聴制限レベル”を選んだ場合

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

5 **下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。**



視聴制限レベル
- “制限なし”視聴制限を無効
- “8” – すべてのDVDビデオの再生可
- “7”〜“2” 子供向／一般向のみ再生可
- “1” – 子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)

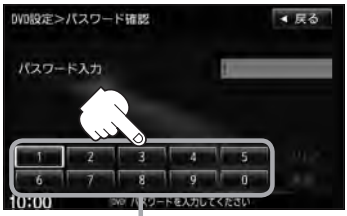
下にいくほど制限が厳しくなります。

※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“ 制限なし ”を選択してください。

□ レベルを変更すると

レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

① 現在のパスワードを 0 〜 9 (10キー)をタッチして入力する。



0 〜 9 ボタン(10キー)

② 入力が終わったら 決定 をタッチする。

アドバイス

- 間違ったパスワードを入力すると“入力されたパスワードが間違っています”と表示されます。再度正しいパスワードを入力し直してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
  ※工場出荷時の(現在の)パスワードは“0000”となっています。
  (現在のパスワードは変更することができます。(☞ I-29参照))
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- 工場出荷時の(現在の)視聴制限レベルは“制限なし”となっています。

■ 手順 4 (☞ I-23)で “パスワード変更” を選んだ場合

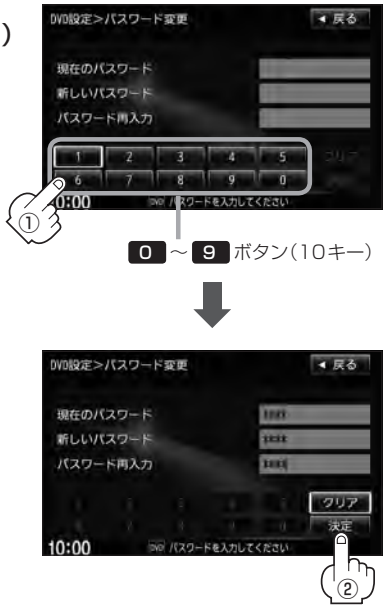
5

① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を 0 ～ 9 (10キー) をタッチして入力する。

② 決定 をタッチする。

：DVD設定画面に戻ります。

パスワード変更画面



アドバイス

- 入力した数字を訂正するときは クリア をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
  変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、 戻る をタッチしてください。
- **パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに “0000” を入力してください。**
- 工場出荷時のパスワードは “0000” に設定されています。

DVDビデオについて

本機のリージョン番号(地域番号)は「2」です。

〔例〕

DVDには世界中を6つの地域に区分したリージョン番号という地域番号があり、DVDソフトの番号とDVDプレーヤーの番号が一致しないと再生できない仕組みになっています。本機では、リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオディスクは、再生できません。

アドバイス

- リージョン番号が「ALL」のディスクは、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できます。
- リージョン番号が表示されていないディスクについては、表示はしていないがリージョン番号がついており、同じリージョン番号のDVDプレーヤーのみで再生できる場合と、地域制限されておらず、全てのリージョン番号のDVDプレーヤーで再生できる場合があります。
- リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」でも、NTSC以外のカラーテレビ方式で収録されている場合は、本機では再生できません。

本機は、DVDビデオの再生において、下記の3つの技術を使用しています。

- マクロビジョン
  本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- ドルビーデジタル
  本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- dts

dts
2.0 Channel

Manufactured under license under U.S. Patent #' s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks, & DTS 2.0 Channel and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。(例)

マーク(例)	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比(TV画面の横と縦の比率)を表します。 ●「16 : 9」はワイド画面、「4 : 3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示することができます。

VRモードで作成したディスクについて

本機ではDVD-R/RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生することができます。また、デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。(下記表参照)

※ファイナライズ処理が必要な場合があります。(書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。)未ファイナライズ処理のDVD-R／DVD-R DLのVRモードには対応していません。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

DVD再生ディスク対応一覧表

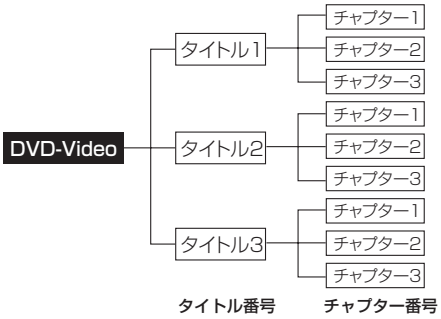
メディアの種類(記録方式) ／ 録画映像の種類	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード) DVD+R(Videoモード) DVD+RW(Videoモード) DVD-R DL(Videoモード) DVD+R DL(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	−	−	○	−	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

−：記録できないディスク

×：再生できないディスク

＊印…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

ディスクの構成について



DVDに収録されている映像や曲は、通常いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号(タイトル番号)が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号(チャプター番号)が付けられています。

J

Digital TV(12セグ／ワンセグ)を見る

各部の名称とはたらき …… J-2
バナー表示について……J-2
タッチパネル部について……J-4
DTVメニューについて……J-8
Digital TV〔12セグ／ワンセグ〕を見る …… J-9
Digital TVモードにすると……J-9
番組表を見る……J-10
視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする…… J-12
中継局を探す……J-13
スキャンする …… J-14
初期スキャン／再スキャンをする……J-14
選局する …… J-16
手動選局で放送局を選ぶ……J-16
自動選局で放送局を選ぶ……J-16
プリセットで放送局を選ぶ……J-17
リストで放送局を選ぶ……J-18
プリセットボタンにメモリーする…… J-20
エリア呼出／プリセット呼出について……J-21
チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする …… J-22
設定をする …… J-24
映像を切り替える……J-24
音声を切り替える……J-25
郵便番号設定……J-26
自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする……J-27
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする……J-28
サービスの設定をする……J-29
チャンネル設定……J-30
時計表示設定……J-32
文字スーパーを切り替える……J-34
字幕表示を切り替える……J-36
受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する……J-38
miniB-CASカードのテストをする …… J-40
放送局からの情報を見る …… J-41
設定を初期化する …… J-42
データ放送を利用する …… J-43
リレーサービスの番組を見る …… J-46
臨時サービスの番組を見る …… J-47
緊急放送を見る …… J-48
受信中に緊急放送が始まると……J-48
エラーコードについて …… J-49
テレビについて …… J-50
地上デジタルテレビ放送について……J-50
地上デジタルテレビ放送の番組受信について……J-50
地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について……J-51
miniB-CASカードについて …… J-52
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について …… J-53

各部の名称とはたらき

バナー表示について

地上デジタルテレビ放送を選局したときや受信中に画面をタッチしたときなどに、画面に下のような表示が現われます。これをバナー表示と呼びます。バナー表示には、番組に関するさまざまな情報が盛り込まれています。

バナー表示(例)

①放送の種類

HD ハイビジョン放送
SD 標準放送(SDTV)
※本機は HD を表示しても映像は標準画質で映されます。(HD / SD は放送の種類を示すもので画質を示すものではありません。)

②放送局名

放送局の名称を最大10文字まで表示します。

③チャンネル番号(チャンネル表示)

設定によりチャンネル表示を変更することができます。J-30

④音声の種類

番組の音声を表示します。

(例) ステレオ / モノラル、マルチCH ステレオ *
JPN 主、ENG 副、JPN+ENG

※音声(と映像)が複数ある場合選択することができます。
「(音声を切り替える)」J-25
*印…本機は5.1chサラウンドには対応していません。

⑤番組名および記号

番組の名称を最大20文字まで表示します。
また、下記記号が番組名の前/後に表示されることがあります。
(例)
デ 番組連動データ放送
二 2カ国語放送
字 字幕放送
B 圧縮Bモードステレオ音声
SS サラウンドステレオ音声
多 音声多重放送
再 再放送
S ステレオ放送
解 音声解説
映 劇映画
吹 吹き替え
W ワイド放送
MV マルチビューテレビ放送 …など
※記号は放送局側で付けられています。
※上記以外の記号もあります。

⑥日付

放送番組の日付を表示します。

⑦放送時刻

番組の放送時刻を表示します。

⑧プリセット表示

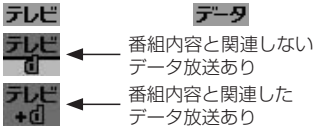
プリセットリストを選択している場合に表示されます。
J-19

⑨エリア番号／プリセット番号

そのチャンネルがエリア登録またはプリセット登録されていることを表し、表示される数字はエリア番号またはプリセット番号を表します。

⑩番組の種類など〔データ放送は12セグのみ〕

テレビ放送　　独立型データ放送



「データ放送を利用する」J-43

⑪字幕

番組に字幕サービスがあるときに 字 が明るく表示されます。

「字幕表示を切り替える」J-36

⑫信号選択

複数の映像や音声が送られているときに が明るく表示されます。

「映像を切り替える」J-24
「音声を切り替える」J-25

⑬チャンネルのロゴマーク

アドバイス

- 表示の内容は放送局や番組によって異なる場合があります。
- これらの表示は番組の内容によってそれぞれが表示されます。一度には表示されません。

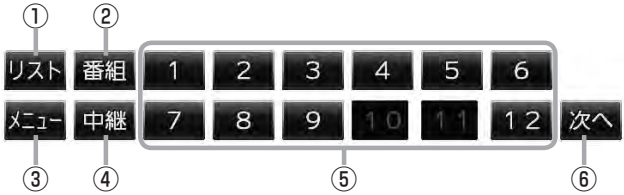
タッチパネル部について

テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチすると操作ボタン(タッチパネルボタン)が約10秒表示されます。

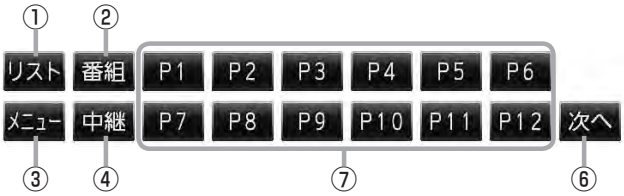
アドバイス 操作ボタン1は、チャンネルリストまたはプリセットリストのどちらを設定しているかによって表示内容(機能)が異なります。
J-19

操作ボタン1

チャンネルリスト 設定中の場合



プリセットリスト 設定中の場合



① **リスト** ボタン
チャンネルリストまたはプリセットリスト画面を表示します。
J-18

② **番組** ボタン
番組表を表示します。
J-10

③ **メニュー** ボタン
DTVメニュー画面を表示します。
J-8

④ **中継** ボタン
中継局(系列局)をサーチします。
J-9

⑤ **1** ～ **12** ボタン(エリア)
あらかじめメモリーされている放送局を呼び出すことができます。
J-17

⑥ **次へ** ボタン
次ページの操作ボタンを表示します。
(操作ボタン2を表示)J-5

⑦ **P1** ～ **P12** ボタン(プリセット)
プリセットリスト画面でメモリーした物理チャンネル(13～62ch)を表示します。
※呼び出しは、メモリーしたボタンを軽くタッチします。
J-17

操作ボタン2

① **受信モード ボタン**
タッチするごとにセグメントを切り替えます。
放送自動切替 → 12セグ → ワンセグ

② **色ボタン ボタン**
色ボタンを表示します。J-6
データ放送など画面上で指示が出たときに使用します。

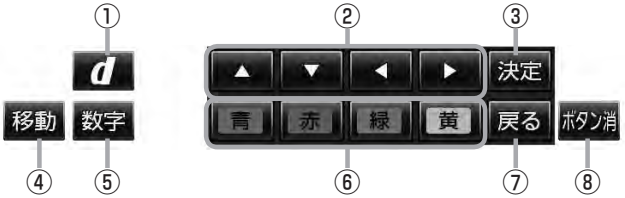
③ **映像切替 ボタン**
映像を切り替えます。
J-24

④ **音声切替 ボタン**
音声を切り替えます。
J-25

⑤ **d ボタン**
データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
J-43

⑥ **前へ ボタン**
前ページの操作ボタンを表示します。J-4
（操作ボタン1を表示）

色ボタン



① **d ボタン**
データ放送画面を表示したり消すときに使用します。
☞ J-43

② **▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタン(カーソルキー)**
データ放送画面操作時に項目を選ぶときに使用します。

③ **決定 ボタン**
データ放送画面で選んだ項目を決定(実行)します。

④ **移動 ボタン**
操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

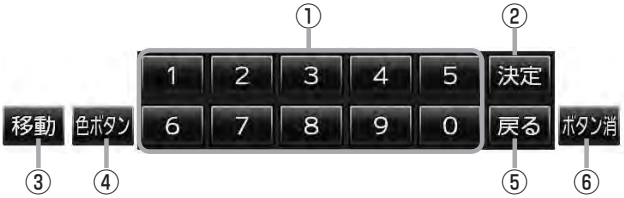
⑤ **数字 ボタン**
数字ボタンを表示します。
データ放送時に数字を入力するときに使用します。

⑥ **青 / 赤 / 緑 / 黄 ボタン(カラーキー)**
データ放送画面操作時に項目を選ぶときに使用します。
☞ J-44

⑦ **戻る ボタン**
データ放送画面操作時に
1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑧ **ボタン消 ボタン**
操作ボタンを消します。

数字ボタン



① **0** ～ **9** ボタン(10キー)
データ放送利用中に数字を入力するときに使用します。

② **決定** ボタン
データ放送画面で選んだ項目を決定(実行)します。

③ **移動** ボタン
操作ボタンの表示を画面の上側または下側へ移動します。

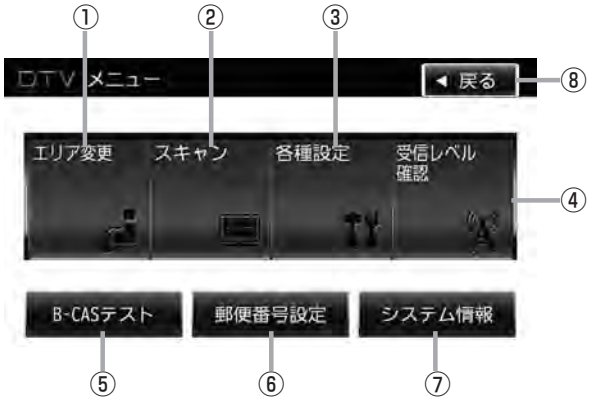
④ **色ボタン** ボタン
色ボタンを表示します。
データ放送画面上で指示が出たときに使用します。

⑤ **戻る** ボタン
データ放送画面操作時に1つ前のデータ放送画面に戻ります。

⑥ **ボタン消** ボタン
操作ボタンを消します。

DTVメニューについて

画面をタッチして操作ボタン1を表示させているとき、**メニュー**をタッチするとDTVメニュー画面を表示させることができます。地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこのDTVメニューを使って行ないます。



① **エリア変更** ボタン
視聴エリアを変更します。
J-12

② **スキャン** ボタン
初期スキャン／再スキャンをすることができます。
J-14

③ **各種設定** ボタン
Digital TVのいろいろな設定をすることができます。
- 放送自動切換J-27
- 中継・系列局サーチJ-28
- サービス設定J-29
- チャンネル設定J-30
- 時計表示J-32
- 文字スーパー表示J-34
- 字幕表示J-36

④ **受信レベル確認** ボタン
受信レベルの確認をすることができます。
J-38

⑤ **B-CASテスト** ボタン
miniB-CASカードのテストをすることができます。
J-40

⑥ **郵便番号設定** ボタン
郵便番号の設定をすることができます。
J-26

⑦ **システム情報** ボタン
受信情報の確認J-41や
メモリの初期化J-42をすることができます。

⑧ **戻る** ボタン
受信画面に戻ります。

Digital TVモードにすると

GPSから得たお車の位置に自動で視聴エリアの変更を行ない、「中継局サーチ機能」により放送が受信できるまでサーチ（探索）を行ないます。
視聴中、本機内部では常に中継局／系列局をサーチしています。電波状態の良い放送局がある場合のみ視聴画面として切り替わります。

※「中継局サーチ機能」が自動で働くのは中継・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合となります。
「中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする」J-28
※サーチした放送局が、系列局によっては視聴中の番組と異なる場合があります。
※受信できない場合や、視聴エリアを手動で変更する場合は、視聴エリアの変更を行なって地方と県域を設定してください。
「視聴エリアの変更（地方／県域の設定）をする」J-12

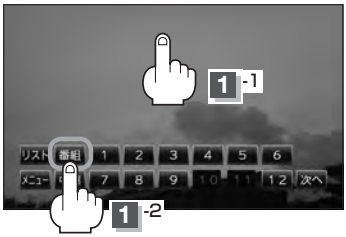
番組表を見る

受信中のチャンネルの電子番組表(EPG)を表示し、現在放送中の番組や今後放送される番組を確認したり、番組の詳細情報を見ることができます。

1 **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、番組 をタッチする。**

：番組表が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)



番組表 一覧表示時(例)

日付曜日

チャンネル番号
放送局名表示

時間帯表示

選択中の番組のチャンネルや放送局名・日付曜日などを表示

番組表表示

＊

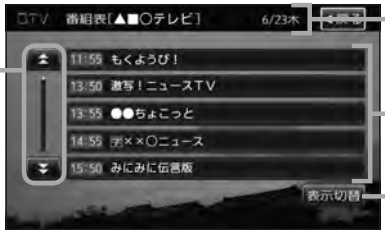
▲／▼／◀／▶(カーソルキー)を使って番組表をスクロールさせることができます。

当日以降の番組を表示している場合、 前日 タッチで前日の番組表を表示します。 翌日 をタッチすると、翌日の番組表を表示します。**(7日目まで)**

※12セグの場合のみ

＊印・・・ 表示切替 をタッチすると番組表を一覧表示(上記)／リスト表示(下記)と切り替えることができます。

番組表 リスト表示時(例)



放送局名／日付曜日表示

放送時間と番組名を表示

＊

▲／▼を使ってリストをスクロールさせることができます。

■ 番組の詳細情報を見る場合　さらに番組の詳細情報を見ることができます。

□ 一覧表示のとき

① ▲／▼／◀／▶(カーソルキー)で見たい番組を選択し、詳細 をタッチする。

番組表　一覧表示時(例)

：視聴中または、すでに番組情報を取得済の放送局を選択した場合は、番組内容画面が表示されます。

※番組情報未取得の場合は 詳細 をタッチして情報を取得してください。

□ リスト表示のとき

① リストより見たい番組をタッチする。

番組表　リスト表示時(例)

他の時間帯の詳細情報を見たい場合は ▲▲／▼▼ をタッチして、リストをスクロールさせてください。

：番組内容画面が表示されます。

番組内容画面(例)

タッチすると番組表へ戻ります。

内容
番組名……番組のなまえ
番組記述……番組の内容や出演者など
番組内容……番組の内容(あらすじ)などを番組記述より詳しく表示
出演者……出演者名
ジャンル……番組のジャンル
信号……525i、ステレオなどの情報
その他……中止や延長、シリーズ番組の情報など
※上記の内容は情報がある項目のみ表示されます。

続きがある場合、▲／▼ タッチでスクロールさせることができます。

2 番組表を見たら、戻る をタッチする。

：現在視聴中の受信画面に戻ります。

アドバイス

- データ取得のため、番組表の内容を表示するまでに時間がかかる場合があります。またデータ取得中は背景の映像が消える場合があります。
- 番組表を表示中に番組表の更新があった場合は、すぐに表示が更新されます。
- 放送時間が未定の番組があるチャンネルなどは正しく表示できない場合があります。
- ワンセグの場合、表示できる時間帯が12セグより短くなります。
- 表示される番組表は最終選択時の状態を保持するため、番組 をタッチしたときに一覧表示されるかリスト表示されるかは状態によって異なります。

J-12 視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする

アドバイス お車の走行地域が変わっても、本機は自動で視聴エリアの変更を行います。GPSで現在位置が受信できない場合や、手動で地域と県域を設定する場合は下記にしたがって操作してください。
現在地によって受信できる放送局(1 ～ 12 (エリア)に割り当てられる放送局)が異なります。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

2 エリア変更 をタッチする。

：視聴エリア変更画面が表示されます。

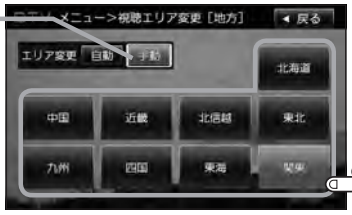
DTVメニュー画面

3 手動 をタッチし、現在地の地方と県域をタッチする。

3-1

初期状態は“自動”に設定されています。エリアを手動で変更する場合に“手動”を選択してください。

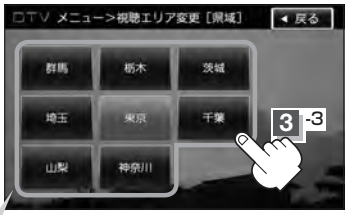
視聴エリア変更画面(地方選択時)



3-2

※すでに“手動”に設定されている場合は 3-1 の手順は省略することができます。

視聴エリア変更画面(県域選択時)



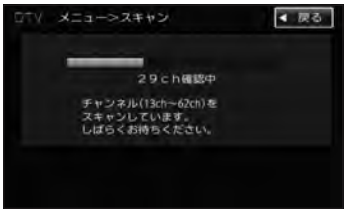
：現在地を変更し、スキャンを行なうかどうかのメッセージが表示されます。

選択した地域(エリア)のチャンネルリストを作成し、地域(県域)で放送されている放送局がすべて 1 ～ 12 (エリア)にプリセット(メモリー)されます。
※選択している地域のいずれかで受信可能な放送局がプリセット(メモリー)されるので、受信できない放送局が含まれている場合もあります。

■ スキャンを行なう場合

① はい をタッチする。

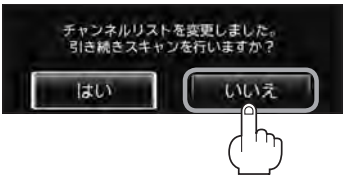
：スキャンを開始します。



：スキャンが終了すると受信画面を表示します。

■ スキャンを行なわない場合

① **いいえ** をタッチする。



：スキャンをしないで受信画面を表示します。

アドバイス

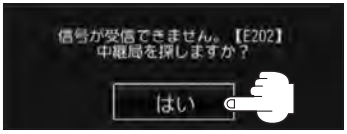
- 視聴エリアを変更した場合は **はい** をタッチしスキャンすることをおすすめします。
- スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、 **1** ～ **12** (エリア))にプリセット(メモリー)された局の中継局をスキャン(探索)します。
  ※現在地付近に新しく開局された放送局や現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは再スキャンを行なってください。J-15

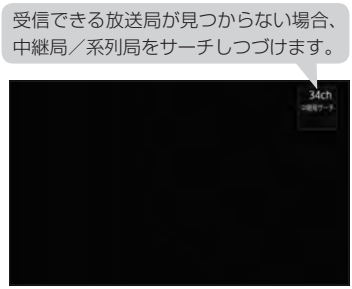
中継局を探す

本機は、お車の走行地域が変わって放送局が受信できなくなった場合、自動でサーチを開始します(「Digital TVモードにすると」J-9)が、中継・系列局サーチの設定で“手動”(J-28)を選択している場合は下記方法で中継局をサーチしなおすことができます。

1 画面にメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

：受信できる放送局を探します。
放送局を受信すると自動的に止まります。





アドバイス

- 放送波送信にはMFN方式とSFN方式があり、MFN方式は複数の周波数を用いて放送を中継しているため今まで受信していた周波数が受信しなくなった場合でも中継局サーチをしなおすことで適切な他の周波数で受信しなおすことが可能です。SFN方式では同一の周波数を使用するので中継局サーチは有効に働きません。どちらの方式(MFN／SFN)を採用しているかはエリアによって異なります。また、状況によっては、元の放送局といわゆる同じ「ネットワーク系列」に属する別の放送局の方が受信可能となる場合があります。これを「系列局」と呼んでいます。「系列局」では必ずしも同じ放送内容とは限りませんが、現在地の視聴エリアに「系列局」が存在する場合には、これもサーチの対象とします。なお、「ネットワーク系列」として次のものを定義しています。
  NHK総合系列、NHK教育系列、TBS系列、NTV(日本テレビ)系列、CX(フジ)系列、テレビ朝日系列、テレビ東京系列、独立UHF局系列(2011年3月現在)
  ※MFN方式「用語説明」M-35
- 中継局・系列局サーチの設定で“自動”を選択している場合は、上記のようなメッセージは表示されません。J-28
- 操作ボタン1の **中継** をタッチしても中継局をサーチすることができます。J-4

スキャンする

初期スキャン／再スキャンをする

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 **スキャン** をタッチする。

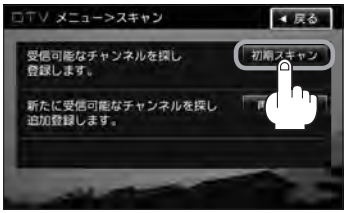
：スキャン画面が表示されます。

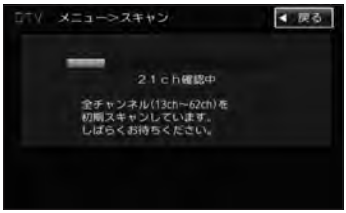
DTVメニュー画面

3 初期スキャン／再スキャンを選択する。

■ 初期スキャンをする場合

① **初期スキャン** をタッチする。





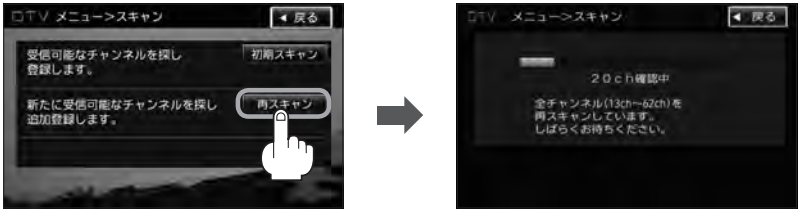
：受信可能なチャンネルを探し、受信可能なチャンネルをプリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス 初期スキャンを行なうと視聴エリア(チャンネルリスト、 **1** ～ **12** (エリア)にメモリーされるエリア)が最新の状態となります。

■ 再スキャンをする場合

現在地付近に新しく開設された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときなどに行ないます。

① **再スキャン** をタッチする。



：新たに受信可能なチャンネルを探し、プリセット(メモリー)します。スキャンが終了すると受信画面が表示されます。

アドバイス

- スキャンが終了するまでには数十秒～数分かかります。
- 走行地域によって複数の地域の放送を受信できるときは、チャンネル番号が重複する場合があります。チャンネル番号が重複して枝番号が追加された場合など **1** ～ **12** (エリア)にプリセット登録されない番組もあります。
- スキャンをしてチャンネル設定した場合に、再度同じ県域(都道府県)をプリセット(メモリー)しても前回設定されたチャンネルのままとなります。プリセット(メモリー)前の状態に戻すには初期化を行なってください。

「チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする」J-22／「設定を初期化する」J-42

選局する

チャンネルを選びます。（手動選局／自動選局／プリセット選局／リスト選局）

手動選局で放送局を選ぶ

1 **⏮ ⏭（選局）を押す。**

：ボタンを押すたびに、次のプリセットチャンネルに変わります。

1 ⏮ ⏭ ボタン（選局）

自動選局で放送局を選ぶ

1 **⏮ ⏭（選局）を押し続ける。**

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、この操作を繰り返してください。

※放送局を受信または一巡するまで自動選局は継続されます。

アドバイス
- 自動選局中は“シーク動作中”と表示されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

プリセットで放送局を選ぶ

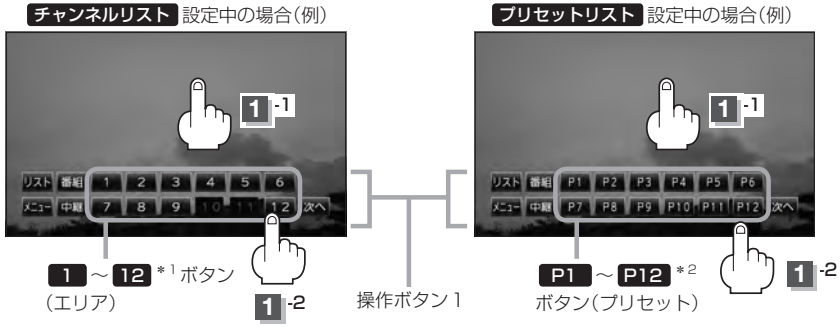
プリセット選局は、視聴エリアの変更やスキャンによって 1 ～ 12 (エリア)にメモリーされた放送局を呼び出す“エリア呼び出し”と、お好きな放送局をお客様ご自身が P1 ～ P12 (プリセット)にメモリーし呼び出す“プリセット呼び出し”があります。

※あらかじめ 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」J-12／「スキャンする」J-14
「プリセットボタンにメモリーする」J-20

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、 1 ～ 12 (エリア)または P1 ～ P12 (プリセット)の中で呼び出したい数字をタッチする。

：選択したボタンにメモリーされている放送局を受信します。



アドバイス

- 1 ～ 12 (エリア)に設定されるチャンネルは、地域によって異なります。複数のチャンネルが設定されている場合、その 1 ～ 12 (エリア)をタッチするごとに設定されたチャンネルを順に選局します。
- 1 ～ 12 (エリア)／ P1 ～ P12 (プリセット)に、どの放送局がメモリーされているのかチャンネルリスト／プリセットリスト画面(J-19)より確認できます。また、エリア番号と放送局の組み合わせは「放送局一覧」(M-12)より確認できます。
  - *1印…放送局が割り当てられていないボタンは選択できません。
  - *2印… P1 ～ P12 は放送局をメモリーすると、メモリーした放送局の物理チャンネル表示(13ch ～ 62ch)となります。

リストで放送局を選ぶ

リスト選局にはチャンネルリスト選局とプリセットリスト選局があります。リストに表示された放送局を呼び出すことができます。

チャンネルリスト…視聴エリアの変更やスキャンによって自動でプリセット(メモリー)された放送局の一覧

プリセットリスト…お客様ご自身がお好きな放送局を手動でプリセット(メモリー)した放送局の一覧

※あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」J-12／「スキャンする」J-14
「プリセットボタンにメモリーする」J-20

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

2 チャンネルリストまたはプリセットリストより放送局を呼び出す。

■ チャンネルリストより放送局を呼び出す場合

① リストより呼び出したい放送局をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

エリア番号　放送局名

現在の設定内容(エリア番号と放送局名の組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。

アドバイス

- プリセットリスト(右記)が表示された場合は チャンネルリスト をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。
- 視聴エリアの変更で自動に設定されている場合は、チャンネルリスト／ 1 ～ 12 (エリア)は自動で変更されます。

アドバイス

チャンネルリストに表示されるエリア番号と放送局の組み合わせは「放送局一覧」(M-12)より確認できます。

■ プリセットリストより放送局を呼び出す場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

：プリセットリスト画面が表示されます。

アドバイス すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

② リストより呼び出したい放送局をタッチする。

プリセットリスト画面(例)

1～12表示(P1～P12)　放送局名と物理チャンネル

現在の設定内容(プリセット番号と放送局名と物理チャンネルの組み合わせ)を確認できます。

：選択した放送局を受信します。

アドバイス

- チャンネルリストは操作ボタン1の **1** ～ **12** (エリア)にメモリーされているエリア番号と放送局名を表示します。
  ※地域によっては同じ番号に複数の放送局がメモリーされる場合があります。

チャンネルリスト画面(例)

エリア番号　放送局名

操作ボタン1

(例) **1** ～ **12** ボタン(エリア)

- プリセットリストは操作ボタン1の **P1** ～ **P12** (プリセット)にメモリーされているプリセット番号と放送局名／物理チャンネル*を表示します。
  *印…物理チャンネル ☞ J-31

プリセットリスト画面(例)

プリセット番号
※P1にメモリーされている場合1と表示

放送局名／物理チャンネル
※メモリーされていない場合、リストに表示されません。

操作ボタン1

(例) **P1** ～ **P12** ボタン(プリセット)

- 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるか状態によって異なります。
- **チャンネルリスト／プリセットリストは何も操作しなかった場合、約10秒後に消えます。**

プリセットボタンにメモリーする

プリセット選局(☞J-17)やリスト選局(☞J-19)をするために、あらかじめ放送局をメモリーしておく必要があります。

1

⏮ ⏭(選局)を押して、メモリーしたい局を選ぶ。

☞「手動選局で放送局を選ぶ」／「自動選局で放送局を選ぶ」J-16

2

プリセットリストを呼び出す。

☞「リストで放送局を選ぶ」J-18手順 1 およびJ-19

3

プリセットリストのメモリーしたい1～12を1.5秒以上タッチする。

：選択したボタンに放送局がメモリーされます。

※操作ボタン1のP1～P12表示は設定すると13ch～62ch(物理チャンネル)表示へと変わります。

※選局中や放送局を受信できない状態では、放送局をメモリーすることはできません。

1 に38チャンネルをプリセット(メモリー)した場合

1～12表示
(P1～P12に相当)

メモリーしたチャンネルが表示されます。

アドバイス

- メモリーした放送局を呼び出すには P1 ～ P12 (プリセット)を軽く(1.5秒未満)タッチします。☞J-17
- すでにメモリーされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。

エリア呼出／プリセット呼出について

テレビ放送画面／データ放送画面のとき、画面をタッチしたときに表示される操作ボタンは設定により異なります。

チャンネルリスト設定中(☞J-18)に
画面をタッチすると

1 ～ 12 (エリア)が表示される

プリセットリスト設定中(☞J-19)に
画面をタッチすると

P1 ～ P12 (プリセット)が表示される

※ 1 ～ 12 (エリア)には、視聴エリアの変更やスキャンによって自動でメモリーされた放送局が割り当てられています。
P1 ～ P12 (プリセット)は、お客様ご自身がお好きな放送局をメモリーします。
メモリーしたボタンは物理チャンネル*の表示に変わります。たとえば P1 に38チャンネルをプリセットすると P1 は 38ch 表示になります。
＊印…物理チャンネル☞J-31

※操作ボタン1の表示は最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリスト(☞J-19アドバイス)どちらを選択したかによって表示が異なります。

※初期状態はチャンネルリストが設定されています。

チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、リスト をタッチする。

：チャンネルリスト画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 チャンネルリストまたはプリセットリストをクリアする。

■ チャンネルリストをクリアする場合

① リストクリア をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

：チャンネルリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとチャンネルリストがクリアされます。(視聴エリアのチャンネルリストをセットします。)

アドバイス プリセットリスト(☞J-23)が表示された場合は チャンネルリスト をタッチするとチャンネルリスト画面を表示します。

■ プリセットリストをクリアする場合

① **プリセットリスト** をタッチする。

チャンネルリスト画面(例)

：プリセットリスト画面が表示されます。

② **リストクリア** をタッチする。

プリセットリスト画面

：プリセットリストをクリアしてもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、プリセットリストがクリアされます。（すべての登録内容がから(空白)になります。）

アドバイス すでにプリセットリストを表示している場合は手順①を省略することができます。

3 設定を終えるには、 戻る をタッチする。

：視聴画面に戻ります。

アドバイス 表示されるリストは最終選択時の状態を保持するため、チャンネルリスト／プリセットリストのどちらが表示されるかは状態によって異なります。

設定をする

映像を切り替える

数種類の映像が同時に放送されている番組では、本機で映像を切り替えることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**次へ** をタッチする。

：操作ボタン２が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 映像の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 数種類の映像がある場合

① **映像切替** をタッチする。

：映像の種類が表示されます。

操作ボタン２

② 表示が出ている間に **映像切替** をタッチして希望の映像を選ぶ。

：タッチするごとに映像が切り替わります。

アドバイス 12セグの場合、数種類の映像が放送されているときはバナー表示の が明るく表示されます。

■ マルチビューテレビ放送の場合

マルチビューテレビ放送は、主番組、副番組の複数映像をひとつの番組内で同時放送するサービスです。

① **映像切替** をタッチする。

：映像の種類が表示されます。

操作ボタン２

② 表示が出ている間に **映像切替** をタッチして希望の映像を選ぶ。

：タッチするごとに映像が切り替わります。

アドバイス
- マルチビューテレビ放送を受信したときは画面に“マルチビューテレビ放送です。「映像切替」キーで選択できます。”とメッセージが表示されます。
- 本機ではマルチビューテレビ放送のそれぞれの画面を同時に表示させることはできません。

音声を切り替える

数種類の音声が同時に放送されている番組では、本機で音声を切り替えることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**次へ** をタッチする。

：操作ボタン２が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

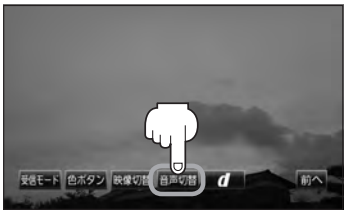
2 音声の切り替えは放送内容によって異なります。

■ 二重音声(デュアルモノラル)の場合

① **音声切替** をタッチする。

：音声が表示されます。

操作ボタン２



② 表示が出ている間に **音声切替** をタッチする。

：タッチするごとに「JPN」、「ENG」、「JPN＋ENG」など切り替わります。

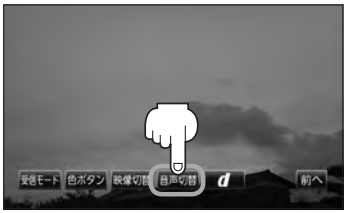
音声表示(例)

■ 数種類の音声がある場合

① **音声切替** をタッチする。

：音声の種類が表示されます。

操作ボタン２



② 表示が出ている間に **音声切替** をタッチする。

：音声が切り替わります。

アドバイス　数種類の音声が放送されているときはバナー表示の が明るく表示されます。

- **音声の種類について**

ステレオ……２チャンネル(左右)のステレオ放送です。
モノラル……左右が同じ音の、ステレオではない音です。
デュアルモノラル…複数のモノラル音声を同時に放送し、選んで受信します。多言語放送などが考えられます。

郵便番号設定

郵便番号を設定することによって、地域特有のサービス情報やドライブ先の情報を知りたいときに便利です。

「データ放送を利用する」J-43

1 **画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。**

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 **郵便番号設定 をタッチする。**

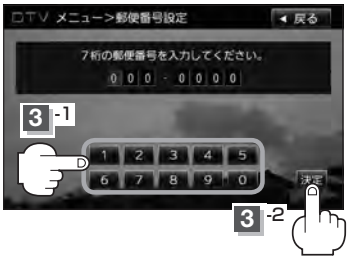
：郵便番号設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 **0 ～ 9 (10キー)をタッチして郵便番号を入力し、 決定 を２回タッチする。**

：システム設定画面に戻ります。

郵便番号設定画面



4 **戻る をタッチすると受信画面に戻る。**

自動切替(12セグ・ワンセグ)の設定をする

受信モード (☞ J-5)で放送自動切替に設定されているとき、優先するモードを切り替えることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 自動切替の設定をする。

■ **12セグ優先** をタッチした場合

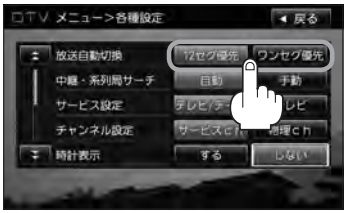
：受信状態が悪くなっても、できるだけ12セグを優先して受信します。

■ **ワンセグ優先** をタッチした場合

：受信状態が悪くなった場合、早々にワンセグに切り替えます。

※放送局によってワンセグ放送をしていない場合があります。その場合はワンセグ受信モードには切り替わりません。

各種設定画面



アドバイス

- セグメントは操作ボタン2の **受信モード** をタッチして切り替えます。(☞ J-5)
  ※ワンセグ固定受信、12セグ固定受信と、状況によって12セグとワンセグを切り替える自動切替の中から選択できます。
- 障害物などの影響により放送エリア内でも(12セグ／ワンセグともに)受信できない場合があります。
- 12セグとワンセグでは、放送内容が異なる場合があります。
- DTVメニューから設定するここでの設定は、放送自動切換の優先設定をするのみで現在の受信モードを変更するわけではありません。現在の受信モードを変更したい場合は操作ボタン2(☞ J-5)の **受信モード** をタッチして行なってください。
- 工場出荷時は **12セグ優先** に設定されています。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

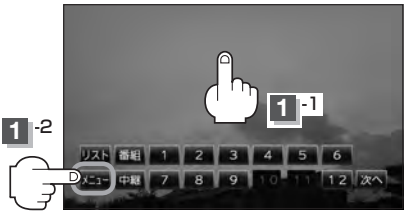
中継局と系列局サーチの自動／手動の設定をする

受信状態が悪くなった場合に自動で他の中継局／系列局を探すか、手動で探すかを設定することができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

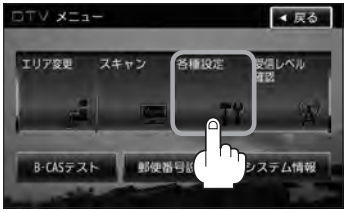
操作ボタン１表示画面(例)



2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面



3 自動／手動の設定をする。

■ **自動** をタッチした場合

：自動で中継局と系列局を探します。

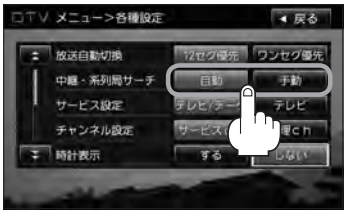
※受信していた放送局に受信可能な中継局、または現在地の視聴エリアに同じ系列に属する系列局がある場合、受信可能となるまでサーチし続けます。

■ **手動** をタッチした場合

：放送局が受信できなくなった場合は、中継局を探すことをうながすメッセージが表示されます。

「中継局を探す」J-13

各種設定画面



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

工場出荷時は **自動** に設定されています。

サービスの設定をする

独立データサービス(Gガイドなど)を選局するかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 サービスの設定をする。

■ **テレビ／データ** をタッチした場合

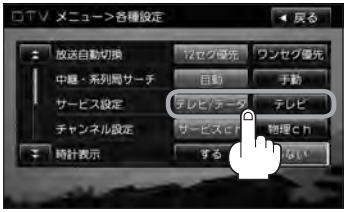
：テレビサービスと独立データサービスの両方を選局します。

■ **テレビ** をタッチした場合

：テレビサービスのみ選局します。

※独立データサービスがあった場合、とばして選局します。

各種設定画面



4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- **テレビ** に設定した場合、番組表もテレビサービスのみ表示されます。
- データサービスは12セグの場合です。
- 工場出荷時は **テレビ／データ** に設定されています。

チャンネル設定

バナー表示に表示されるチャンネル番号の表示を変えることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

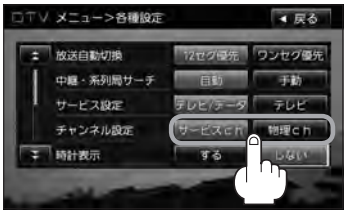
2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 チャンネル表示の設定をする。

各種設定画面(例)



■ サービスチャンネルを表示させる場合

① **サービスch** をタッチする。

バナー表示(例)

チャンネル番号
061(サービスチャンネル表示)

：3ケタの数字でチャンネル番号が表示されます。

※初期状態はサービスチャンネルの表示で設定されています。

■ 物理チャンネルの番号を表示させる場合

① **物理ch** をタッチする。

バナー表示(例)

チャンネル番号
50ch(物理チャンネル表示)

：2ケタの数字(13～62ch)でチャンネル番号が表示されます。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

時計表示設定

画面上に常に時計を表示させるかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 時計表示をするかどうかの設定をする。

■ 時計を表示させる場合

① **する** をタッチする。

：常に時計を表示します。

※TVの全ての画面に時計が表示されます。

時計表示

各種設定画面

■ 時計を表示させない場合

① **しない** をタッチする。

：時計は表示されません。

4 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

工場出荷時は する に設定されています。

文字スーパーを切り替える

視聴者にお知らせしたい情報(臨時ニュースなど)を受信したとき、番組放送中の画面に表示するかどうかの設定をすることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 ▼をタッチし、表示方法(**第1言語**、**第2言語**、**しない**)を選択する。

■ 文字スーパーを表示させる場合

第1言語 または **第2言語** をタッチする。

：選択した言語で文字スーパーが表示されます。

■ 文字スーパーを表示させない場合

しない をタッチする。

：文字スーパーは表示されません。

各種設定画面

4 設定を終えるには、**戻る**をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 工場出荷時は **第1言語** に設定されています。
- 番組によっては文字スーパー表示設定が働かないものもあります。
- 文字スーパーは12セグのみのサービスです。
- 文字スーパーは字幕サービスとは別のサービスです。「字幕表示を切り替える」J-36

字幕表示を切り替える

映画やドラマなど字幕のついた番組を受信したときは、字幕を画面に表示するように設定しておくことができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 **各種設定** をタッチする。

：各種設定画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 ▼をタッチし、表示方法(**第１言語**、**第２言語**、**しない**)を選択する。

■ 字幕を表示させる場合

第１言語 または **第２言語** をタッチする。

：選択した言語で字幕が表示されます。

■ 字幕を表示させない場合

しない をタッチする。

：字幕は表示されません。

各種設定画面

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 字幕の内容は番組によって異なります。
- 字幕の大きさや位置は番組によって異なります。本機で変えることはできません。
- バナー表示を表示させたとき、字幕サービスがあると明るく表示されます。

- 番組によっては、字幕が音声より遅れて表示されます。
- 工場出荷時は **しない** に設定されています。

受信可能なチャンネルと受信レベルを確認し、受信する

1 **画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、メニュー をタッチする。**

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)

2 **受信レベル確認 をタッチする。**

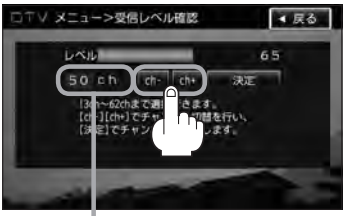
：受信レベル確認画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 **ch－ ／ ch+ をタッチする。**

：タッチするたびに１チャンネルずつ変わります。
13～62chの中から確認したいチャンネルを選択してください。

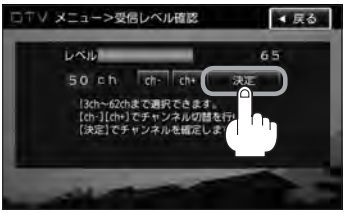
受信レベル確認画面(例)



チャンネル表示

4 **決定 をタッチする。**

：チャンネルを確定し、レベルを確認することができます。また、確定したチャンネルの放送局が存在すれば、その放送局を受信することができます。（放送局が存在しない場合は受信できなくなります。）

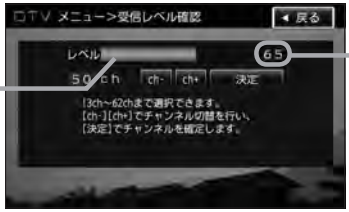


5 設定を終えるには、戻るをタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

受信レベル確認画面のとき本機の受信状態を(バーの長さと数値にて)確認することができます。

受信レベル確認画面(例)



バー表示

MAXを100とし、100に近い程
受信状態は安定しています。

miniB-CASカードのテストをする

miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASテストを行なってください。

1 画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、メニュー をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

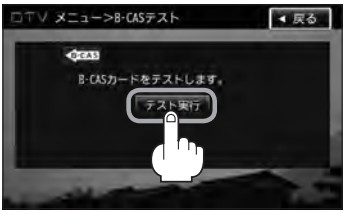
操作ボタン1表示画面(例)

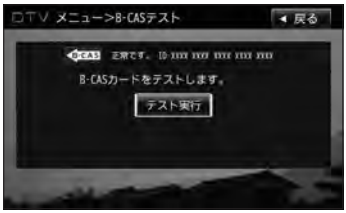
2 B-CASテスト をタッチする。

：B-CASテスト画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 テスト実行 をタッチする。





：テストが実行され、正常に動作する状態であれば“正常です。”と表示されます。

4 設定を終えるには、戻る をタッチして表示させたい画面まで戻る。

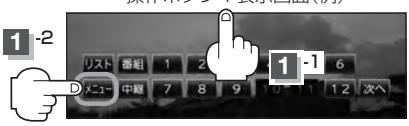
放送局からの情報を見る

放送局からのお知らせメールを見ることができます。

1 画面をタッチし操作ボタン１を表示させ、**メニュー** をタッチする。

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン１表示画面(例)



2 **システム情報** をタッチする。

：システム情報画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 **受信情報確認** をタッチする。

：情報一覧画面が表示されます。

※お知らせメールがない場合 **受信情報確認** は選択できません

システム情報画面(例)

4 確認したいメールをタッチする。

：選択したメールの内容が表示されます。

※次ページがある場合、▲▲／▼▼、▲／▼ タッチで戻り／送り表示することができます。

消去 をタッチすると選択中のメールを消去することができます。

5 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示させたい画面まで戻る。

アドバイス

- 本機で受信できる情報(お知らせメール)は16件までです。
- メールにはトラブルを知らせるものなどがあります。
- miniB-CASカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。

設定を初期化する

本機のDigital TVモードの状態を初期化することができます。

1 **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、メニュー をタッチする。**

：DTVメニュー画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面(例)

2 **システム情報 をタッチする。**

：システム情報画面が表示されます。

DTVメニュー画面

3 **メモリ初期化 をタッチする。**

：初期化してもいいかどうかのメッセージが表示されるので、 はい を画面にしたがってタッチすると、設定内容を初期化します。

システム情報確認画面(例)

4 **初期化が終わったら、車のエンジンスイッチをO(ロック)にし、電源を切る。**

※他の操作をする場合は10秒過ぎてからエンジンスイッチをⅡ(ON)にし、電源を入れてください。

アドバイス 他人に譲渡または処分などされる際は、 メモリ初期化 を行ない、お客様が設定された内容や情報などを必ず消去してください。

お願い

- **初期化中は車のエンジンスイッチを変更しないでください。**
  故障の原因となります。
- 初期化を行なうと設定やデータは消去されます。

データ放送を利用する

データ放送は12セグのみ対応しています。
地上デジタルテレビ放送では、映像や音声によるテレビ放送のほかに、便利な情報をお知らせするデータ放送があります。
※データ放送を利用するにはあらかじめ郵便番号を設定しておく必要があります。
「郵便番号設定」J-26

- **データ放送には番組付加型と独立型があります。**
  番組付加型データ放送…天気やニュースなど番組に関連しない情報や、出演者など番組に関連する情報などを提供
  独立型データ放送……データのみを専門に放送

---

1 J-16の手順にしたがって、番組付加型データ放送または独立型データ放送の放送局を選局する。

---

2 データ放送を見る。

※バナー表示に“テレビd”または“テレビ+d”と表示されます。

バナー表示

放送局の送信データによってはアイコンが表示されない場合でもデータ放送が放送されている場合があります。

■ 番組付加型データ放送を見る場合

① **画面をタッチし操作ボタン1を表示させ、 次へ をタッチする。**
：操作ボタン2が表示されます。

操作ボタン1(例)

② **d をタッチする。**
：データ放送画面が表示されます。

操作ボタン2(例)

③ 色ボタン をタッチする。

データ放送画面(例)

※ボタンが消えた場合はJ-43手順①にしたがって操作し、表示させてください。

④ 色ボタンを使って見たい項目を選択し、 決定 をタッチする。

データ放送画面(例)

アドバイス

- 番組により 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー)を使った画面や、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー)/ 0 ～ 9 (10キー)(☞ J-7)をタッチして項目を選択してください。「ピッ」と確認音が出ることもあります。
- 操作ボタンを移動させたいときは 移動 をタッチしてください。(上下に移動します。)
- 受信する放送局によっては、表示するまでに時間がかかる場合があります。その間に d を数回タッチすると、データ放送画面が表示されない場合があります。

⑤ データ放送を終了するには、 d をタッチする。

データ放送画面(例)

：受信画面に戻ります。

※色ボタンを消すには ボタン消 をタッチしてください。

アドバイス

- 表示が“ テレビd ”のときは、天気予報など番組とは直接関連しないデータ放送です。
- 表示が“ テレビd ”のときは、出演者や選手の情報など番組内容に関連するデータ放送です。
- 放送電波からデータを取得している間は“データ取得中”と表示されます。“dボタンを押してください”と表示される番組もあります。
- 受信時に“dボタンを押してください”と表示される番組では、 d をタッチしたときにデータ放送のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- データ放送画面の項目を選んだときに別のチャンネルに移り、チャンネル番号が変わる場合があります。
- d をタッチしなくても自動でデータ放送画面が表示される場合もあります。
- 画面の操作ボタンの表示が消えた場合は、再度画面をタッチし 次へ をタッチし操作ボタン2を使用して色ボタンの表示や d タッチでデータ放送の終了をしてください。

■ 独立型データ放送を見る場合

独立型データ放送では受信後のバナー表示に“データ”と表示されます。

データ放送画面(例)

① J-43手順①にしたがって操作し、②のとき 色ボタン をタッチする。

操作ボタン2

② 画面の色ボタンを使って見たい項目を選択し、 決定 をタッチする。

アドバイス

- 選局した後、データが取得されると画面が表示されます。
- 音声が流れる番組や動画が表示される番組があります。
- 独立型データ放送の画面は、番組付加型データ放送と同じように 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー)を使った画面(手順は上記参照)、数字入力画面が表示されます。画面の指示にしたがって、カラーキー 青 / 赤 / 緑 / 黄 (カラーキー)や 0 ～ 9 (10キー)(☞ J-7)をタッチして項目を選択してください。
- データ放送の操作は番組によって異なります。操作のしかたは画面の指示にしたがってください。操作方法がわからない場合は、それぞれの放送局へお問い合わせください。

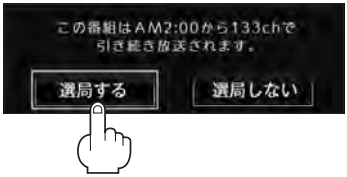
J-46 リレーサービスの番組を見る

リレーサービスとは、番組の内容が予定の終了時間になっても終わらない場合に別のチャンネルで番組の続きを放送するサービスです。
※リレーサービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

---

1 **選局する** **をタッチする。**

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



アドバイス

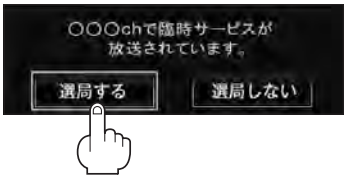
番組の続きを見ない場合は、 **選局しない** をタッチしてください。

臨時サービスの番組を見る

放送中の番組に関連した臨時放送を別のチャンネルで放送する場合があります。
※臨時サービスがある場合に、画面にメッセージが表示されます。

1 **選局する** **をタッチする。**

：チャンネルを選局し、受信画面が表示されます。



■ 臨時放送が終了した場合

：臨時放送が終了すると、画面に“臨時サービスが終了しましたので前のチャンネルを選局しました。”と表示され、臨時放送に変える前のチャンネルに自動で戻ります。

アドバイス

- 臨時サービスは12セグのみのサービスです。
- 番組の続きを見ない場合は、**選局しない** をタッチしてください。

緊急放送を見る

災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

- **「現在地設定」をしてください。**
  緊急放送は地域別に異なることがありますので、本機の購入・設置時に現在地設定(地方／県域の設定)をしておいてください。設定しておかないと正しい緊急放送が受信できません。
  「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」J-12

受信中に緊急放送が始まると

緊急放送が始まると、画面に“緊急放送が始まりました。”と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

■ 緊急放送が終了した場合

：緊急放送が終了すると、画面に“緊急放送が終了しましたので前のチャンネルを選局します。”と表示され、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

アドバイス

緊急放送は、地上デジタルテレビ放送を受信中のときのみ見ることができます。Digital TVモード以外のモードを選択しているときや、車のエンジンスイッチを0(ロック)にしているときは緊急放送は受信できません。

エラーコードについて

画面にメッセージとエラーコード〔Exxx〕が表示された場合は以下の原因が考えられます。

メッセージ	エラーコード	本機の動作および処置
信号が受信できません。 中継局を探しますか？	〔E202〕	アンテナ線が外れているとき。 アンテナ線を確認してください。
		受信状態が悪く、番組を提示できないとき。 受信できる場所に移動してください。
現在、放送されていません。	〔E203〕	放送休止中のとき。 (PAT ／ PMT が取得できず) 視聴できるチャンネルを選択してください。
放送チャンネルではないため、視聴できません。	〔E200〕	非放送サービスを受信したとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
データが受信できません。	〔E400〕	データ放送の BML ドキュメントが取得できないとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
この受信機ではデータを表示できません。	〔E401〕	データ放送の BML エンジンが、取得した BML ドキュメントのバージョンをサポートしていないとき。 視聴できるチャンネルを選択してください。
データの表示に失敗しました。	〔E402〕	データ放送のコンテンツを表示中に、実行エラーがおこったとき。 もう一度やりなおしてください。
現在、このチャンネルには放送局がありません。	〔E204〕	10 キー選局において、存在しないチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。 存在するチャンネルを入力してください。
この受信機では、このチャンネルは受信できません。	〔E210〕	10 キー選局において、未対応チャンネルのチャンネル番号を入力したとき。 ※受信チャンネルは現在のチャンネルのままとなります。 対応しているチャンネルを入力してください。
アンテナ接続が異常接続です。	〔E209〕	アンテナ電源がショートしたとき。 アンテナ電源を確認してください。

テレビについて

地上デジタルテレビ放送について

- 地上デジタルテレビ放送は、アナログ(VHF／UHF)テレビ放送がデジタル化された(UHF帯の電波を使って行なう)放送で、2003年12月から関東・中京・近畿の三大広域圏の一部で開始された放送です。
  ※アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。**(一部地域は除く)**
- お車の走行地域(ご利用の地域)で放送が開始されている必要があります。県域(都道府県)を選択して現在地の設定をしてください。☞「視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をする」J-12
- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて3種類のサービスがあります。
  ・テレビ放送……従来からのテレビ放送　・ラジオ放送……音声を主とした放送
  ・データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送
  ※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。
  (ラジオ放送には対応しておりません。)
- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。
  (時報等も同様に遅れます。)
- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。
  ※セグメントを放送自動切替に設定してください。
  ☞ J-5操作ボタン2の **受信モード** をタッチして切り替えます。
- miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。
  ☞「miniB-CASカードについて」J-52／「miniB-CASカードを入れる／取り出す」A-8
- **地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。**

  ・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行なっています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。

  ※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

  ・地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。
  「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
  社団法人　デジタル放送推進協会　http://www.dpa.or.jp/

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。

- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音がはいる場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズがでたり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

以下の点にご注意ください。

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アンセンブルを行なったり、それに関与してはいけません。
- 本機は、ロヴィコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はロヴィコーポレーションの許諾が必要であり、ロヴィコーポレーションの許可なしでは、一般家庭または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- お知らせメールなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。

地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)について

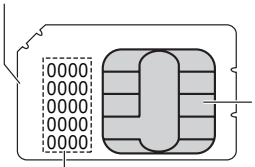
- 2011年8月末より一部の地域を対象として、地上デジタルテレビ放送の周波数資源の再分配や受信障害の解消をおこなうために、地上デジタルテレビ放送の一部チャンネルの周波数変更(リパック)が実施されます。これは総務省が推進する事業で約1年間の期間をかけて対象地域で順次実施されるものです。
  ※ただし、東北地方の岩手県、宮城県、については2013年の3月末までに実施されます。
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネルが変更されることで視聴ができなくなった場合、本機で再スキャンする必要があります。(☞ J-14)
- 地上デジタルテレビ放送のチャンネル変更(リパック)の情報に関しては下記のホームページをご覧ください。
  http://digisuppo.jp/index.php/repack/#repack-main

J-52 miniB-CASカードについて

miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。
ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。

miniB-CASカード



ID番号
契約内容などを管理するための大切な
番号です。お問い合わせの際にも必要です。

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
  - ・折り曲げたり、変形させない。
  - ・上に重いものを置いたり踏みつけたりしない。
  - ・水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
  - ・IC(集積回路)部には手をふれない。
  - ・分解加工は行なわない。
  - ・カード挿入口に正しく挿入する。
    「miniB-CASカードを入れる／取り出す」A-8
  - ・ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしない。
    ※地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
  - ・付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できない。
  - ・付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできない。
- miniB-CASカードの取り扱いの詳細につきましては、miniB-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
- 破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。
- **長時間ご使用にならないときは、miniB-CASカードを取り出しておいてください。**
  ※長時間、本機内に入れておくと高温等のためにminiB-CASカードを傷める原因となることがあります。取り出したあとは、大切に保管してください。

miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のminiB-CASカードにつきましてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　　受付時間　10：00～20：00(年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「取付説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

住所・電話番号は都合により、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

K

VTRを使う

各部の名称とはたらき……K-2
タッチパネル部について……K-2
接続する……K-3

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

VTRモード画面(例)

① **ボタン消** ボタン
表示しているボタンを消し、映像を全画面表示します。

② **Quick** ボタン
カスタマイズメニューを使用することができます。
M-2

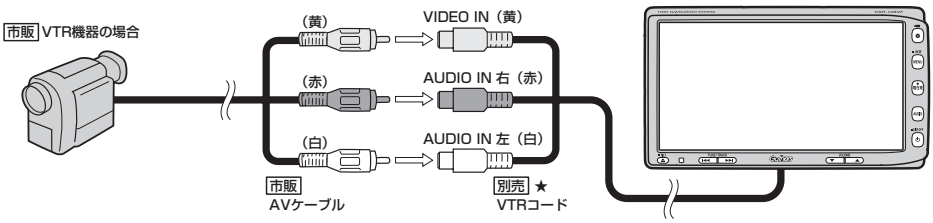
※VTRモードの操作ボタンは画面をタッチしたときに表示されます。

接続する

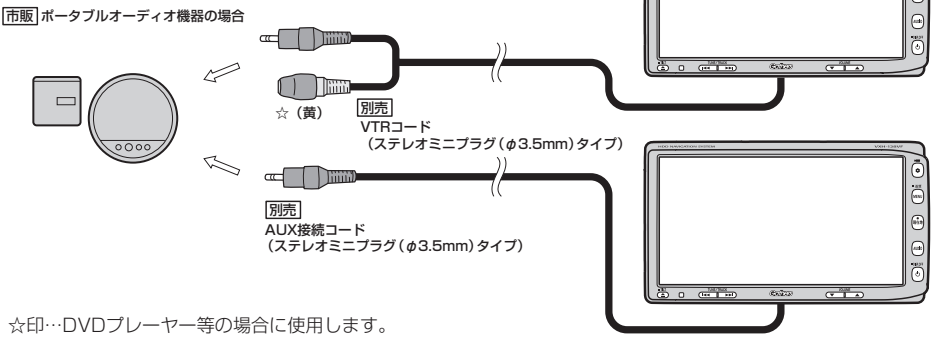
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。出力するには、別売の下記コードをお買い求めください。

⚠ VTR機器などの映像は安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。（走行中は音声のみになります。）

1 別売のVTRコードやAUX接続コードを使用して本機に市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器を接続する。



★印…iPodを再生させるために、VTRコードにiPod 接続コード(別売)が接続されている場合はそちらを外してください。
☞ G-17イラスト参照



☆印…DVDプレーヤー等の場合に使用します。

2 使用する機器の電源を入れる。

※他のモードになった場合は

1. AUDIO を押してAV MENU画面を表示させ、
2. VTR をタッチして、VTRモードに切り替えてください。

※ 別売のAUX接続コード使用時も VTR をタッチします。

3 VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

お願い

本機の電源をOFF(エンジンスイッチを0(ロック))にする場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

アドバイス

- 別売のAUX接続コードを接続した場合の操作方法は、VTRモードから行なってください。
- VTRから入力された音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
  「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」A-20
- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- VTRの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
  「音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する」A-20
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子(RCA×1系統)

映像入力レベル	1Vpp(入力インピーダンス75Ω)
音声最大入力レベル	2.0V(入力インピーダンス47kΩ)

- 接続するVTR機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

L
ハンズフリーを使う

初期登録設定 ……L-2
携帯電話を登録する……L-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する ……L-5
携帯電話の割り当てを切り替える ……L-7
登録携帯電話の自動接続の設定をする……L-8
登録携帯電話の優先接続の設定をする……L-9
ハンズフリーの通話設定をする ……L-10
車載機（本機）のBluetooth情報を見る ……L-11
デバイス名／パスキーを変更する ……L-12
携帯電話のメモリを本機に登録する……L-14
電話を受ける ……L-16
着信音量を調整する……L-16
電話に出る……L-16
保留にする……L-17
通話を拒否（終了）する……L-18
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする（ミュート）……L-18
通話を携帯電話に切り替える ……L-19
トーン入力する ……L-20
電話をかける ……L-21
電話番号から……L-21
リダイヤルから ……L-23
履歴から……L-23
アドレス帳から ……L-26
発着履歴を削除する……L-28
通話中に地図画面を表示する ……L-29
ハンズフリーについて……L-30
Bluetoothとは……L-30
ハンズフリーとは ……L-30
音声について ……L-30
安全上のご注意……L-30
使用上のご注意……L-31
QQコールを利用する……L-32
QQコールとは ……L-32
QQコールを利用するまでの流れ ……L-32
QQコールを表示する……L-33

L-2 初期登録設定

“Bluetooth 対応携帯電話” を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整／登録削除／電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

- 下記手順を行なう前にあらかじめ携帯電話側のBluetoothが使用できるよう設定してください。
  ※設定方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲のBluetooth機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

1 オーディオ画面で MENU を押す。

：AV MENU画面が表示されます。

※DVDモード時は MENU を2回押します。

2 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

：HANDS FREE画面が表示されます。

AV MENU画面

3 設定 ➡ 携帯電話機器登録 をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※登録されている機器(携帯電話2台)がある場合機器登録は選択できません。

HANDS FREE画面

4 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

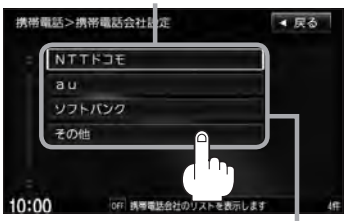
：接続待機中画面が表示されます。

※携帯電話の会社名を選択することで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行なわれます。

すでに登録済(Bluetooth接続済)の携帯電話(番号)がある場合、その携帯電話(Bluetoothの接続)を切断するかどうかのメッセージが表示されるので“はい”を選択してください。

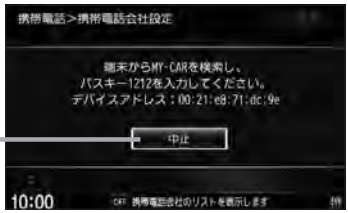
※“はい“を選択すると現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選択した場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、Bluetoothに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

携帯電話会社設定画面



＊

接続待機中画面



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

5 携帯電話を操作する。

※携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行なってください。操作方法はお手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

※登録する携帯電話の仕様(Bluetooth Ver2.1以降)によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 **はい** をタッチすると登録が完了します。

携帯電話の接続状態は情報バーで確認することができます。
L-4アドバイス参照

登録完了メッセージ(例)

接続完了メッセージ(例)

アドバイス

- ＊印…ご使用の携帯電話がドコモ／ au ／ソフトバンク以外の場合、 **その他** を選択してください。
  本機にて接続を確認している携帯電話は、下記アドレスをご確認ください。
  http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/
- ハンズフリーの初期登録を行なう際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行なってください。
- パスキーとは、“Bluetooth対応携帯電話”を本機に登録するためのパスワードです。
  ※パスキーは任意の数字に変更することができます。L-12
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称等で判断してください。
  「車載機(本機)のBluetooth情報を見る」L-11
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。

アドバイス

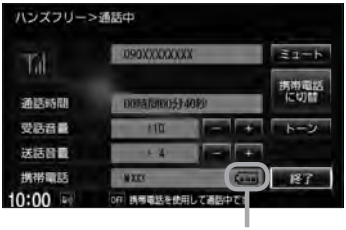
● 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。

情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ３本：電波状態良好

携帯電話のアイコン	意　味
BT／BT	電波状態良好
圏外	電波は届いていません。

着信／発信／通話中のとき電波状態を表示



電池残量

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

- 携帯電話は２台まで登録可能です。
- 携帯電話の詳しい操作方法はお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている携帯電話がない場合、
登録機器一覧 は選択できません。

HANDS FREE画面

L-6へ続く➡

3 詳細情報を見たい、または削除したい携帯電話(詳細 ／ 削除)をタッチする。

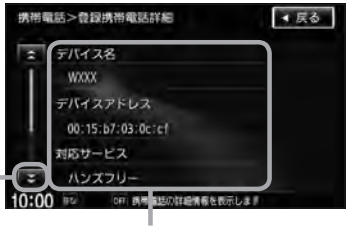
登録携帯電話一覧画面

■ 詳細情報を見る場合

① **詳細** をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

登録携帯電話詳細画面(例)



タッチで続きを表示

登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。
(デバイス名*1／デバイスアドレス／対応サービス*2／携帯電話会社／自局番号を表示)

＊1印･･･携帯電話に設定されている名称を表示します。

＊2印･･･登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では＿(アンダーバー)表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※自局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。(取得できなかった場合には“ー”(ハイフン)で表示されます。)

■ 削除する場合

① **削除** をタッチする。

：削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した携帯電話を削除し、HANDS FREE画面に戻ります。

登録携帯電話一覧画面

アドバイス 2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

アドバイス
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。
※携帯電話は２台まで登録可能ですが、常時接続できる携帯電話機は１台となります。

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている機器がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。

HANDS FREE画面

3 割り当てたい携帯電話の **接続する** をタッチする。

：メッセージを表示しBluetooth接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

登録携帯電話一覧画面

アドバイス 変更前の端末が接続されている場合は、Bluetooth切断を行なったあとに割り当てを変更します。

アドバイス
- **戻る** をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録携帯電話の自動接続の設定をする

登録機器がある場合、電源を入れたときに自動接続するかどうかの設定します。

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **登録機器一覧** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている機器(携帯電話2台)がない場合 **登録機器一覧** は選択できません。

HANDS FREE画面

3 自動接続の **する** をタッチする。

：電源を入れたときに自動で接続します。

※自動で接続を行なわない場合は **しない** を選択してください。

登録携帯電話一覧画面

アドバイス

- 自動接続をするに設定していても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBluetooth接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、電源を入れたときにどちらの機器を優先して接続するか設定をします。

1 L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 設定 ➡ 登録機器一覧 をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されている機器(携帯電話)が1台もない場合 登録機器一覧 は選択できません。

HANDS FREE画面

3 優先したい携帯電話の 優先する をタッチする。

： 優先する の設定は次回車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にした時より有効となります。

※自動接続をしない設定にすると 優先する は選択できません。

登録携帯電話一覧画面

アドバイス

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

ハンズフリーの通話設定をする

発着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。

- 発着信音量･･･発着信音の大きさ（＋１～＋15）
- 受話音量･･･通話先相手の声の大きさ（＋１～＋15）
- 送話音量･･･相手に聞こえる自分の声の大きさ（＋１～＋７）

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **携帯電話通話設定** をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。

HANDS FREE画面

3 調整したい音量（発着信／受話／送話）の **－** ／ **＋** をタッチする。

■ **－** をタッチした場合

：発着信／受話／送話音量が小さくなります。

■ **＋** をタッチした場合

：発着信／受話／送話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面

アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話しください。
- **戻る** をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 発着信／通話中に調整することもできます。発着信／送話音量はL-16、受話音量はL-22参照

車載機(本機)のBluetooth情報を見る

端末を登録するときや、携帯電話に登録した車載機(本機)の情報を削除してしまったときなど、車載機(本機)のBluetooth情報を見たいときに使用します。

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **Bluetooth本体情報** をタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

HANDS FREE画面

Bluetooth本体情報画面

デバイス名
デバイスアドレス
パスキーなどの情報を表示します。

デバイス名／パスキーの変更をすることができます。

「デバイス名／パスキーを変更する」L-12

アドバイス

- **戻る** をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

デバイス名／パスキーを変更する

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **設定** ➡ **Bluetooth本体情報** をタッチする。

：Bluetooth本体情報画面が表示されます。

HANDS FREE画面

3 デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する場合

① **デバイス名変更** をタッチする。

② 英数パレットよりデバイス名を入力し、 **決定** をタッチする。

：デバイス名は変更され、Bluetooth本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する場合

① **パスキー変更** をタッチする。

② 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。

：パスキーは変更されBluetooth
本体情報画面に戻ります。

アドバイス

- **戻る** をタッチすると１つ前の画面に戻ります。
- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

1 L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 電話 ➡ 携帯メモリ読み出し をタッチする。

：メモリを読み出していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。

HANDS FREE画面

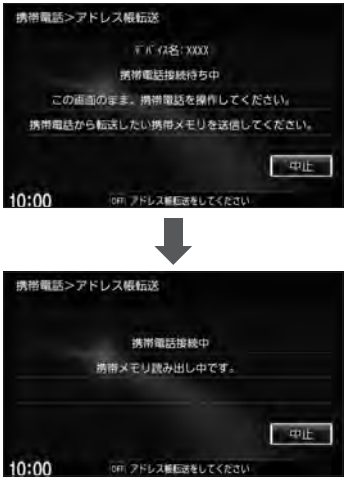
3 携帯電話を操作する。

※読み出したいアドレス帳を選択し、データ送信を開始させます。

：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

※選択したアドレスの数によって表示される画面が異なります。(1件転送／全件転送)

携帯電話接続待ち中画面



アドバイス

- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行なってください。
- アドレス帳のデータ送信やBluetoothの接断／接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

■ 1件転送の場合

■ 全件転送の場合

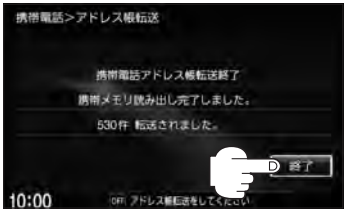
追加保存するか上書き保存するか選択してください。

アドバイス 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録しなおしてください。

4 読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、終了をタッチする。

：HANDS FREE画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面



アドバイス
- 中止をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- メモリ読み出し中に着信があった場合、Bluetooth接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数·桁数は、名前:全角9文字まで／よみ:半角18文字まで／電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順3 (L-14)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客さま自身の番号)も登録される場合があります。
- 戻るをタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
（通話時間は目安としてお考えください。）
※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
（99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。）

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

着信音量を調整する

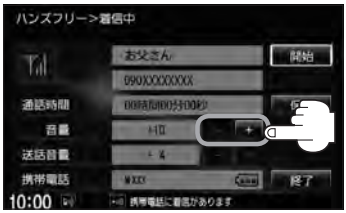
電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 **着信音が鳴っているときに、－／＋をタッチして音量を調整する。**

■ **－をタッチした場合**
：着信音量が小さくなります。

■ **＋をタッチした場合**
：着信音量が大きくなります。

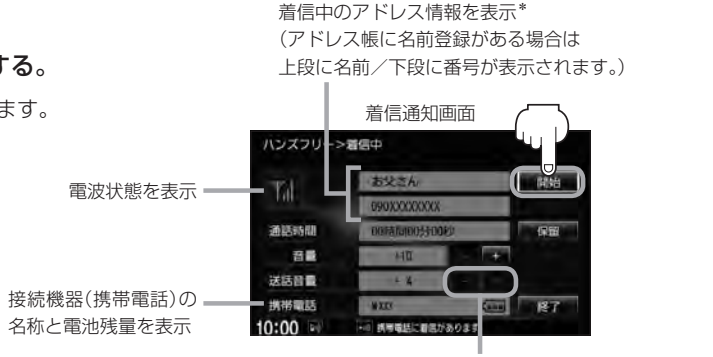
着信通知画面



アドバイス ハンズフリー通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。
「ハンズフリーの通話設定をする」L-10

電話に出る

1 **開始をタッチする。**
：通話可能となります。



＊印…名前登録がない場合は、上段に番号のみ表示されます。

アドバイス
- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- ハンズフリー通話設定画面からも送話音量を調整できます。
  「ハンズフリーの通話設定をする」L-10
- 着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

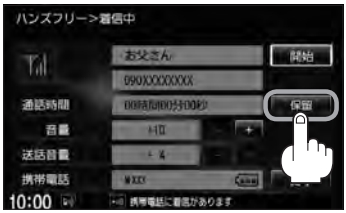
保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、**保留** をタッチする。

：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。

着信通知画面

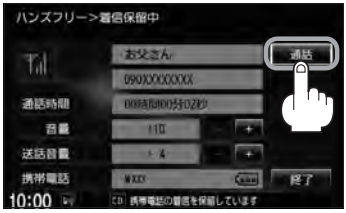


アドバイス
- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に **終了** をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行なうためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
  ※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。
- 保留操作を行なった場合、Bluetooth操作が行なえなくなる場合があります。

■ 通話できる状態になった場合

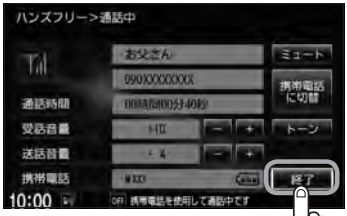
① **通話** をタッチする。

着信保留画面



：通話可能となります。

② 通話が終わったら **終了** をタッチする。



：電話が切れます。

アドバイス
通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)される場合があります。

通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1 着信通知画面で **終了** をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。

着信通知画面

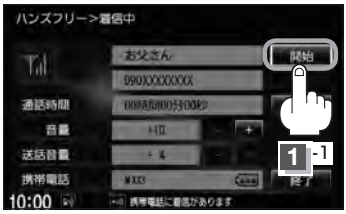
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。
※相手の声は聞こえます。

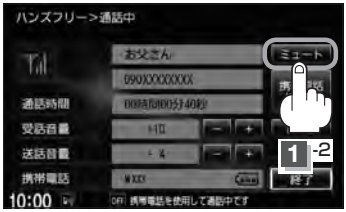
1 着信通知画面で **開始** をタッチして通話しているときに、**ミュート** をタッチする。

：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)

着信通知画面



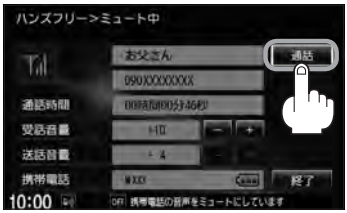
通話中画面



■ 再びこちらの音声を出す場合

① **通話** をタッチする。

ミュート中画面



：自分の声が相手に聞こえます。

通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1 通話中画面で **携帯電話に切替** をタッチする。

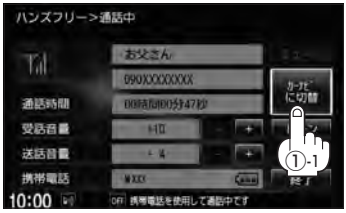
：切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

通話中画面

■ 通話を本機に戻す場合

① 通話中画面で **カーナビに切替** をタッチする。

通話中画面



ハンズフリー通話に切り替えるかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

：通話をハンズフリー通話(本機)に切り替えます。

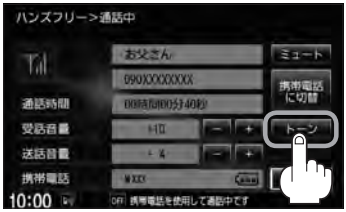
トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

1 **通話中画面で トーン をタッチする。**

：トーン入力画面が表示されます。

通話中画面



2 **入力したい番号を10キーボタンをタッチして入力する。**

：タッチするごとにトーン信号情報を携帯電話に送信します。

トーン入力画面

アドバイス

- 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。

電話をかける

⚠警告 電話は安全な場所に停車してご使用ください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)
※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法(電話番号／リダイヤル／履歴／施設の詳細☆／登録地点詳細☆)で電話をかけることができます。
☆印…☞別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)C-5、F-34、F-41

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1 L-2手順 **1** 、 **2** にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 **電話** ➡ **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

＊印…ボタンをタッチした後、携帯電話から電話番号を入力するのではなく、ナビゲーション本体から相手側の電話番号を入力してください。☞下記手順 **3**

3 相手先の電話番号を入力し、**発信** をタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。入力した番号が25桁以上の場合、発信してもいいかどうかの確認メッセージが表示されるので **はい** または **いいえ** を選択してください。

※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、発信できないことがあります。この場合、携帯電話側の仕様をご確認ください。

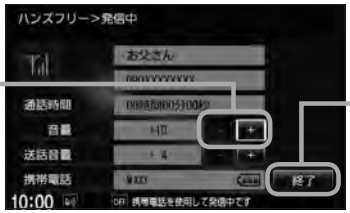
- 入力した数字を1つ訂正する場合
  訂正 をタッチする。
- 全ての数字を訂正する場合
  訂正 を長めにタッチする。

電話番号入力画面

アドバイス 発信中画面で

－ ／ **＋** タッチで発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。

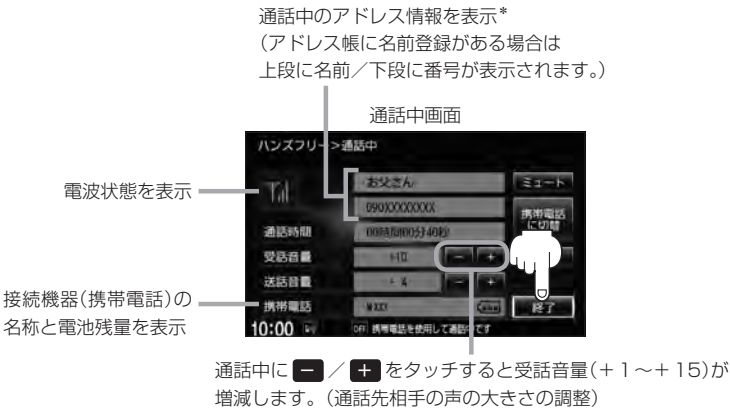
発信中画面



終了 をタッチすると発信を中止することができます。

4 通話が終わったら 終了 をタッチする。

：電話が切れます。



アドバイス

＊印…アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示されます。

アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
  〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない（電話に出てない）が、本機の画面では通話中となります。〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ 電話から を選択（☞L-21 手順 2）することができます。

リダイヤルから

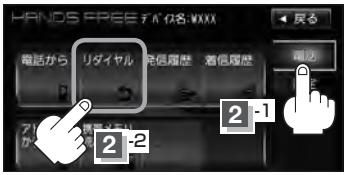
最後にかけた電話番号に電話をかけ直すときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

1 L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 電話 ➡ リダイヤル をタッチする。

：リダイヤル発信するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択してください。



アドレス帳に名前登録がない場合は、番号が表示されます。

アドバイス 発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 リダイヤル は選択できません。

履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1 L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 電話 ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

アドバイス 発信／着信履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選択できません。

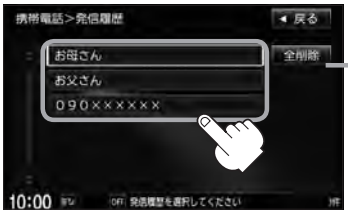
■ 発信履歴からかける場合

本機から電話をかけるとかけた相手の電話番号が発信履歴に自動的に登録されます。
登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の番号をタッチする。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

発信履歴リスト画面



全削除 をタッチし、**はい** を選択すると発信履歴を一括で削除することができます。

アドバイス
- 本機に発信履歴がない場合 **発信履歴** は選択できません。
- リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。（施設名／地点名は表示されません。）

② **発信** をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した発信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

発信履歴詳細画面

*

削除 をタッチし、**はい** を選択すると選択中の発信履歴を削除することができます。
※全ての発信履歴を一括で削除することもできます。
「発着履歴を削除する」L-28

※発信中画面(L-21 のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(L-22の手順 4 参照)になります。

アドバイス
＊印…アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

登録されている名前が表示されます

■ 着信履歴からかける場合

本機に携帯電話を接続中に電話がかかってくると、かかってきた相手の電話番号が着信履歴に自動的に登録されます。登録された電話番号を利用して電話をかけることができます。ご使用中の携帯電話の機種によっては着信番号が表示されないで非通知と表示されます。

① リストの中からかけたい相手の番号をタッチする。

：着信履歴詳細画面が表示されます。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

着信履歴リスト画面

全削除 をタッチし、**はい** を選択すると着信履歴を一括で削除します。

アドバイス
- 本機に着信履歴がない場合 **着信履歴** は選択できません。
- 着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知と表示されます。また、非通知の場合選択する(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

② **発信** をタッチする。

：電話するかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選択した着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

着信履歴詳細画面

＊

削除 をタッチし、**はい** を選択すると選択中の着信履歴を削除することができます。

※全ての着信履歴を一括で削除することもできます。
「発着履歴を削除する」L-28

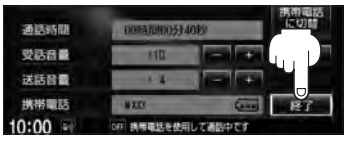
＊印…アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

※発信中画面(L-21のアドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(下記)になります。

3 通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

通話中画面



ハンズフリー

アドバイス
- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。

アドバイス アドレス帳から電話をかけるにはあらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

1 L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 電話 ➡ アドレス帳から をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 アドレス帳 は選択できません。

3 名前またはメモリ番号から電話をかける。

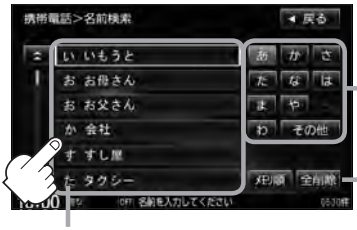
■ 名前からかける場合

本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選択する。

：アドレス帳詳細画面が表示されます。

名前検索画面



名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選択できない文字は暗くなります。)

全削除 をタッチすると登録されているすべての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

名前の頭文字(またはそれ以外の文字)を表示

アドバイス 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

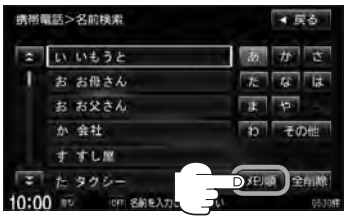
■ メモリ番号からかける場合

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

① メモリ順 をタッチする。

：メモリ番号検索画面が表示されます。

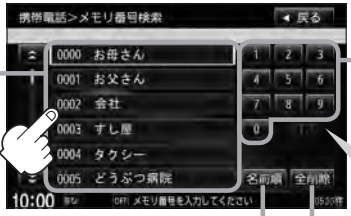
名前検索画面



② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選択する。

：アドレス帳詳細画面が表示されます。

メモリ番号
検索画面



メモリ番号は携帯から転送された順番にリストの上から表示されます。

数字をタッチしてメモリ番号を入力し、リスト上に呼び出すこともできます。

入力した数字を１つ訂正する場合
訂正 をタッチします。
全ての数字を訂正する場合
訂正 を長めにタッチします。

名前検索画面に戻すには、**名前順** をタッチします。

全削除 をタッチすると全ての名前(アドレス)を一括で削除することができます。

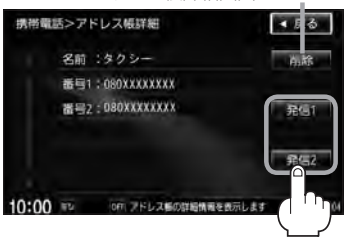
---

4 詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、**発信１** または **発信２** をタッチする。

：電話してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** をタッチすると(相手先の)番号に電話をかけます。

※発信中画面(☞L-21 アドバイス参照)を表示し、相手につながると通話中画面(☞L-22 手順 **4** 参照)になります。

アドレス帳詳細画面 ＊



＊印… **削除** をタッチし、**はい** を選択すると選択中の名前(アドレス)を削除することができます。

発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1

L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2

電話 ➡ 発信履歴 ／ 着信履歴 をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。

アドバイス 発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** ／ **着信履歴** は選択できません。

3

全削除 をタッチする。

：全件削除してもいいかどうかのメッセージが表示されるので **はい** を選択すると、発信または着信履歴を一括で削除し、ハンズフリーMENU画面に戻ります。

発信履歴リスト画面(例)

通話中に地図画面を表示する

“Bluetooth対応携帯電話”を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1 通話中に 現在地 を押す。

：ナビゲーション(地図)画面が表示されます。

通話中画面(例)

ナビゲーション画面

1 現在地 ボタン

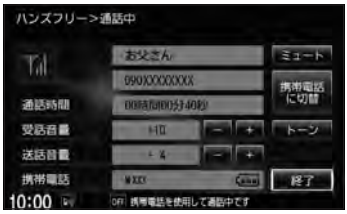
■ 再び通話中画面にする場合

① AUDIO を押し、 システム設定 ➡ 携帯電話 をタッチする。

AV MENU画面

①-1 AUDIO ボタン

通話中画面(例)



：通話中画面に戻ります。

アドバイス

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

ハンズフリーについて

Bluetooth対応の携帯電話をお持ちの場合に、本機のハンズフリー機能を使用することができます。

Bluetoothとは

- 携帯電話と本機をケーブルを使わずに接続し、音声やデータのやりとりをすることができる無線通信技術のことです。
- ハンズフリーのBluetooth機能を利用するには、初期登録をする必要があります。
  「初期登録設定」L-2
  初期登録後、自動接続“する”の場合は車のエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)にして本機に電源が入ると自動的にBluetooth 接続となります。

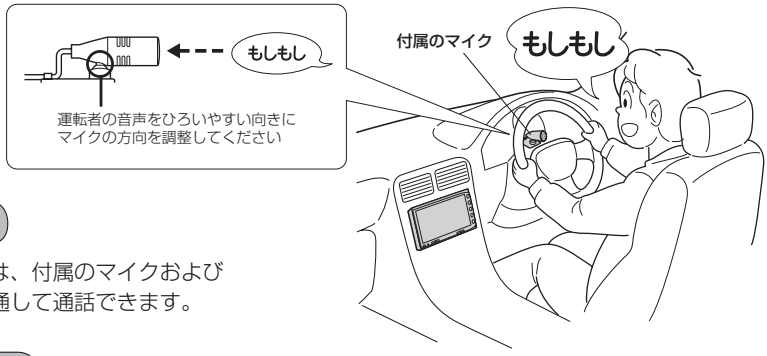
アドバイス 本機にて電話のやりとりをすると通常より携帯電話の電池が早く消耗します。

Bluetooth®

BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。

ハンズフリーとは

携帯電話を操作することなく画面をタッチすることで「電話を受ける」「電話をかける」などの電話機能が使用できます。これがハンズフリー機能です。



音声について

発信後および着信後は、付属のマイクおよび車両のスピーカーを通して通話できます。

安全上のご注意

⚠警告
- 安全のため、自動車運転中の携帯電話のご使用はおやめください。法律で禁止されています。
- 運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても通話しなければいけないときは、“ハンズフリー機能”を使用して「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してかけ直してください。
- 電話(本機)を使用するために、禁止された場所や周りに迷惑のかかる場所で駐・停車などをしないでください。

使用上のご注意

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機はすべてのBluetooth機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBluetooth対応携帯電話はBluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth対応携帯電話が上記Bluetooth標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- auの携帯電話をご使用の場合には、機種によって「回線交換モード(ASYNC／FAX)と「パケットモード」の2種類の通信モードがありますが「パケットモード」でご使用ください。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行なえない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行なえないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話および本機を使用する場合、心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して使用してください。電波によりそれらの装置・機器に影響を与える恐れがあります。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth通信用の車両側アンテナはナビに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえることがあります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中のオーディオはMUTE状態となります。
  ※録音中に発着信があった場合、録音は継続されます。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth接続してください。

アドバイス 携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種につきましては、下記ホームページをご確認ください。http://www.honda.co.jp/navi/support/handsfreelist/

- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作、保留操作(着信拒否、転送も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すぐに本機の使用をやめてお買い上げのHonda販売店へご相談ください。
  3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行なうと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 車載機(本機)で携帯電話を充電することはできません。
- 本機以外のBluetooth機器が携帯電話と接続されている場合、本機とBluetooth接続できない場合があります。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とBluetooth接続を切断してください。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetoothの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行なってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

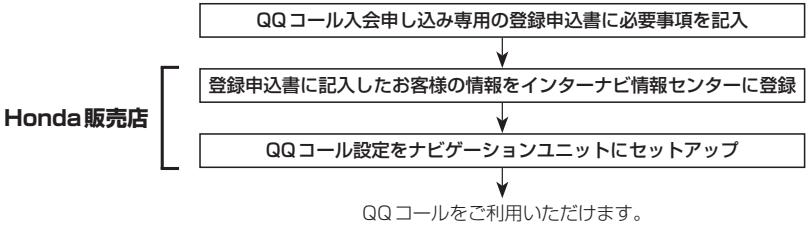
QQコールを利用する

QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/qqcall/

QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。



QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。
QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1 L-2手順 1 、 2 にしたがって操作する。

：HANDS FREE画面が表示されます。

2 QQコール をタッチする。

：QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。

3 QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

■ 携帯電話が本機にBluetooth接続されている場合

① 発信 をタッチする。

※走行中は 発信 はタッチできません。

現在地のマップコード

※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、 通話終了 をタッチする。

■ 携帯電話が本機にBluetooth接続されていない場合

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。

電話番号

現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。

QQコールを表示する

アドバイス

- QQコールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能の操作が可能です。
  ・地図表示(方位)の切り替え　・地図の拡大／縮小　・地図スクロール
  ・オーディオモードの音量調整　・オーディオモード(AV電源)のON／OFF
- 走行中はQQコールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行なってください。
- 戻る をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQコール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

Bluetooth接続時のQQコール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できます。

M
その他

カスタマイズ(Quick)機能について…… M-2
画像ファイル(JPEG)について…… M-3
本機で再生できるディスクについて…… M-4
データベースについて…… M-6
オーディオ リモコン スイッチ…… M-8
リア席モニターについて…… M-10
個人情報の取り扱いについて …… M-11
　工場出荷状態に戻す……M-11
放送局一覧 …… M-12
初期設定一覧 …… M-14
故障かな？と思ったら…… M-15
メッセージ表示について …… M-31
用語説明…… M-34
索　引…… M-40

M-2 カスタマイズ(Quick)機能について

ナビゲーションの各項目選択を１つの画面から操作することができます。

1 各モードのTOP画面で、Quick をタッチする。

：カスタマイズメニュー画面が表示されます。

オーディオモード画面
（SDモード画面(例)）

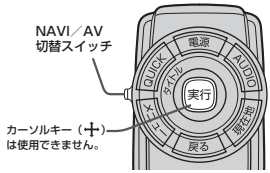
2 切り替えたい機能(メニュー)ボタンをタッチする。

：選択した機能画面が表示されます。

カスタマイズメニュー画面(例)

アドバイス

- Digital TVモードの場合 Quick は選択できません。
- カスタマイズメニュー画面のとき、別売のリモコンのカーソルキー(✛)はNAVI／AV切替スイッチがAV側にあると使用できません。
  これはリア席モニターの接続(☞ M-10)を考慮してリア席モニターに表示されるモード(DVD／VTR／Digital TV)のカーソルキー動作を優先させるための仕様となっています。



画像ファイル(JPEG)について

- **SD／USBモードのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。**
  ☞「動作モード(音楽／画像)を切り替える」A-22
- **再生可能なJPEGファイルについて**

対応形式	Baseline JPEG方式
再生可能な拡張子	JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4092×4092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

M-4 本機で再生できるディスクについて

DVD VIDEO	DVD+R DVD-R	DVD+RW DVD-RW	DVD+R DL DVD-R DL
COMPACT disc DIGITAL AUDIO	COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT	CD-R	CD-RW

※ただし、ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

※DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。

⚠注意 すでにディスクが入っている場合に2枚目を挿入しようとすると、ディスクに傷がつき、故障の原因となります。

- **下記のディスクは再生できないか、再生できても正常に再生されないことがあります。**
  - ・CD-G　・フォトCD　・CD-ROM　・Blu-ray
  - ・CD-EXTRA　・VIDEO CD　・SACD　・HD DVD
  - ・DVD-ROM　・DVD-RAM　・DVDオーディオ　・SVCD
- **DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。**
  - ・リージョン番号「2」が含まれていないディスク
  - ・無許諾のディスク(海賊版のディスク)
  - ・NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク
- **CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。**
  - ・データが記録されていないディスク
  - ・ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
  - ・ディスクと本機の相性が悪い場合
  - ・CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
  - ・ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

※MP3／WMAにつきましては☞「MP3／WMAファイルについて」D-6をご覧ください。

Videoモードのファイナライズについて

DVD-R／DVD-RW／DVD+R／DVD+RW／DVD+R DL／DVD-R DLディスクをご使用になる場合、録画された機器で「ファイナライズ処理」を行なっていただく必要があります。ファイナライズ処理を行なわないと、録画された機器以外の他のプレーヤー(本機など)で再生できない場合があります。

※ファイナライズ処理については、書き込みを行なう機器の取扱説明書や注意事項をよくお読みください。

● DVDレコーダで作成したディスクについて

・DVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。☞I-20、I-31

・デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R／RW、DVD-R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り再生が可能です。
☞「(DVD再生ディスク対応一覧表)」I-31

※DVD-R、DVD-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの取扱説明書をよくお読みください。

● 8cmディスクについて

本機では、8cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

● dts-CD(dts 5.1chサラウンドトラックが収録されているCD)について

CDモードでは再生できます。Music Rackモードでは正常に録音／再生できません。

● コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコン等で複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)がCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)の発売元にお問い合わせください。

● 特殊形状のディスクについて

ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

● Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

M-6 データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバムをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● **Gracenoteデータベースについて**

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-2012 Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-2012 Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。

Gracenote、CDDB、Music ID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenoteの登録商標または商標です。

音楽認識テクノロジーおよび関連データはGracenote®によって提供されます。Gracenote®は音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。

アドバイス 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● **Gracenoteデータベースのご利用について**

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

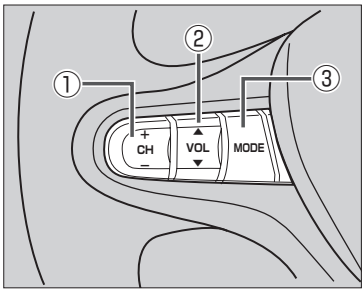
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

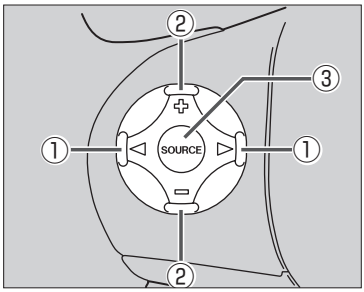
Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないもとのとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2012

オーディオ リモコン スイッチ 車両標準装備 別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。
イラストはイメージ図です。





車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。
※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH－／CH＋スイッチ、◁／▷スイッチ

■ ラジオを聞いている／Digital TVを見ている場合

CH＋／▷**を押す。**：プリセットされている次の放送局を選局します。
CH－／◁**を押す。**：プリセットされている前の放送局を選局します。
CH＋／CH－**を長く押す。**：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

■ MP3／WMA／AACファイル(CD・DVD*／SD／USB)を聞いている場合

CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出しします。
CH＋**を長く押す。**：フォルダアップします。
CH－**を長く押す。**：フォルダダウンします。
＊印…CD・DVDでのAAC再生はできません。

■ CD／Music Rack／iPodを聞いている場合

CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

■ DVDを見ている場合

CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次のチャプターの頭出し)します。
CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前のチャプターの頭出し)します。
※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

② VOL▲ ／ VOL▼ スイッチ、 ＋ ／ － スイッチ

VOL▲ ／ ＋ **を押す。**：音量が大きくなります。

VOL▼ ／ － **を押す。**：音量が小さくなります。

VOL▲ ／ ＋ **を長く押す。**：連続して音量が大きくなります。

VOL▼ ／ － **を長く押す。**：連続して音量が小さくなります。

③ MODE 、 SOURCE スイッチ

スイッチを押すたびに、下記のようにモードが切り替わります。

スイッチを押すたびに、
FM／AM → CD/DVD → Music Rack
VTR*3 ← TV ← SD ← iPod*2 ← USB*1 と切り替わります。

＊1印…USBの接続方法につきましては「USB機器を接続する」F-16を参照ください。
＊2印…iPodの接続方法につきましては「iPodを本機に接続する」G-17を参照ください。
＊3印…VTR の接続方法につきましては「接続する」K-3を参照ください。

※USBとiPodは同時に接続できません。
※iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。

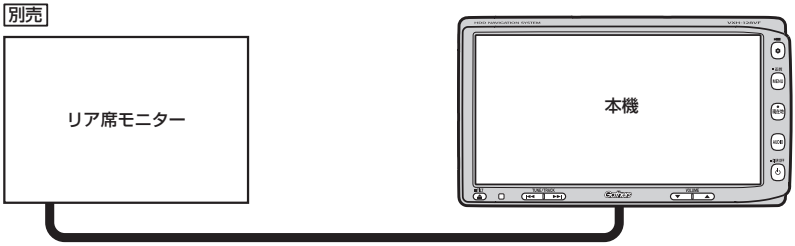
アドバイス

- オーディオモード⇔ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体パネルの AUDIO ⇔ 現在地 を押して切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
  ・ディスク、SDカード未挿入、USB／iPod／VTR未接続。

リア席モニターについて

別売

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”＊などの使い方ができます。
＊印…DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

本機のモード		本機に表示される画面	リア席モニターに表示される画面
ナビ	－	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV（iPodビデオ／VTR）	ナビ	Digital TV（iPodビデオ／VTR）
Digital TV（iPodビデオ／VTR）	－	Digital TV（iPodビデオ／VTR）	Digital TV（iPodビデオ／VTR）
DVD	－	DVD	DVD
ナビ	FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB	ナビ	表示されません
FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB	－	FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB	表示されません

※Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。

アドバイス

- オーディオモードを終了（OFF状態）にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行ないます。モード選択や画面の操作を行なうことはできません。操作は本機で行なってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。

個人情報の取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

工場出荷状態に戻す

■ 個人情報に関わる設定を初期化する場合

☞別冊の取扱説明書（ナビゲーション編）
「データを初期化（消去）する」G-27

■ それぞれの設定箇所で消去する場合

- **本機に録音した音楽データの削除**

☞「音楽データを初期化する」
B-12の手順 3 で 音楽データ初期化 を選択決定

- **本機にアップデートしたGracenoteデータベースのデータの削除**

☞「Gracenoteデータベースのデータを初期化する」
B-20の手順 3 で 初期化 を選択決定

- **本機に設定した地上デジタルテレビ放送に関する情報の削除**

☞「設定を初期化する」
J-42の手順 3 で メモリ初期化 を選択決定

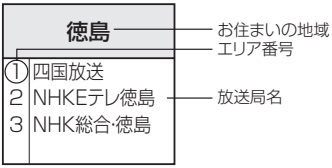
放送局一覧

地上デジタルテレビ放送の、放送局とプリセット登録されるチャンネルの組み合わせは、以下のようになります。

※他地域(旅行などのおでかけ先)の放送を受信されたときは、下記のようにならない場合があります。

割り当てられた放送が実際に開始される時期は地域により異なります。また放送の開始時は地上アナログテレビ放送との混信を避けるために、非常に小さい出力で放送されるため受信できるエリアが限定されます。

■ 表のみかた



一度放送局を受信(視聴)すると、最新の放送局名が表示されます。

※放送局名は放送局側の都合により変更になる場合があります。

(2012年2月現在)

お住まいの地域	北海道（函館）	北海道（札幌）	北海道（室蘭）	北海道（旭川）	北海道（帯広）	北海道（北見）
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ函館 3 NHK総合·函館 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ札幌 3 NHK総合·札幌 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ室蘭 3 NHK総合·室蘭 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ旭川 3 NHK総合·旭川 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ帯広 3 NHK総合·帯広 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ北見 3 NHK総合·北見 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB

お住まいの地域	北海道（釧路）	青森	秋田	山形	岩手	宮城
放送局名	1 HBC北海道放送 2 NHKEテレ釧路 3 NHK総合·釧路 5 STV札幌テレビ 6 HTB北海道テレビ 7 TVH 8 UHB	1 RAB青森放送 2 NHKEテレ青森 3 NHK総合·青森 5 青森朝日放送 6 ATV青森テレビ 6 HTB北海道テレビ 8 UHB	1 NHK総合·秋田 2 NHKEテレ秋田 4 ABS秋田放送 5 AAB秋田朝日放送 8 AKT秋田テレビ	1 NHK総合·山形 2 NHKEテレ山形 4 YBC山形放送 5 YTS山形テレビ 6 テレビユー山形 8 さくらんぼテレビ	1 NHK総合·盛岡 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ盛岡 4 テレビ岩手 4 ミヤギテレビ 5 岩手朝日テレビ 5 KHB東日本放送 6 IBCテレビ 8 めんこいテレビ 8 仙台放送	1 TBCテレビ 2 NHKEテレ仙台 3 NHK総合·仙台 4 ミヤギテレビ 5 KHB東日本放送 8 仙台放送

お住まいの地域	福島	群馬	埼玉	山梨	栃木	東京
放送局名	1 NHK総合·福島 1 TBCテレビ 2 NHKEテレ福島 4 福島中央テレビ 4 ミヤギテレビ 5 KFB福島放送 5 KHB東日本放送 6 テレビユー福島 8 福島テレビ 8 仙台放送	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 群馬テレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 テレ玉 3 群馬テレビ 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·甲府 2 NHKEテレ甲府 4 YBS山梨放送 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 UTY 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 とちぎテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 3 チバテレビ 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学

お住まいの地域	神奈川	茨城	千葉	福井	石川	富山
放送局名	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 tvk 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·水戸 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·東京 2 NHKEテレ東京 3 チバテレビ 3 tvk 3 テレ玉 4 日本テレビ 5 テレビ朝日 6 TBS 7 テレビ東京 8 フジテレビジョン 9 TOKYO MX 12 放送大学	1 NHK総合·福井 2 NHKEテレ福井 6 MRO 7 FBCテレビ 8 福井テレビ	1 NHK総合·金沢 1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ金沢 4 テレビ金沢 5 北陸朝日放送 6 MRO 8 石川テレビ 8 BBT富山テレビ	1 KNB北日本放送 2 NHKEテレ富山 3 NHK総合·富山 6 チューリップテレビ 6 MRO 8 BBT富山テレビ 8 石川テレビ

お住まいの地域	新潟	長野	岐阜	三重	愛知	静岡
放送局名	1 NHK総合·新潟 2 NHKEテレ新潟 4 TeNYテレビ新潟 5 新潟テレビ21 6 BSN 8 NST	1 NHK総合·長野 2 NHKEテレ長野 4 テレビ信州 5 abn長野朝日放送 6 SBC信越放送 8 NBS長野放送	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·岐阜 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ～テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·津 4 中京テレビ 4 MBS毎日放送 5 CBC 6 メ～テレ 6 ABCテレビ 7 三重テレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ 10 テレビ愛知	1 東海テレビ 2 NHKEテレ名古屋 3 NHK総合·名古屋 4 中京テレビ 5 CBC 6 メ～テレ 7 三重テレビ 8 ぎふチャン 10 テレビ愛知	1 NHK総合·静岡 2 NHKEテレ静岡 4 だいいちテレビ 5 静岡朝日テレビ 6 SBS 8 テレビ静岡

お住まいの地域	兵庫	京都	大阪	和歌山	滋賀	奈良
放送局名	1 NHK総合·神戸 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·京都 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·大阪 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·和歌山 2 NHKEテレ大阪 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·大津 2 NHKEテレ大阪 3 BBCびわ湖放送 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 NHK総合·奈良 2 NHKEテレ大阪 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 KBS京都 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 9 奈良テレビ 10 読売テレビ

お住まいの地域	愛媛	高知	香川	徳島	島根	山口
放送局名	1 NHK総合·松山 2 NHKEテレ松山 4 南海放送 4 RNC西日本テレビ 4 広島テレビ 5 愛媛朝日 5 広島ホームテレビ 6 あいテレビ 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 テレビ愛媛 8 TSS	1 NHK総合·高知 2 NHKEテレ高知 4 高知放送 6 テレビ高知 8 さんさんテレビ	1 NHK総合·高松 2 NHKEテレ高松 4 RNC西日本テレビ 4 MBS毎日放送 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 6 ABCテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 四国放送 2 NHKEテレ徳島 3 NHK総合·徳島 3 サンテレビ 4 MBS毎日放送 5 テレビ和歌山 6 ABCテレビ 7 テレビ大阪 8 関西テレビ 10 読売テレビ	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ松江 3 NHK総合·松江 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合·山口 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ山口 3 tysテレビ山口 3 OBS大分放送 4 KRY山口放送 4 RKB毎日放送 5 yab山口朝日 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本

お住まいの地域	広島	鳥取	岡山	長崎	佐賀	熊本
放送局名	1 NHK総合·広島 2 NHKEテレ広島 3 RCCテレビ 4 広島テレビ 5 広島ホームテレビ 8 TSS	1 日本海テレビ 2 NHKEテレ鳥取 3 NHK総合·鳥取 6 BSSテレビ 8 山陰中央テレビ	1 NHK総合·岡山 2 NHKEテレ岡山 4 RNC西日本テレビ 5 KSB瀬戸内海放送 6 RSKテレビ 7 TSCテレビせとうち 8 OHKテレビ	1 NHK総合·長崎 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ長崎 3 NBC長崎放送 3 RKK熊本放送 4 NIB長崎国際テレビ 4 RKB毎日放送 4 KKTくまもと県民 5 NCC長崎文化放送 8 KTNテレビ長崎 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合·佐賀 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ佐賀 3 STSサガテレビ 3 RKK熊本放送 3 NBC長崎放送 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎	1 NHK総合·熊本 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ熊本 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 KKTくまもと県民 4 RKB毎日放送 5 KAB熊本朝日放送 7 TVQ九州放送 8 TKUテレビ熊本 8 KTNテレビ長崎

お住まいの地域	福岡	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
放送局名	1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ福岡 2 NHKEテレ北九州 3 NHK総合·福岡 3 NHK総合·北九州 3 RKK熊本放送 3 STSサガテレビ 4 RKB毎日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合·大分 1 KBC九州朝日放送 2 NHKEテレ大分 3 OBS大分放送 4 TOSテレビ大分 4 南海放送 4 RKB毎日放送 5 OAB大分朝日放送 5 FBS福岡放送 7 TVQ九州放送 8 TNCテレビ西日本	1 NHK総合·宮崎 1 MBC南日本放送 2 NHKEテレ宮崎 3 UMKテレビ宮崎 5 KKB鹿児島放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ	1 MBC南日本放送 2 NHKEテレ鹿児島 3 NHK総合·鹿児島 3 UMKテレビ宮崎 4 KYT鹿児島読売TV 4 KKTくまもと県民 5 KKB鹿児島放送 5 KAB熊本朝日放送 6 MRT宮崎放送 8 KTS鹿児島テレビ 8 TKUテレビ熊本	1 NHK総合·沖縄 2 NHKEテレ沖縄 3 RBCテレビ 5 QAB琉球朝日放送 8 沖縄テレビ（OTV）

初期設定一覧

● **音量調整** A-19

音量＝3

● **SD／USB** A-22

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択
モード切替＝音楽ファイル

● **画質調整** A-25

明るさ＝25(イルミネーションON時は12)
コントラスト＝16
色の濃さ＝16
色合い＝16

● **音場設定** A-28

音場設定＝OFF
DSP＝HALL
SRS CS Auto＝FOCUS

● **イコライザー設定** A-31

OFF

● **スピーカー設定** A-34

フロント＝LARGE
リア＝LARGE

● **フェードバランス調整** A-36
（基本設定）

各項目の調整値＝0

● **車速連動音量** A-38

設定＝MIDDLE

● **録音** B-4、5、6、7

録音＝自動録音
録音音質＝高音質モード

● **FM／AM** C-1

FM／AM＝FMモード
FM周波数＝76.0MHz
AM周波数＝522kHz
交通情報＝1620kHz

● **Music Rack** E-1

選曲モード＝全曲
再生モード＝未選択

● **DVD** I-23

音声言語＝日本語
字幕言語＝日本語
メニュー言語＝日本語
ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし

● **Digital TV** J-1

エリア変更＝自動
視聴エリア＝東京
プリセット登録(1 ～ 12 (エリア))＝登録済(東京)
チャンネルリスト＝登録済(東京)
プリセットリスト＝未登録
番組表＝3ch表示

郵便番号設定＝未設定
各種設定
放送自動切換＝12セグ優先
中継・系列局サーチ＝自動
サービス設定＝テレビ／データ
チャンネル設定＝サービスch
時計表示＝する
文字スーパー表示＝第1言語
字幕表示＝しない

● **ハンズフリー** L-1

パスキー＝1212
着信音量＝＋10
受話音量＝＋10
送話音量＝＋4
自動接続＝する
デバイス名＝MY-CAR

故障かな？と思ったら

参考ページの見方
(例)ナビゲーション編A-2→別冊の取扱説明書(ナビゲーション編)A-2参照
A-2→本書のA-2参照

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共　　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
電源が入らない。(動作しない。)	各リード線や各コネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているか、もう一度確認してください。	—
画面が曇る。	雨の日、または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ曇りはなくなります。	—
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	[▼ ▲](VOLUME)で調整してください。	A-19
	フェード・バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合は“0”にあわせます。	A-36
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスプレイ部が閉じない。	ディスク排出処理中。	排出が終わったらディスクを取り出してください。取り出さないとディスプレイ部は閉じません。	—
	SDカードが奥まで挿入されていない。	奥まで挿入してください。奥まで挿入しないとディスプレイ部は閉じません。	—
	ディスプレイ部を開けたとき無操作状態。	[▲](TILT)を押して閉じてください。	A-6、A-7

共　　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋をふきとってください。また、キズやラベルのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、イジェクトしてから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	ナビゲーション編 A-18
ディスクを読み込まない。			
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。	長時間使用すると本機内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	―
	ディスクを長時間再生していた。		
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シート等が貼ってある。	保護シート等の種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	―
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。	車速連動音量を設定してください。	A-38

モニター

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	A-25
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	A-21
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。（VTR未入力時は黒い画面になります。）	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。（トンネル内など画面が急に暗くなります。）オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないときは画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話等の妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	A-25
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。	故障ではありません。リア席モニターに表示されるのは映像関連（DVDやDigital TV、iPodビデオなど）となります。	M-10

FM／AM

症　状	原　因	処　置	参考ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	C-4
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。	—
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、音の入りが良くなり、雑音が少なくなります。受信できる場所に移動してください。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めてください。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
正常に動作しない。	接続不良。	本機とiPodの接続を確認してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	G-17
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	G-16
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes*（アイチューンズ）で再生位置を記録のチェックをOFFにしてください。	—
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	ビデオ再生機能のあるiPodをご使用ください。	—
	iPod touchのソフトウェアバージョンが古い。	iPod touchのソフトウェアバージョンを2.0以上にしてください。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPodビデオ認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	AV電源をOFFし、iPodを接続しなおして再度AV電源をONしてください。	A-9
選択できないビデオがある。	アーティスト名、アルバム名などのタイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—

*印…アップル社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

Music Rack

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	B-4
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。CDが挿入されているかご確認ください。	—
録音できない。	録音中に車のエンジンスイッチを変更してエンジンを始動した。	音楽データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行なってください。	B-11
	本機の容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済の曲(アルバム)を削除すると新たに録音できます。	B-10、E-22、E-27、
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✔)を消している。)	チェックマーク(✔)を付けてください。	E-19
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。	再生管理データが読み取れていません。	録音中のエンジン始動等でデータに異常が発生した可能性がありますので 音楽データ修復 をタッチしてデータベースの修復を行なってください。	B-11
	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
現在地 を押しても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中。	更新後または初期化後に押してください。	—
ジャケット写真を登録できない。	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	200×200ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—
間違ったジャケット写真が表示される。	同名(同じ日付に録音した)新規のアルバムにジャケット写真を登録した。	Gracenoteデータベースでタイトルを取得してからジャケット写真を登録してください。	—

CD／MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CD／MP3／WMAモードに切り替わらない。	CD／MP3／WMAが挿入されていない。	CD／MP3／WMAを挿入してください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音が飛んだり音質が悪い。	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れをふきとるなど)をしてみてください。 また、キズのあるディスクは使用しないでください。	ナビゲーション編 A-18
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	CD-R／RWの特性は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右され音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
ディスクが入らない。	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを入れてください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。(MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	—
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—

CD／MP3／WMA

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの取扱説明書でご確認ください。	—
CDのアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデート(個別更新)をしてタイトル情報を更新してください。	B-17

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USB機器未接続。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	—
再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）していない。	SDカードを本機で初期化（フォーマット）してからファイルを入れて再生させてください。	ナビゲーション編 G-27
	本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。	再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。	A-7、F-16
		対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AAC／JPEGファイルにしてください。	D-7、H-11、M-3〜5
	動作モードが間違っている。	再生させたい動作モードを選択してください。	A-22
	結露している。	SDカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	A-7
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA／AAC／OMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	拡張子を確認してください。	D-7、H-11、M-3〜5
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録したい順と異なる。	SD／USB機器書き込み時（コピー時）にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む（コピーする）ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	D-7、H-11
	「音楽ファイル」モードになっていない。	モード切替で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。	A-22

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
JPEGファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。	M-3
	「画像ファイル」モードになっていない。	モード切替で「画像ファイル」モードに切り替えてください。	A-22
AACファイルを再生できない。	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データが混在しているSDカードまたはUSB機器を再生しようとした。	AACファイルに画像データ（iTunesのアートワークを除く）、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合AACファイルは再生できません。	—
ウォークマン®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない。	ドラッグ＆ドロップ転送を行なっている。	MP3／WMA／AACファイルはUSBフラッシュメモリを使用して再生させてください。	—
		ウォークマン®で再生できるファイル形式はOMAのみです。ウォークマン®に付属のx-アプリまたはSonic Stageのアプリケーションを使用することでウォークマン®にMP3／WMA／AACファイルを転送することができます。x-アプリまたはSonic Stageのアプリケーションで転送することで自動的にOMAファイルへ変換され、再生することができます。	—
USB機器を認識していない。	対応していないUSB機器の可能性があります。	別のUSB機器でためしてください。	—
		本機で対応しているウォークマン®か確認して下さい。	F-15
	USB機器が正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。	F-16
	USB接続ジャックが正しく接続されていない。	Honda販売店にお問い合せください。	—

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ジャケット写真が表示できない。	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。	iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。	—
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—
	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	H-11 ＊印
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。	—
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

● 対応ファイル形式につきましては[☞「再生可能なデータについて」H-11／「画像ファイル(JPEG)について」M-3を参照してください。

ハンズフリー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ● **相手の声が聞こえない。** ● **着信音が聞こえない。**	音量が最小になっている。	着信音量、電話音量を調整してください。	—
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	音量を下げているまたは音声を消している。（ミュート中）	音量を上げるか、ミュートを解除してください。	L-10、L-18
通話後、オーディオの声が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。（ミュート中）	音量を上げるか、[⚙]（オプション）を押してミュートを解除してください。	A-19 ナビゲーション編 G-3
携帯電話と接続できない。	Bluetoothで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBluetooth機能をONにするか、車のエンジンスイッチを0（ロック）→Ⅱ（ON）にしてください。	—
	Bluetooth対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種どうかホームページよりご確認ください。	L-31 アドバイス

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がオフになっている。	設定を変えてください。	I-16
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビゲーション編 A-18
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれていると、こすれたり製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	M-4
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	I-30
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	I-28
“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	ナビゲーション編 A-18
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがりあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	I-28
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	—
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	I-24
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクをファイナライズ処理をしてください。	—

Digital TV

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	●miniB-CASカードを挿入していない。 ●miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	A-8
文字スーパーが出ない。	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で“表示しない”にしている。 ● 受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選択してください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	J-34
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	J-36
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	
受信できない。	● 走行地域が放送エリア外で、エリア変更が手動に設定されている。 ● 放送エリア内にいない。	視聴エリアの変更(地方／県域の設定)をしてください。	J-12
		地上デジタルテレビ放送は、現在のアナログテレビ放送との混信を避けるために、当初は受信エリアが限られていますが、順次拡大される予定です。お車の走行地域で放送が開始されているか確認してください。また、放送エリア内に移動してください。	—
	アンテナ電源の設定が正しく設定されていない。	本機に付属の地上デジタルTV用フィルムアンテナ以外を接続されている場合、お持ちの取扱説明書にしたがって正しく設定してください。	—
映像が止まったりモザイクがかかる。	受信モードを12セグ固定にしている。	自動切替に設定しておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行なっていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像が映らない場合があります。	J-5、J-27
	周りに障害物があるなど、電波状態が良くない。	受信状態が良くなると映像が止まりにくくなります。受信できる場所に移動してください。	—

Digital TV

症　状	原　因	処　置	参考ページ
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	―
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行なった ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	―

メッセージ表示について

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ表示	原　因	処　置	参考ページ
“リージョンが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	I-30
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	I-28
“入力されたパスワードが違います。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	I-28
“走行中は映りません。”	走行中にDVD／iPodビデオ／Digital TV／VTR動画再生を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
● “録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。” ● “録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。”	本機の容量が一杯になったため。	本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしなおしてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆にセットされている。 ● ディスクに汚れ／異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読込中。	表示が消えるまでしばらくお待ちください。	—
● “録音に失敗しました。もう一度録音してください。” ● “CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。”	CDに汚れ、傷がある。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	ナビゲーション編 A-18

メッセージ表示について

メッセージ表示	原　因	処　置	参考ページ
“録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。”	音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。	自動でデータベースの修復を行ないますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のエンジンスイッチを一旦0(ロック)にしてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをⅠ(アクセサリー)またはⅡ(ON)してください。それでもメッセージが表示されるときは、録音データの修復を行なってください。 ※復帰しない場合に、初期化(出荷状態に戻す)をすると本機に録音した全てのデータが消えます。	B-11、B-12
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“iPodが接続されています。”	iPod接続中にUSBモードを選択したとき。	別売のiPod接続コードを外し、別売のUSB接続ジャックにUSB機器を接続してください。	F-16、G-17
“信号が受信できません。[202]中継局を探しますか?”	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。 放送エリア内に移動してください。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。 受信できる場所に移動してください。	—
	アンテナの故障が考えられる。	停車時に受信レベル確認画面でレベル数値が40以上あるか確認してください。レベル数値が低い場合、アンテナの故障や正しく取り付けられていないことが考えられます。正しく取り付けられているか確認してください。	J-38
	車の走行速度が速い。	法定速度内でも受信できない場合があります。スピードを落としてください。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している電子機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	社団法人 デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアのめやすは固定受信機を想定しているため、車載機では放送エリア内でも受信できない場合があります。受信できる場所に移動してください。	—

メッセージ表示	原　因	処　置	参考ページ
“B-CASカードの交換が必要です。”	miniB-CASカードの故障が考えられる。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	J-53
“このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。”	miniB-CASカードの故障が考えられる。	B-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。	J-53
	●miniB-CASカードの挿入方向が間違っている。 ●miniB-CASカードではないカードを挿入している。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	A-8
“パスキーが一致していません。再度登録操作を行なってください。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	L-11～L-13
“登録できませんでした。”	他のBluetooth機種からの登録が行なわれている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBluetooth機器の電源はお切りください。	—
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れた。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種どうかホームページよりご確認ください。	L-31 アドバイス
“使用できないSDカードが挿入されています。”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行なってください。	ナビゲーション編 G-27
“対応していない機器が接続されています。”	対応していないUSB機器が接続されている。	別のUSBフラッシュメモリ／ウォークマン®で試してください。	—
“USB機器を接続してください”	USBモード選択中にUSBケーブルにUSB機器が接続されていない。	別売のUSBケーブルにUSB機器を接続してください。	F-16
“ビデオモードに対応していません。”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—

用語説明

AAC

「Advanced Audio Coding」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3／WMAよりさらに高圧縮にもかかわらず原音にかぎりなく近い高音質にて再生が可能です。

ATRAC AD(アトラックエーディー)

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン®等で採用されているメディアフォーマットです。x-アプリやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1／10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

DTS：Digital Theater System

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサラウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTS2.0 Channel

DTS用外部サウンドデコーダを使用せずにDTSのマルチチャンネル音声をステレオ環境で聞くことができます。

ID3タグ／WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。

Joliet(ジュリエット)

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

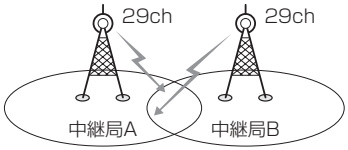
LB(レターボックス)

16：9のワイド画像をアスペクト比4：3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4：3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

MFN方式

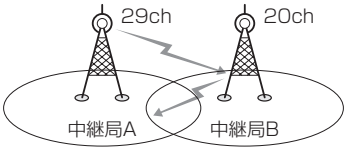
MFNとはMultiple Frequency Networkの略です。
放送中継を用いない(各中継局と周波数を同じにする)SFN方式に対し、MFN方式では放送区域内で中継局の送信チャンネルを複数用いる方法です。

SFN方式



放送波中継を用いないため中継局AとBの周波数を正確にそろえる(伝える)必要があります。

MFN方式



中継局Bでは中継局Aの放送波を受信して別のチャンネルで送信します。
※今までの放送局が受信できなくなった場合でも他のチャンネルにすることにより、その放送局を受信しなおすことが可能です。
「中継局を探す」J-13

MP3

MP3はMPEG Audio Layer3の略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞き取れない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

OpenMG(オープンエムジー)

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に OMA マークが表示されます。)

SDHC(エスディーエイチシー)

アソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2MB/s)」「CLASS4 (4MB/s)」「CLASS6 (6MB/s)」「CLASS10(10MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況にあわせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。
VTR端子から入力された映像や音は、VTRモードに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

WMA
「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

アスペクト比
画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、4：3(普通のテレビ)と16：9(ワイドテレビ)の2種類あります。

エンコーダ
データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード
データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行なうソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト
音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

カスタマイズ
お客様の好み使い方にあわせて機能を設定しなおすことです。

コピーコントロールCD／レーベルゲートCD
パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。

サンプリング周波数
アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行なうかを表わす数値のことです。

視聴制限
DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。
※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。
本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。
受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)
セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。
また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

- **地上デジタルテレビ放送**
  2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
  デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。
  くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。
  ※本機はハイビジョン放送には対応していません。
- **ワンセグ**
  地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

ディエンファシス
録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行ないます。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス
機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行なって接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

転送
パソコンからメディアまたはメディアからパソコンに曲を移すことです。

トラック
CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー
Bluetooth接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター
プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン&スキャン(P&S)
16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

ビットレート
1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト
インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

マスストレージクラス
正式名称はUSBマスストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。
例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行なわれます。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送やBS放送と同等の解像度です。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

525p(480p)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないので、チラツキが少なくなります。

索　引

数字・アルファベット

AACファイル……H-11
ATRAC AD／ATRAC3／ATRAC3plus……F-13, F-14
AV MENU画面について……A-10
AV SOURCE画面……A-5, A-11
モードボタンについて……A-11
CD／MP3／WMA
MP3/WMAの規格について……D-7
MP3／WMAファイルについて……D-6
再生／操作画面の見かた……D-2
トラックリストより再生……D-5
フォルダ選択……D-4
未録音CDについて……B-5
未録音CDを挿入すると……D-4
CD-TEXT情報……D-3
CDの録音方法(自動／手動)の選択……B-4
CPRM対応……I-31
Digital TV(12セグ／ワンセグ)
Digital TV〔12セグ／ワンセグ〕を見る……J-9
・番組表を見る……J-10
DTVメニューについて……J-8
miniB-CASカードについて……J-52
miniB-CASカードの問合せ先……J-53
miniB-CASカードを入れる／取り出す……A-8
エラーコードについて……J-49
緊急放送を見る……J-48
視聴エリアの変更をする……J-12
初期スキャン／再スキャン……J-14
設定
・12セグ／ワンセグ自動切替……J-27
・miniB-CASカードテスト……J-40
・映像切替……J-24
・音声切替……J-25
・字幕切替……J-36
・受信レベル確認……J-38
・チャンネル設定……J-30
・中継局・系列局サーチ設定……J-28
・テレビ／データの設定(サービスの設定)……J-29
・時計表示設定……J-32
・文字スーパー切替……J-34
・郵便番号設定……J-26
設定を初期化する……J-42
チャンネルリスト／プリセットリストをクリアする……J-22
データ放送を利用する……J-43
テレビについて……J-50
バナー表示について……J-2
番組表を見る……J-10
番組名と記号……J-2
プリセットボタンにメモリーする……J-20
・エリア呼出／プリセット呼出……J-21
放送局一覧……M-12
放送局からの情報を見る……J-41
リレーサービスの番組を見る……J-46
臨時サービスの番組を見る……J-47
DSP(音場の設定)……A-28
dts-CDについて……M-5
DVD
DVDの初期設定について……I-22
DVDビデオについて……I-30
・再生ディスク対応一覧表……I-31
DVDプレーヤーを使う……I-4
・DVDメニューを使う……I-10
・VRモードディスクの再生……I-20
・音声／字幕言語切替……I-16
・コマ戻し／コマ送りをする……I-8
・サーチ選択(好きな所から再生)……I-14
・再生一時停止……I-6
・再生停止……I-5
・時間表示切替……I-17
・スロー戻し／スロー送りをする……I-9
・タイトルメニューを使う……I-12
・チャプターを戻す／進める……I-7
・リピート再生……I-18
再生可能ディスク……M-4
再生／操作画面の見かた……I-2
ディスクに表示されているマークについて……I-30
FM／AM
FM／AMを切り替える……C-4
P1／P2(ユーザープリセット選局)……C-5
エリア選局……C-6
オートセレクト選局……C-7
選局する……C-4
操作画面の見かた……C-2
道路交通情報を受信する……C-10
プリセット(メモリー)……C-8, C-9
Gracenoteデータベース
初期化……B-20
データの書き出しをする……B-17
データの取り込みをする……B-19
データベースについて……M-6
ローカル／カスタムアップデート……B-13
iPod
iPodについて……G-15
iPodを接続する……G-17
再生一時停止……G-10
再生／操作画面の見かた……G-2
選曲モード選択……G-5

対応可能なiPod……G-16
トラックリストより選曲……G-4
ビデオモード(ビデオ再生)……G-11
モード切替……G-11
JPEG(画像ファイル)……M-3
MCDB……B-8, B-13, B-14
miniB-CASカードについて……J-52
miniB-CASカードを入れる／取り出す……A-8
Music Rack
Music Rackモード イメージ図……E-6
アルバムリストの編集(曲管理)……E-14
・アルバム削除……E-22
・アルバム情報保存……E-17
・再生選択(再生させたくない曲の選択)……E-19
・ジャケット写真登録……E-21
・タイトル編集……E-15
・データベース再検索……E-18
・文字入力のしかた……E-16
お気に入り管理……E-28
お気に入り登録……E-30
機能／構成について……B-8
再生／操作画面の見かた……E-2
ジャンル変更……E-32
使用容量を確認する……B-10
選曲モード選択……E-7
・ジャンル一覧……E-10
・ミュージックエスコート一覧……E-12
トラックリストの編集(曲管理)……E-23
・再生選択(再生させたくない曲の管理)……E-26
・データベース再検索……E-25
・トラック削除……E-27
ミュージックエスコート変更……E-33
未録音CDを挿入すると・・・……D-4
リストより再生……E-4
録音時の注意点……B-9
録音データの修復……B-11
録音データの初期化……B-12
録音方法(自動／手動)の選択……B-4
QQコール
表示する……L-33
利用する……L-32
SDカード
SDHC……H-9
SDカードについて……H-9
SDカードを入れる／取り出す……A-7
音楽再生／操作画面の見かた……H-2
画像再生／操作画面の見かた……H-4
画像ファイル(JPEG)について……M-3
再生可能なデータ(ファイル)について
(音楽／画像)……H-11, M-3
選曲モード選択……H-7
操作可能な機能と組み合わせ……H-9
フォーマット(初期化)について……H-9
リストより再生……H-5
Sound(イコライザー設定)……A-31
SRS CS Auto(サラウンドの設定)……A-29
USB
USB機器について……F-13
USB機器を接続する……F-16
ウォークマン®について……F-14
・対応可能なウォークマン®……F-15
音楽再生／操作画面の見かた……F-2
画像再生／操作画面の見かた……F-4
画像ファイル(JPEG)について……M-3
再生可能ファイル(音楽／画像)……F-13, F-14
選曲モード選択……F-9, F-10
リストより再生(ウォークマン®)……F-8
リストより再生(フラッシュメモリ)……F-5, F-6
VRモードディスク……I-20, I-31
VTR
接続する……K-3
操作画面の見かた……K-2

ア

イコライザー(音質)の設定……A-31
ウォークマン®……F-2, F-14, F-15
映像調整(明るさ／コントラスト／色の濃さ／色合い調整)……A-25
エラーメッセージ表示……M-31
エリア更新／エリア選局／エリア表示(FM／AMモード)……C-2, C-6
オーディオリモコンスイッチ……M-8
オーディオをOFFする……A-9
音楽／画像の切り替え……A-22
音楽ファイル……F-2, H-2, H-11
音質(イコライザー調整)……A-31
音場設定……A-28
音声はそのままで、画面を消す……A-21
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する……A-20
音量調整……A-19

カ

各部の名称とはたらき
各モードのタッチパネル部について(表示部含む)
・CD／MP3／WMA……D-2

その他

・Digital TV……J-2
DTVバナー表示……J-2
DTVメニュー……J-8
・DVD……I-2
・FM／AM……C-2
・iPod……G-2
・Music Rack……E-2
・SD(音楽)……H-2
・SD(画像)……H-4
・USB(音楽)……F-2
・USB(画像)……F-4
・VTR……K-2
パネル部について……A-2
画質調整……A-25
・初期値に戻す……A-27
カスタマイズ(Quick)機能について……M-2
カスタムアップデート(個別更新)……B-13, B-15
画像ファイル……A-23
・画像を回転させる／
リストより画像を選択する……A-24
・スライドショーを表示する……A-23
画像ファイル(JPEG)について……M-3
画面を消す……A-21
基本設定(フェード・バランス調整)……A-36
基本操作……A-4
SDカードを入れる／取り出す……A-7
映像の表示について……A-6
オーディオをOFFする……A-9
ディスクを入れる／取り出す……A-6
モード選択……A-5
緊急放送(TV)……J-48
高音質モード(録音)……B-7
工場出荷状態に戻す……M-11
交通情報……C-10
故障かな？と思ったら……M-15
個人情報の取り扱いについて……M-11
コピー防止機能付CD……M-5

サ

再生可能メディア……B-3, D-7
再生できるディスク……M-4
自動録音……B-4
ジャケット写真表示……D-7, E-3, F-3, G-3, H-3
ジャケット写真を登録する……E-21
車速連動音量の設定……A-38
**受信モード切替(TVの自動→12セグ→
ワンセグの切り替え)……J-5**
出荷状態に戻す……M-11
手動録音……B-4
初期設定一覧……M-14
スピーカーの設定……A-34
選局
DTV……J-16
FM／AM……C-4
選曲
タッチパネル部
・CD／MP3／WMA……D-5
・iPod……G-4
・Music Rack……E-4
・SD……H-5
・USB……F-5, F-6, F-8
パネル部
・CD／MP3／WMA／SD／Music Rack……A-13
全曲録音／選択曲録音……B-6
操作ボタン(パネル部)……A-2

タ

中継局／系列局サーチ(Digital TV)……J-9
続きメモリー機能(DVD)……I-5
ディスク(再生できるディスク)……M-4
ディスクを入れる／取り出す……A-6
データ管理
Music Rackの機能／構成……B-8
Music Rakcへ録音時の注意点……B-9
音楽データの修復……B-11
音楽データの初期化……B-12
使用容量を確認……B-10
本体情報……B-10
録音設定／データ管理について……B-2
データベースについて(Gracenote)……M-6
データを削除
・Music Rack……B-12
データを初期化
・Music Rack……B-12
問い合わせ(miniB-CASカード)……J-53
動作モード(音楽／画像)切替……A-22
時計表示……A-12

ナ

ナビゲーション画面を表示する……A-20

ハ

早戻し／早送り……A-14
ハンズフリー
初期登録設定……L-2
・アドレス帳転送……L-14
・携帯電話の割り当てを切り替える……L-7
・削除する……L-6
・自動接続の設定……L-8
・通話設定(発着信／電話／送話)……L-10
・デバイス名／パスキー変更……L-12
・優先接続の設定……L-9
通話中に地図画面を表示……L-29
電話を受ける……L-16
・着信音量調整……L-16
・通話拒否……L-18
・通話切替(携帯↔ハンズフリー)……L-19
・電話に出る……L-16
・トーン入力する……L-20
・保留にする……L-17
・ミュートする……L-18
電話をかける……L-21
・アドレス帳から……L-26
・電話番号から……L-21
・リダイヤルから……L-23
・履歴から……L-23
登録した携帯電話の情報……L-5
発着履歴を削除する……L-28
ハンズフリーについて……L-30
本機のBluetooth情報……L-11
標準モード(録音)……B-7
ファイル形式
(MP3／WMA／AAC／JPEG)……B-3
フェード・バランス調整……A-36
放送局一覧(TV)……M-12
本機で再生できるディスク……M-4

マ

未録音CDについて……B-5
未録音CDを挿入すると・・・……D-4
メッセージ表示について……M-31
モード選択……A-5
文字の入力方法……E-16

ヤ

用語説明……M-34

ラ

リア席モニター……M-10
リピート／ランダム／スキャン／
シャッフル再生……A-15
ローカルアップデート／
カスタムアップデート……B-15
ローカル／カスタムアップデート……B-13
録音
Music Rackの機能／構成……B-8
Music Rackへ録音時の注意点……B-9
音楽データの修復……B-11
音楽データの初期化……B-12
自動／手動の選択……B-4
全曲録音／選択曲録音の選択……B-6
録音可能曲数……B-8
録音設定／データ管理について……B-2
録音中止……B-5, D-4
録音方法／録音音質選択……B-6

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店
または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間:　**9時～12時、13時～17時**／
但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　パナソニック株式会社
オートモーティブシステムズ社　〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

PART NO. 08A40-5R0-4500-8B
PART NO. YEFM0410547

Printed in Japan